

翻訳でダブルインカムをめざす!!

2009年1月1日発行(季刊1日発行)
第34巻1号(通巻424号)昭和52年2月3日第3種郵便物認可

The Professional Translator

プロフェッショナル トランスレーター

翻訳で 起業し 成功するノウハウ

保存版

STEP 0 はじめに、自分を発見しよう!

Bilingual Career Consulting

STEP 1 翻訳起業し、成功するための鉄則を知ろう!

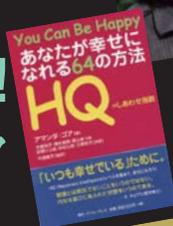
翻訳会社経営のノウハウ

STEP 2 プレゼンツールとして、翻訳出版しよう!

自分を探す、原書を探すノウハウ

STEP 3 プロフェッショナルトランスレーターの資格をとろう!

Certified Professional Translator



翻訳起業 スターターキットフェア実施中!

JTA公認翻訳専門職資格試験 直前対策!

2009年1月
Spring

バベル翻訳 大学院 (USA)TM

バベル翻訳大学院
(USA)TMは
こんな学校です

Babel University Professional School of Translation :
バベル翻訳大学院 (USA)TM は世界初のインターネット翻訳大
学院。

院生は翻訳修士号を目指し世界22カ国で学んでいます。



- インターネット学習だからあなた自身の計画でマイペース学習
- 専任のカウンセラーがあなたの相談にのり、学習ペースをしっかりとサポート
- 修了作品は講師との一対一のアドバイスを受ける完全個別指導
- 専攻は文芸・映像、金融・IR、テクニカル、法律と翻訳業界を網羅
- 卒業作品を翻訳家デビュー作とする出版サポート
- 独立の翻訳者としての会社設立をコンサル



世界に通用する「翻訳修士」を目指せ!

翻訳修士奨学生に
チャレンジ!

奨学金をもらって
修士号を取ろう!

無料受験申込・詳細はこちらから

www.babel.edu/

当大学院は (社) 日本翻訳協会が創設した「翻訳修士奨学金制度」の対象校です。
当校に入学するとこの奨学金制度に応募することができます。



Accreditation
Accredited by DETC (Distance Education and Training Council)
BABEL UNIVERSITY Professional School of Translation

ハワイ
キャンパス

東京
キャンパス

大阪
キャンパス

Spring

1

CONTENTS

The Professional Translator

翻訳で起業し、成功するノウハウ

STEP 0 はじめに、自分を発見しよう P2

1. 自己発見シートづくり
2. キャリアビジョンづくり
3. スキル棚卸シートづくり
4. 5年後未来履歴書づくり
5. 5年アクションプランニング

【翻訳者 門田美鈴さんに聴く】

STEP 1 翻訳起業し、成功するための鉄則を知ろう！ P9

- 今なぜ、起業か P10
- 会社設立の方法 P12
- 起業家としての心構え P18
- 翻訳会社経営のノウハウ P20
- 世界で起業！ P26

STEP 2 プレゼンテーションのツールとして、翻訳出版しよう！ P33

- 翻訳出版するということ P34
- 自分を探す、原書を探すノウハウ P36
- 翻訳出版傾向を探るーイングリッシュ エージェンシーに聴く P40
- CO-PUB という出版翻訳革命 P46
- 翻訳出版成功事例レポート P50

STEP 3 プロフェッショナルトランスレーターとしての資格をとろう！ P63

- 今、なぜ、翻訳の資格か P64
- 『JTA 公認翻訳専門職資格試験』 P66
- 『JTA 公認翻訳専門職資格試験』模擬問題 P72
- 『JTA 公認翻訳専門職資格試験』FAQ P84

翻訳で起業！スターターキットフェア P86

World Financial News P96

データ＜翻訳出版社リスト・翻訳出版ベストセラー＞ P92, 44

翻訳で起業し成功するノウハウ はじめに、自分を発見しよう!

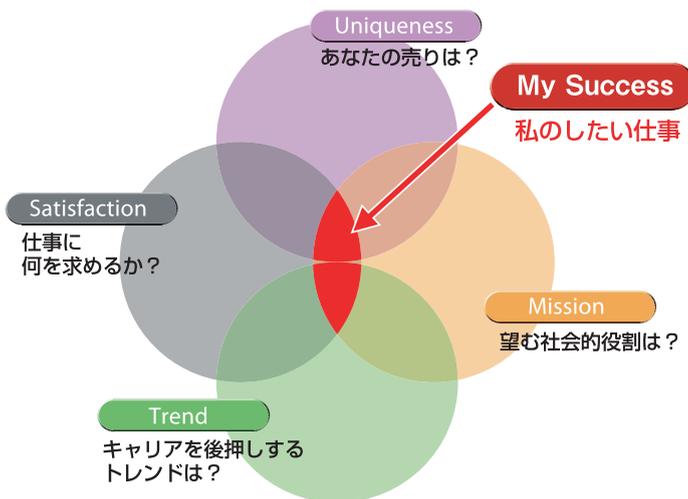
"翻訳で起業し成功するためのノウハウ"とは...

まず最初のステップは"わたらしさ"の発見です。

わたしの「売り」は? 足りないものは?

『The Professional Translator』では、自分自身を見つめ直し自分の未来履歴書を描く「キャリアサクセス実現シート」の作成を提案します。

以下5つのシートを実際を書いてみましょう。



Phase1 自己発見シート作成

Find your own uniqueness

Phase2 キャリアビジョン作成

Define your own success

Phase3 スキル棚卸シート作成

Do your skill inventory

Phase4 5年後未来履歴書作成

Write your future resume

Phase5 5年アクションプランニング

Make your action milestone

描いた未来履歴書が、
これからあなたの歩む道です。
成功はここから。

370万部。21世紀に'最も売れた'ビジネス書
『チーズはどこへ消えた?』の翻訳者に聴く



『チーズはどこへ消えた?』(扶桑社)

●翻訳家の門田美鈴さんに「キャリアサクセス実現シート」Phase1～5のテーマについてコメントをいただきました。

門田美鈴 (かどたみすず)

フリーランスライター、翻訳家。訳書に『チーズはどこへ消えた?』の他、『プライアン・トレーシーの話し方入門』、『マインドセット ものを考える力』、『もしもハリウッド監督が会議を仕切ったら?』、『お金の雨をふらせ!』、『こころのシンプルライフ』等がある。



PHASE1 自己発見シート

Find your own uniqueness

PHASE1は、自己発見シートの作成です。"Find Your Own Uniqueness"つまり、自分のユニークさ、他に無い価値を探し出すプロセスです。以下の3つの問が自己発見の手がかりです。

Q1 学び・趣味をふり返ってみよう

あなたがこれまで学んだこと、打ち込んできた趣味を振り返ってみましょう。現在から過去に遡って、何を学んだか、どんな趣味に打ち込んだか、また、その満足度を自己評価してみましょう。そして、考えてください、あなたが更に学びたい、知りたい、続けたいと思ったことはなんでしょう。

<記入欄>

Q2 過去で自分が最も輝いていたと思う年齢のベスト3

あなたが、過去で最も輝いていた時期はいつごろ、そのとき何をしていたでしょう。ベスト3を考えて見ましょう。

【例】海外留学をして、異文化交流を通して、友達をたくさん作ったころ

<記入欄>

Q3 人はあなたをどうほめてくれますか

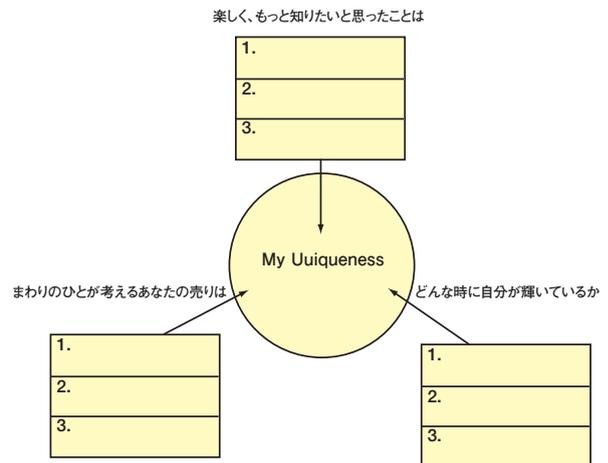
今度は視点を変えて、他のひとはあなたをなんとほめてくれますか。親しい友人、仕事仲間、家族のほめ言葉を思い出してみましょう。

【例】努力家／ユーモアがある／責任感がある／前向き／好奇心旺盛／まじめ

<記入欄>

PHASE1 まとめ 自分ならではのオンリーワンの価値を見つけよう

PHASE1のまとめです。これまで考えたことをまとめて"MY UNIQUENESS"を導き出します。さて、私の売りは何でしょう。



門田さんの "Find your own uniqueness"

『私はライター、編集者として長く仕事をしてきました。縁があって翻訳家の道を進むようになりました。今では、ビジネス読みもの、自己啓発もの、などの翻訳の仕事が大半です。しかし、今にして思うと、ライター、そして編集者として、いろいろなところに出かけ、様々な人と出会い、そこでの様々な経験をさせていただいたからこそ、翻訳者としての今の私があると思います』

『ブライアン・トレーシーの話し方入門
(日本実業出版)』



PHASE2

キャリアビジョンシート Define your own success

翻訳で起業し成功するノウハウ
キャリアサクセス実現シート

PHASE2は、ご自身のキャリアビジョン、キャリア目標を浮かび上がらせるプロセスです。ここでは、Define Your Own Success Career、自身のサクセスキャリアを定義していきます。PHASE1のFind Your Own UniquenessとPHASE2のDefine Your Own Success、は米国の教育の基本理念です。自分の個性、他に無い特徴を活かしていくことが自分なりの成功要因である、ということです。

以下の問いに答えながら、キャリア目標、サクセスキャリアを描いていきましょう。

Q1 どのような仕事で、どのような社会的役割、貢献をしたいと考えますか

仕事を通じた社会貢献を考えてみましょう。どんな仕事にも社会的な役割が伴うものです。どのような仕事で、どのような社会貢献をしたいとお考えですか。

< 記入欄 >

Q2 最近の社会的トレンドで何に興味がありますか

< 記入欄 >

PHASE2 まとめ

自分のキャリアビジョンを
創ろう

仕事に何を求めるか
Satisfaction

1.
2.
3.

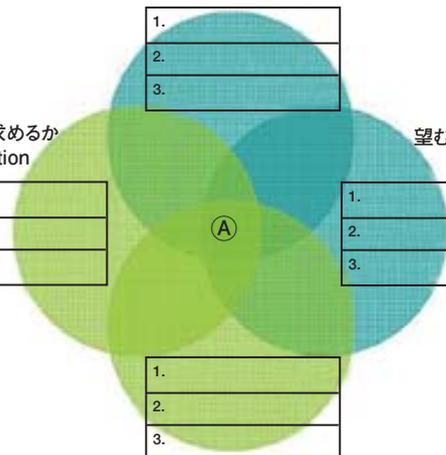
自分らしさ、自分の売りは
Uniqueness

1.
2.
3.

望む社会的役割は
Mission

1.
2.
3.

PHASE1とPHASE2の記入内容を以下の図の4つのブランクに記入してみましょう。



キャリアを後押しするトレンドは
Trend

門田さんの "Define your own success"

『翻訳をしていると、最初の紹介者としての意義を感じるとともに、著者のユニークな知見、豊富な知識、そして先端の視点に触れることができ、いつも自分の成長を実感できます。「チーズはどこへ消えた？」との出会いは本当に偶然だったように思いますが、いまにして思うと、当時仕事に行き詰っていたこともあり、何とか仕事を作りたいと出版企画を持ち込んだりしていたのが良かったのかもしれない』

『マインドセット ものを考える力 (ダイヤモンド社)』



PHASE3 スキル棚卸しシート

Do your skill inventory

このステップでは、PHASE2 で導き出した、キャリアビジョンと現在お持ちのスキルとの乖離を確認していきます。Do your skill inventory. ご自身のスキルの棚卸をしていきましょう。

Q1 セルフアセスメント、自己問診をしてみましょう

ウエイトの違いがあるにせよ、6つの Competence がどんなプロを目指すにも必要だと考えています。以下、翻訳者を例に簡単に説明していきましょう。

【5つの Competence】

ここでは Bilingual Career の翻訳者を考えてみましょう。翻訳者はどんな分野であれ、以下の5つのスキルの高いレベルでのバランスにより成り立っていると考えられます。ご自身のスキルを客観的に書いてみましょう。

1. Language Competence

翻訳の対象となるソース言語と翻訳をめざすターゲット言語の深い理解と運用能力。2つの言語間の翻訳ルール 'バベル翻訳文法' そしてターゲット言語を精練された表現にする表現技法としての 'Plain Language' のスキルがまず必要と考えます。
<記入欄>

2. Cultural Competence

言語の背景にある文化情報を深く理解し、文化差をふまえ、等価な置き換えができる異文化変換能力が必要です。
<記入欄>

3. Expert Competence

文書が扱っている分野の専門的知識、情報を深く理解していることが、正確さと専門性を要求されるビジネス翻訳の分野では重要な要素となります。
<記入欄>

4. IT Competence

翻訳においては当該分野の特定の情報を欠いていてもインターネットによる情報検索で補うことが十分可能です。知っていることより、知らないことを調べる能力がより有用です。また、翻訳の分野によっては DTP のスキル、翻訳支援ツール、機械翻訳を駆使する能力が必要とされることもあります。
<記入欄>

5. Managerial Competence

昨今では、ビジネス翻訳のみならず出版翻訳においても即時に大量の翻訳を生産する必要があります。プロジェクトリーダーのもと複数の翻訳者、チェッカー、エディタをはじめ様々な専門スタッフが集められ翻訳プロジェクトが結成されます。従って、翻訳者においてもプロジェクトメンバーとしてタイムマネジメント、人材マネジメント、コストマネジメントのスキルが必要となります。また、自立起業のためのノウハウも必要となるでしょう。
<記入欄>

6. Humanic Competence

プロとして仕事をしていくうえでの、人間関係力、すなわち、人との円滑なコミュニケーション力、顧客志向性、すなわち、顧客を大切にできる心、また、達成志向性、目標達成への意欲が大切な要素となります。
<記入欄>

門田さんの "Do your skill inventory"

『翻訳編集者としての経験から、翻訳家になろうとする方々に申し上げるとすれば、自分が提出する訳文は編集者が直してくれる、という甘えを捨てることでしょうか。また、ライターとしての経験からは、自分がこう受け止めて、こう書いたという文はたとえ取材相手が赤を入れてきても、それを蹴るくらいの表現者としての矜持をもちたいと思っています。翻訳家はライターとは違いますが、同じ表現者として '自立' してほしいと考えます。』

『もしもハリウッド監督が会議を仕切ったら？
(東洋経済新報社)』



PHASE4 未来履歴書

Write your future resume

PHASE4 はこれまでのまとめとなります。最終的な目標イメージを、5年後の未来履歴書として創りましょう。Write your future resume、いまから5年間でどんなスキル、資格を取得し、どんなキャリアを歩んでいるのでしょうか。さあ、あなたの5年後の履歴書はどんなものでしょう。5年後のあなたの売り（アピールポイント）は何でしょう。

Q1 5年後の私の売りは何でしょうか

< 記入欄 >

Q2 現在～5年後までに取得するスキルや資格は？

< 記入欄 >

Q3 現在～5年後までのキャリア歴は？

< 記入欄 >

門田さんの "Write your future resume"

『これからは、出版社に良い本をもっと提案できる翻訳家になりたいと考えています。今は翻訳者としては、いわばOJT中ですが、あの人の翻訳で読みたいと言われるような、個性ある翻訳者になるのが夢です』



『お金の雨をふらせ! (東洋経済新報社)』

PHASE5 行動計画

Make your action milestone

さて、いよいよ最後の作業です。描いたキャリア目標、描いた未来履歴書に沿って、5年間のアクションプランを作成してみましょう。それぞれのCompetenceに沿って、獲得すべきスキル、もしくは資格を具体的に描いていきましょう。

Language Competence (言語運用・変換スキル)

< 記入欄 >

Cultural Competence (文化・教養知識)

< 記入欄 >

Expert Competence (専門知識)

< 記入欄 >

IT Competence (コンピュートースキル)

< 記入欄 >

Managerial Competence (マネジメントスキル)

< 記入欄 >

いかがでしたでしょうか。いかに鮮明に、具体的にそれぞれのステップが描けるか、これが描ければ目標の8合目までは到達できたと言っても過言ではありません。

そして、一度で終わらず、2度、3度繰り返し、見直し、再考してみましょう。

今回ご紹介した「キャリアサクセス実現シート」は、バベル翻訳大学院 (USA) で実施しているバイリンガル・キャリア・コンサルティングに利用しています。

バベル翻訳大学院 (USA) への入学を希望する方は、下記のフォームからデータをお送りください。専任のコンサルタントが、Bilingual Career 設計のアドバイスを行います (締切: 2008年12月20日必着)。

<https://www.babel.co.jp/bcc/mailform/bcc1.html>

門田さんの "Make your action milestone"

『翻訳家を目指すなら、やはり「翻訳」を楽しんでほしいと思います。』



『こころのシンプルライフ
(ぶんか社)』

- 『頼まれたことは、一割、二割増して納品する。お客様の気持ちを察して、どうすれば、より喜んでいただけるかを常に考えていきたいと思っています』





New Year 翻訳で起業! スターターキットフェア開催

『The Professional Translator』新創刊記念!!

主催:パベルプレス/㈱パベル、米国パベル翻訳大学院

共催:(社)日本翻訳協会、㈱小学館、㈱朝日出版、エリアリンク㈱、㈱ロゼッタ、㈱アルク、㈱クロスランゲージ、エスディーエルジャパン㈱、㈱ロゴヴィスタ㈱、富士通ミドルウェア㈱、

◇New Year 翻訳で起業!スターターキットフェア◇

当フェアでは、2008年11月21日から2009年2月28日までの3ヶ月間、『JTA公認 翻訳専門職資格<CPT>試験』の取得を目指す方々と、翻訳者等、翻訳者を目指す方々が起業する際に必要とする、翻訳生産性向上の為のツール(英和・和英辞典、MTソフト、TMツール)のご紹介と共に、起業には欠かせない、レンタルオフィス(礼金敷金0ヶ月、オフィス家具付、24h利用可)をネットショップにて、ご紹介いたします。⇒ツール等のご案内は86ページ~91ページをご覧ください。



PC-Transer 翻訳スタジオ2009
<㈱クロスランゲージ>



ATLAS翻訳スーパーバックV14
<富士通ミドルウェア㈱>



(左)E-DIC英和・和英新装普及版
<㈱朝日出版社>



(右)英辞郎第四版
<㈱アルク>



<http://www.e-trans.co.jp/>
(e翻訳堂HP)



<http://www.legal-comm.com>
(リーガルコムコムHP)



ハローオフィス西新宿
<エリアリンク㈱>

★当雑誌『The Professional Translator<JTA公認翻訳専門職資格試験対策>』の創刊記念として、ネットショップe翻訳堂、Legal.comm.com、『The Professional Translator<11/21オープン>』のWEBページにてオンライン限定で英和・和英辞典、翻訳ソフト、翻訳ツール、雑誌等のプレゼントキャンペーンを実施します。(キャンペーン期間:2008/11/21~12/25)

★各種、辞書・支援ツールを一堂に集めますので、法人のお客様、個人のお客様も他社製品との比較が容易となります。

翻訳で起業し、成功するノウハウ

STEP 1

翻訳 起業し、成功するための鉄則を知ろう！



「アンホルトのアーティストシリーズ」
世界の偉大な画家と実在した子供たちのお話。絵本の中に名画が登場し、子供たちにアートの世界を分かりやすく紹介します。

全国学校図書館協議会選定図書
バベルプレス刊



電話の翻訳 | 英語 | フランス語 | ドイツ語 | オランダ語 | 中国語

翻訳サービス | ドキュメント管理

最新ニュース
当社の最新の業績に関する情報記事とイベント予定はこちらから
クリックして表示 | 医療製品のアップデート

社業業界
各業界の豊富な知識と経験を持つ翻訳者が揃っています
リンク | 医療 | 製薬 | ライフサイエンス | 製造 | リテール | 広告 | 技術 | 教育

ISO 9001:2000 認証取得
世界共通規格にのっとった技術、法律、業字、および市場関係の翻訳/通訳サービスをお提供します
クリックして表示 | ISO 9001:2000 認証

ホーム
会社案内
ニュース
サービス
業界
クライアント
一覧
お問い合わせ
先
無料お見積
も

【 法人向け | 世界のオフィス | お問い合わせ | 法律翻訳 | 金融翻訳 | 医療翻訳 】

© 2004 All Rights Reserved. TransPerfect Translations, Inc.

今なぜ起業か？

—会社を起こす利点—



石田佳治 米国バベル翻訳大学院ディーン

翻訳者になろうとする人にとって重要なことは、まず仕事をすることです。翻訳者になりたいと考えているだけでは駄目で、翻訳の仕事をやるのが大切です。翻訳というものは、翻訳の仕事を通して得られる熟練（スキル）と評判（レピュテーション）があって仕事が入ってくるのですから、翻訳者を志望する人はこの二つが得られるように常に考えていなければなりません。そしてこの翻訳スキルとレピュテーションを蓄積できる確実な方法が「翻訳会社」をつくることです。自分の翻訳会社を持つことです。以下にそのメリットを説明しましょう。

1. 営業がやり易い

翻訳を発注する側に立って考えて見ましょう。大企業であればあるほど安定した大量の翻訳発注が見込めるのですが、そのような大企業は個人に対して発注しにくい仕組みになっています。業務管理部門や審査部門があって新しい取引を開始するには会社概況書や商業登記簿謄本を提出させ発注先が自社の取引先として妥当かどうかを調べます。翻訳発注部門はこのような内部稟議を通してからでないと発注できないのです。大手企業の場合は取引相手はすべて法人ですから個人の場合はハンディキャップがあります。また翻訳代金の支払は経理財務部門が行いますが、個人に対する支払については10パーセントの源泉徴収と代行納付を行わねばならず、業務が煩雑となりますから歓迎されません。発注先が会社の場合はこのよ

うな手間のかかる業務がありません。個人の翻訳者に継続的に発注すると偽装請負とみなされて雇用責任を負わされる危険もあります。以上のようなわけで大企業は取引の相手として『会社』を歓迎するのです。このことは既存の翻訳会社においても同じです。翻訳の仕事を受けるときは個人で受けるよりは会社で受ける方が営業としてはやり易いのです。

2. サイドビジネスとしての安全性

多くの方は翻訳者として自立して安定的な仕事が入ってくるまではお勤めを続けようと思っられているでしょう。しかしお勤めのかたはら翻訳の仕事はして経験を積みたいとも考えておられると思います。いわゆる「二足のわらじ」を履くわけです。ところがここで現在のお勤め先の就業規則が問題となります。多くの会社の就業規則が社員の副業を禁じています。個人で翻訳営業をすればこの就業規則の規定に触れます。勤務先にばれないようにすると言っても二ヶ所以上から収入があり源泉徴収をされれば、税務署（あるいは地方税当局）の方から会社に通知されて、ばれかねません。その点、会社を起業して、その会社名で翻訳を受注し納品すればこの点は安全となります。

サイドビジネスをするときは、自分の名前を個人名で出さないで、自分の会社を持ってその名でやる方が賢明なのです。

3. 経験証明

翻訳においては熟練したスキルが最重要ですので、翻訳の発注元は経験を重視します。翻訳会社も翻訳を二次発注する時にどの位の経験があるかを尋ねます。しばしば翻訳経験年数の証明を求めます。このような場合に、個人であれば自己証明しかできませんが、自分の翻訳会社を設立し登記しておけば、その会社の登記簿謄本に設立年月日が記載されますから有力な傍証になります。

4. 責任の限定

翻訳についての責任を問われることがあります。たとえば、翻訳物の納期が遅れて発注者側の計画が狂ったり、誤訳があってそれによって発注者に損害が生じたりするような場合にその損害の賠償を請求されるようなケースです。めったにあるケースではないとは思いますが最近では社会全体が契約責任を厳しく追及する傾向にありますから絶対がないことだとは言いきれません。このような場合に、個人が当事者になっていけば大変な債務をかかえ込むこととなります。これに対し、会社を起業してその会社が当事者であれば、会社は有限責任ですから、このような請求の個人への波及を断ち切ることが出来ます。つまり会社にしておけば個人債務をかかえこまないですむのです。

5. 税務上のメリット

これはもう気づいておられると思いますが、会社を起業することにより会社の経費として落とせることとなります。パソコンや翻訳ソフト、電子辞書や専門辞典、参考図書の購入費用を経費で落とせますし、自宅の一部を翻訳の作業場所として使っておられる方は、その部分の家賃も会社の経

費となるでしょう。貴方が旅行した費用も調査費用となるでしょうし、貴方がご自身のために費やした教育費用も会社の費用として落とせるでしょう。その他、食事などの費用もクライアントとの打合せ費用とすることができましょう。サイドビジネスを個人でやると税法上では本業の収入と所得合算され、更にそれが住民税の算出基礎となり、また、健康保険や厚生年金・国民年金などの計算基礎となりますから、サイドビジネスの収入は個人所得にしないで、会社収入になるようにした方が賢明なのです。

6. 会社起業に資本金は要らない

2006年に会社法の改正があり、会社の設立に際しての最低資本金制度がなくなりました。今では、会社を設立するのに（株式会社でも合同会社でも）資本金を準備する必要がなくなりました。（昔は株式会社で1000万円、有限会社で300万円の最低資本金が要りました。）会社法も簡単になり株主1人取締役1人でも株式会社を設立できるようになりました。会社の登記制度も簡便になり、法務局のインターネット・ホームページを開けば書式が示され、説明に添って埋めて行けば自動的に会社の登記申請ができるようになりました。法律の素人でも簡単に会社の設立ができるようになったのです。

株式会社の設立も合同会社の設立も簡単にできるのですが、その他の法人形態でも設立が可能です。たとえば「有限責任事業組合」「特定非営利活動法人（NPO法人）」「一般社団法人」「一般財団法人」なども、個人で自由に設立することができます。どのような法人形態でも自由に出来るのです。

翻訳をスタートするのにまず会社・法人をつくって仕事を呼び込み、それから翻訳の勉強を始めるといった方法がとれる時代になったのです。

●プロフィール

藤永二美

米国バベル翻訳大学院プロフェサー
流通業の海外出店業務を経験後、バベルでノンフィクションや法律翻訳を学びながら講師も務め、現在は渉外弁護士事務所の秘書兼翻訳として会社設立等幅広い業務を担当。



(1) 会社の事業形態と特徴

前章で、個人ではなく会社として翻訳を請け負うメリットは充分ご理解いただけたと思います。しかし「会社」と言っても、ごく一般的な株式会社だけでなく、組合や財団法人、NPO法人など様々な法律に基づく企業形態があり、事業規模や対象とする顧客や翻訳物によって、適した形態が違ってきます。例えば最初は小規模でも将来の成長を狙う場合は、資本の拡充が図りやすい株式会社、環境や教育問題などに特化して社会活動の一環として翻訳事業を行う場合はNPO法人等がそれぞれ適しているでしょう。今回はページ数も限られていますので、一般に企業や個人からビジネスや研究、調査目的で翻訳依頼を受ける会社として適しており、また比較的個人でも設立しやすい「株式会社」「合同会社」「有限責任事業組合」の3形態を取り上げ、まずそれぞれの特徴、メリット、デメリットを説明します。

A 株式会社

A-1 株式会社の特徴

最初は皆さんよくご存知の「株式会社」(Stock Company)です。かつては「株式会社」の設立には最低、資本金1,000万円、取締役3名と監査役1名が必要で、個人には負担が大きく、小規模の会社としては最低資本金300万円と取締役1名で設立できる「有限会社」が一般的でした。しかし2006年の会社法施行により「有限会社」と「株式会社」が一本化され、最低資本金制度が廃止され、資本金1円以上、取締役1名から「株式会社」が設立できるようになりました。

「株式会社」とは、会社が発行する「株式」を

金銭等の払込みにより引き受けた「株主」が所有し、「株主」から会社の事業運営を委任された「取締役」が株主の監視の下に業務を執行する会社であり、その最高意思決定機関は所有者である株主の総会＝「株主総会」です。従って会社の規模に関わりなく、会社法上「株式会社」に最低限必要な機関は「株主総会」と「取締役」であり、それに追加できる取締役会や監査役といった機関は、大まかに次の2つの区分に応じて、自由に選択し、会社の定款に定めることができます。

(a) 規模による区分

会社法上、株式会社はその資本金等の規模により「大会社」とそれ以外の「非大会社」に区別されます。大会社とは資本金5億円以上又は負債200億円以上等の要件を満たす会社を言います。

(b) 株式譲渡制限による区分

周知のように株式は原則譲渡可能であり、証券取引所に上場した会社の株式は市場で自由に売買され、株主も一刻一刻変わります。しかし小規模の会社の場合、事業運営の安定を図るためにも、ある程度株主を固定化するのが望ましく、多くの会社は定款に「株式譲渡制限条項」を盛り込み、株式の譲渡に際しては会社（株主総会または代表取締役、取締役会等）の承認を要する旨を定めています。会社法上は、株式の上場・非上場に関わりなく、定款に「株式譲渡制限条項」を定めておらず、実質株式が自由に譲渡できる株式会社を「公開会社」、それ以外の会社を「非公開会社」と言います。

個人で会社を立ち上げる場合は、最初はほとんどが「非公開」かつ「非大会社」でしょう。そして「非公開非大会社」であれば、株式会社として

最少単位の〈株主総会+取締役1名〉から、〈取締役会+監査役会（委員会設置会社の場合は、指名委員会、報酬委員会、監査委員会の3委員会）+会計監査人〉までの計12パターンの中から自由に機関を選択採用できます。ここでは各機関の詳細の説明は省き、また公開大会社の場合の説明も省略しますので、興味のある方は会社法関連の参考書等でお調べ下さい。

A-2 株式会社の主なメリット

資金調達：株式会社は上述のように株式の発行によって資金を調達し、事業運営の維持、発展を図ります。従って定款に定める「発行可能株式数」の範囲であれば、随時、株主総会または取締役会等の決定により、新株を発行し、それを現存または新たな株主が引き受けてくれれば、追加の資金を得ることができます。

信用力：後述の合同会社等他の様々な企業形態と比較すると、従来の日本のビジネス慣習上は、やはり「株式会社」が信用力も高く、銀行取引や顧客との契約においても、最も受け入れられやすいでしょう。

機関の柔軟性：上述通り、事業の拡大に併せて、株主総会によって定款を変更して取締役会や監査役、監査役会を設置し、内部統制システムを確立し、より社会的に認められる大会社へと発展できます。反対に事業の縮小等により、合同会社等持分会社に組織変更することも可能です。

A-3 株式会社の主なデメリット

手続き：後述の合同会社、有限責任事業組合と比べると、設立時の費用がかさみ、公証人による定款認証にも手数料がかかります。（表参照）また上述の株式譲渡制限や株券発行の有無（会社法上、原則株券は不発行）にもよりますが、株式や株券の取り扱いに関する様々な手続きがを伴うため、小規模の会社では事務が煩雑になります。

事業運営：最高意思決定権は株主にあるため、株主の意向と実際に業務執行を行う取締役の意向とが必ずしも一致しない事態が想定されます。新株発行や株式譲渡による株主の増大、変更等によっ

て、会社の事業運営が左右される場合もあるでしょう。

利益配分：事業の利益つまり剰余金は配当等を通じて株主に配分しますが、あくまでも持株比率に応じた配分となるため、個々の会社に対する有形無形の貢献があったとしても、その貢献度は利益配分には反映されません。

B 合同会社

B-1 合同会社の特徴

2006年施行の会社法によって新しい形態として導入されたのが合同会社（Limited Liability Company=LLC）です。会社法上は「株式」を出資単位とする「株式会社」と金銭等の出資額=持分を単位とする「持分会社」に区分されており、持分会社には無限責任社員のみで構成される合名会社、無限責任社員と有限責任社員で構成される合資会社、そして有限責任社員のみで構成される合同会社があります。個人で事業を立ち上げるという観点から考えれば、出資額を超えて債務を負わない有限責任社員のみによる合同会社が適切でしょう。

同じ有限責任会社である株式会社との大きな違いは、株式会社では所有は株主、業務執行は取締役と分担されているのに対し、合同会社では、出資者=所有者である「社員」が、原則社員の総意に基づきそれぞれが業務執行社員として業務を執行するため、所有と業務執行が一致している点です。

B-2 合同会社の主なメリット

手続き：定款の認証は不要で、設立時費用はほぼ半額ですみます。（表参照）

事業運営：上述の通り、原則出資者である社員の総意によって、その持分比率に関係なく、事業上の判断や利益や損失の配分を行うことができ、事業運営上の意思決定がスムーズに行えます。

組織変更：合同会社は社員の総意により、株式会社への組織変更登記が可能です。登録免許税も最初から株式会社を設立するより低く抑えられます。

B-3 合同会社の主なデメリット

資金調達：新たな社員の入社による出資、または既存社員の出資額の増加により資金を調達できますが、いずれも社員の総意による定款の変更が必要です。

持分譲渡：株式会社では原則株式譲渡は自由ですが、合同会社における持分譲渡は会社の事業運営に大きく影響するため、他の社員全員の一致が要求されます。いずれも社員数が増えれば、事業運営が難しくなる可能性があります。

C 有限責任事業組合

C-1 有限責任事業組合の特徴

「組合」と言うと、これまでは民法上の無限責任の組合を意味しましたが、会社法とは別に2005年8月1日に経済産業省の管轄下で「有限責任事業組合契約に関する法律」が施行され、「有限責任事業組合契約」の登記が可能となりました。これがいわゆる日本版LLP（Limited Liability Partnership）です。合同会社と類似しており、出資者＝組合構成員により事業運営がなされるため、意思決定がスムーズで、また権限や利益、損失の分配を、出資比率に関わらず、事業への貢献度などに応じて自由に決定できます。合同会社との大きな違いは、合同会社は法人格を有し、法人税が適用される（社員は、更に各個人で所得税を支払う必要があり、結果的に二重課税となる）のに対し、有限責任事業組合は構成員課税となり、法人税が適用されないため、節税効果が得られる点にあります。なお、有限責任事業組合では「組合契約」が株式会社及び合同会社の定款に相当し、設立登記に際して必ず作成しなければなりません。

C-2 有限責任事業組合の主なメリット

上述通り、構成員課税による節税効果が大きな利点であり、わざわざ経済産業省において「有限責任事業組合」(LLP)という新しい企業形態を定めたのも、当初外国と同様に構成員課税化する狙いであった合同会社(LLC)が、結局財務省の

見解で法人税の適用を受けることになったためという経緯があります。

C-3 有限責任事業組合の主なデメリット

組合のため最低2名の構成員が必要です。また合同会社と違って、組織変更により株式会社化することはできません。従って将来事業の発展等により多額の資金調達等が必要となった場合は、有限責任組合を解散、清算し、新たに株式会社を設立登記する必要があります。

(2) 会社の設立方法

次にそれぞれの会社をどうすれば設立できるかを簡単に説明します。どの形態を選ぶかに拘わらず、まずは下記の主要事項を定めます。

1) 発起人等の氏名、住所及び登録印

株式会社は発起人（個人1名または法人1社以上）、合同会社は社員（個人1名または法人1社以上）、有限責任事業組合は組合員（個人2名または法人2社以上）を決めます。その内最低1名または1社は日本国内に住所を有する居住者でなければならず、個人であれば地方自治体に登録した実印、法人であれば法務局に登録した代表者印が必要です。また法人の場合は、新しく設立する会社の業務を執行する者として、職務執行者を定めます。

2) 社名（漢字、ひらがな、カタカナ、アルファベットのいずれの表記も可）

社名の前か後ろに形態を示す「株式会社」「合同会社」「有限責任事業組合」のいずれかを付けます。（例：有限責任事業組合バベル翻訳）

3) 本店所在地（東京都23区であれば、東京都〇〇区、まで。政令指定都市は〇〇市、それ以外は〇〇県〇〇市（郡）までを決めます。これにより管轄の法務局が決まります。）

4) 事業目的

会社は定款に定め、かつ法務局に登録した事業目的の範囲でのみ事業を行うことができま

す。従って翻訳事業だけでなく、将来付随して行うかもしれない事業をなるべく多く列記した方が、定款変更の手間が省けます。

5) 機関及び役員

株式会社であれば「株主総会」に加えて、取締役を何名置くか、3名以上の取締役により取締役会を設置するか、取締役会を設置する場合は監査役が必要となるため監査役3名以上により監査役会も設置するか、といった機関を選択し、各役員の数また任期を決めます。非公開非大会社の場合は取締役、監査役共にその任期を最長10年までと定めることができます。

合同会社であれば、社員全員をそれぞれ業務執行社員とするのか、特定の社員を業務執行社員とするのか決定します。いずれも設立者がそのまま役員に就任するケースが多いと思いますが、友人知人や家族に役員就任を依頼する場合でも、就任承諾書ももらっておきます。

6) 代表者

株式会社で2名以上取締役を置く場合は「代表取締役」、合同会社は業務執行社員をそれぞれ「代表社員」とするのか、特定の業務執行社員を代表社員とするのか、決定します。有限責任事業組合の場合は、上記1)の組合員の内、最低1名または法人の場合は職務執行者が印鑑を法務局に届け出ればよく、登記時に別段代表者を定める必要はありません。

7) 事業年度

暦の12ヶ月を1事業年度としますが、その開始日を1月1日にするのか、4月1日とするのか、を決めます。

8) 設立時の出資金及び資本金

株式会社であれば設立時発行株式数、1株当たりの払込価額、各株主の引受株式数を決め、更に払い込まれた資金の内、いくらを設立時資本金とするか決定します。合同会社も同様に、設立時の各社員の出資額を決め、出資された資金のうち、いくらを設立時資本金とするのか決定します。

いずれも設立時に払い込まれた資金の中から、設立に要した費用（登録免許税や定款認証

費用、弁護士や司法書士報酬等）を差引き、残りを資本金とすることが可能です。従って設立費用が上回った場合は理論的には資本金0円になりますが、登記簿謄本に資本金額が記載されることを考えると、会社の信用面からも設立費用は差し引かず、ある程度まとまった金額を資本金とすべきでしょう。有限責任事業組合の場合は、各組合員1円以上の出資の価額を定めるだけでかまいません。

以上の基本的項目が決まったら、それぞれの形態に応じて、まずは株式会社と合同会社であれば会社定款、有限責任事業組合であれば組合契約を作成します。それらの雛形も含めそれぞれの設立必要書類及び手続きの詳細は下記の法務局及び法務省民事局のホームページを参考にして下さい。
<http://houmukyoku.moj.go.jp>「商業法人登記に関する申請書等の様式について」

<http://www.moj.go.jp/MINJI/>「有限責任事業組合契約に関する登記手続き」

同時に上記で定めた本店所在地を管轄する法務局、そして株式会社の場合は最寄りの公証人役場を調べましょう。

具体的な設立登記手続きについては、上記ホームページが大変詳しく、また管轄の法務局の窓口でも丁寧に相談に応じてもらえますので、大いに利用して下さい。

会社の設立登記が完了し、法務局から登記事項全部証明書（登記簿謄本）と代表者印の印鑑証明書を取得し、会社名義の銀行口座の開設、税務署への法人設立届出書等に使用します。設立後の届出については表をご参照下さい。従業員を1名でも雇用する場合は公共職業安定所（ハローワーク）、労働基準監督者及び社会保険事務所へ事前に相談の上、事業開始後10日以内に届出て下さい。詳細はそれぞれの官庁のホームページで調べ、または各窓口にお問い合わせ下さい。

会社比較表

	合同会社 (LLC)	株式会社 (発起設立)	有限責任組合 (LLP)
設立人 役員 代表者	社員 1 名以上 業務執行社員 1 名以上 代表社員 (法人の場合は職務執行者を選任)	発起人 (株主) 1 名以上 取締役 1 名以上 代表取締役	組員 2 名以上
資本金	1 円以上	1 円以上	2 口以上
必要書類	定款 (認証不要) 社員による決定書 (代表社員、本店所在地、 資本金決定) 代表社員就任承諾書 払込証明書 印鑑証明書 委任状等	定款 (認証要) * 払込金額、資本金額を定 款記載の場合 発起人決定書 * 取締役会非 設置の場合 (設立時取締役、設立時代表 取締役、本店所在地を決定) 設立時取締役就任承諾書 払込証明書 / 印鑑証明書 委任状等	組合契約書 (認証不要) 払込証明書 印鑑証明書 委任状等
設立費用 登録免許税 印紙 認証手数料	資本金 1000 分の 7 最低 6 万円	資本金 1000 分の 7 最低 15 万円 4 万円 (電子定款不要) 5 万円及び謄本 1 枚 250 円	登録免許税 6 万円
その他費用	登記事項全部証明書 (登記簿謄本) 1 通 1,000 円 (銀行口座開設等に必要) 法務局に登録した代表者印の印鑑証明書 1 通 500 円 (同上) 印鑑作成費用 (代表社員印、代表取締役印) 司法書士等に設立手続き、また税理士に税務申告等を依頼する場合はその報酬		
設立後の 主な届出	税務署 - 法人設立届出書 (設立日から 2 ヶ月以内) 都道府県税事務所 - (東京 23 区) 事業開始等申告書 (事業開始日から 15 日以内) (東京 23 区外) 法人設立届出書 (設立日から 1 ヶ月以内) 市町村役場 - 法人設立届出書 (東京 23 区は不要) (同上) 労働基準監督署 / ハローワーク (労働保険、雇用保険適用事務所届、被保険者届) * 事業主でも労働保険 (休業補償あり) は加入可能 社会保険事務所 (厚生年金、健康保険適用事務所届、被保険者届)		
税金	法人税、地方税、消費税 (原則事業開始 2 年目以降) 青色申告 (設立後 3 ヶ月経過 or 事業年度終了の前日まで) に税務署へ届出、専従者の届も可)		構成員課税 白色申告
備考	株式会社への組織変更可	事業拡大に伴う取締役会、 監査役等機関変更可	合同会社、株式会社等への 変更は不可

インターネットで受講できます！

『翻訳ビジネス起業実務 講座』11月開講

会社を設立すると、たくさんのメリットがあります。

そして今、資本金0円、株主1人、取締役1人、これで翻訳会社が設立できるようになりました。

- 会社組織にすると、信用度アップで仕事を取りやすい！
- 受講料やパソコン購入費も経費でおとせる！
- バベルグループの取引会社としてネットワークに仲間入り。

この講座では、会社設立の考え方から登記などの実務まで、分かりやすい講義と実践で、終了後には貴方もすぐに会社を設立することが出来ます。

【カリキュラム】

- 第1回 ●翻訳事業の起業の進め
- 第2回 ●翻訳ビジネスの事業形態
- 第3回 ●会社の設立と登記の実務
- 第4回 ●設立後の問題

【講義回数】4回

【提出課題】2回 定款の作成など

【受講期間】2ヶ月

【受講料】42,000円(税込) 個別コンサルティング1回(2時間)がつきます。

【講義タイプ】オンライン(音声講義付)

【講師】石田 佳治 バベル翻訳大学院(USA)ディーン、リーガル主任プロフェッサー。

藤永 二美 バベル翻訳大学院(USA)プロフェッサー。流通業の海外出店業務を経験。
現在は渉外弁護士事務所の秘書兼翻訳として会社設立等幅広い業務を担当。



藤永二美講師

<講師メッセージ>



石田佳治講師

翻訳という仕事を個人で行う場合は、翻訳会社に登録して仕事の依頼を待つということになりますね。翻訳会社に登録しても、実績が無いと思うように仕事がもらえないことがあります。

そこで、翻訳会社を設立して「会社」としてクライアントを探すほうが、営業はずっとやりやすいでしょう。クライアントは企業が圧倒的に多いので、発注先も「会社」のほうが信用できるし、社内での取引許可も取りやすい。

営業のやりやすさ、税務上のメリットなど翻訳会社の設立は貴方にとってたくさんのメリットがありますよ。

[www. Babel.edu](http://www.Babel.edu)

BABEL UNIVERSITY
Professional School of Translation

1 起業家としての心構え

社団法人 日本翻訳協会 湯浅会長に聴く



湯浅美代子会長

「志す」ということ

——本日は、日本翻訳協会会長の湯浅美代子さんに、翻訳者として起業するにあたって持つべき心構えについてお聞きしたいと思います。

はい、私はバベル翻訳大学院（BUPST）の「翻訳ビジネス経営実務」講座で、翻訳ビジネスを始めるにあたって重要な2つのポイント——「事業計画」と「志」について講義をしています。どちらも重要なのですが、今回はメンタル面を支える「志」を中心にお話ししましょう。

——たしかに、なにかを始めるにあたっては「志」が必要ですね。

その通りです。「志」とは、「自分が何をしたいか」という「想い」であり、人生において自己発見し自己実現を行っていく原動力となるものです。しかし、実社会に出てみると、「志」を実現するのはそう簡単ではないと痛感させられることとなります。他者との関わりの中で、様々な障害にぶつかり、妥協を強いられます。そんな中で障害を乗り越え、自分の生き方を確立していくためには、「志」の強さが必要とされるのです。

——翻訳者として起業するには、一般に就職する場合よりも強い「志」が必要な気がします。

翻訳の道を志した動機は、人によって様々だと思います。しかし、どんなものであれ、そこにはひとりひとりのかけがえのない「想い」がこめられているはずですね。その「想い」を大切に、深めていくことで、自分の良さを再認識し、「志」を強化できます。とはいえ、「志」があるだけでは起業するのに十分とは言えません。

——具体的には、どういうことでしょうか。

その「想い」にベクトルを——すなわち、実現するための具体的な方向性を与えてやる必要があ

ります。そうやって初めて、「志」という名詞は「志す」という動詞となって動き始めるわけです。

「起業する」ことの意味

——「志」にベクトルを与えるという点について、もう少し詳しく説明をお願いしますか。

ベクトルを具体的に設定すると、自己実現したい「想い」に方向性が与えられ、それを社会的に実現する筋道が見えてきます。つまり「翻訳」を生かした起業、ビジネス化につながってくるわけです。もちろん、様々なベクトルが考えられます。どの分野に集中するか、ビジネスモデルをどうするかなど、一方向に絞り込めない場合もあるでしょう。でも、逆に「想い」が強すぎると、特定の方向に拘って行き詰まってしまう可能性もあります。誰にでも得意分野、やりたい分野があるはずですから。でも、多少の失敗や回り道はあってもいいと思いますよ。障害にぶつかって、それを乗り越えていけば「志」は強まりますからね。失敗や障害は貴重な学習機会だと捉えて、何事も前向きに考えるという基本姿勢が大事でしょう。

——翻訳者として起業する上で、特に大切なことは何でしょうか。

私の持論は、あらゆるものには二面性があるということです。翻訳者にも二面性が必要ですよ。最初は原著者の方を向いて原文を正確に解釈し、途中からは読者の方を向いて明確な訳文を作成するわけですから。同時に、翻訳者は基本的に謙虚であるべきです。様々な解釈があることをきちんと認識し、他者の評価を冷静に受け入れて、以降の仕事に生かしていくことが求められるでしょう。もちろん、起業の目的がお金儲けだけというのでは困りますね。お金を稼ぐなら、もっと楽な

ビジネスはいくらでもありますよ（笑）。翻訳は、大きく社会に貢献するものです。社会活動のすべては翻訳で成り立っているわけですからね。

社会活動のすべては「翻訳」で成り立っている

——それは、どういうことなのでしょう。

周囲を見回すと、ありとあらゆるコミュニケーションが行われていることに気がつきませんか？そして、すべてのコミュニケーションに介在するのが「翻訳」という作業なのです。異言語から日本語にすることだけが翻訳ではありません。情報をインプットして変換し、アウトプットする——これこそが、翻訳の本質ではないのでしょうか。

——言われてみれば、たしかにその通りですね。

もう少し具体的に言いましょうか。ビジネスの場で相手に何かを伝えたい場合、まずは自分の意思を文字や言葉などの具体的な形に変える（第一の翻訳）でしょう。そして、それを相手に伝達するわけですが、100%そのまま伝わるとは限りません。相手には相手の思考体系があり、受け取った情報をそれに基づいて解釈（第二の翻訳）するからです。こう考えてみると、社会のすべては翻訳で成り立っていること、それから翻訳には「誤訳」が付き物だということも理解できるでしょう。コミュニケーションが上手な人というのは、つまり翻訳が上手くて誤訳が少ない人ですね。つまり、翻訳が上手な人は、社会人としても成功する可能性が高いと言えるのではないのでしょうか。

「翻訳起業家」のあるべき姿

——最後に、「翻訳起業家」として大切な点を教えてください。

最大のポイントは、リスク責任を自分で負うということでしょう。現在、翻訳というジャンルは「文芸（出版）翻訳」と「ビジネス翻訳」に大別できます。文芸翻訳の場合は訳書に自分の名前が記されますから、誤訳などのリスクはすべて自分が負うことになります。一方、ビジネス翻訳の場

合は、署名原稿ではないのでその分リスクは減りますが、翻訳者は複数の翻訳会社などへ登録して仕事を請け負うことが多く、十分に仕事があるかわからないというリスクがあります。もちろん、起業したところで、このリスクは変わりません。

こういったリスクを回避するには、一にも二にもクライアント（または翻訳会社）との信頼関係を確立することで、そのためには顧客に認められる長所や特長を持つことがポイントになります。それには二つの道があり、ひとつは顧客のあらゆるニーズに対応できる、いわゆる「便利屋」に徹すること、もうひとつは特定の専門領域のプロとなって、その分野で絶対的な評価を得ることです。しかし、その根底に共通するのは、常に自らがリスク責任を負うという強い自覚だと思えます。

——受身ではなく、自立したリスクマネジメントが必要ということですね。

自分でマネジメントすべきなのはリスクだけではありませんよ。自分で責任を負うというのは、裏を返せば自由にやれるということです。そうなれば、一方的に顧客から仕事を請け負うだけでなく、こちらからも様々な提案をしていける、対等な関係を築くことができます。自ら仕事をマネジメントし、顧客の声を聞きながら、顧客と連携して障害を克服すれば、結果として双方がビジネスに大きな成功を収めることもできるでしょう。

——よく言われる、『win-winの関係』ですね。

現在、グローバル化の進展に伴い、世界がひとつのマーケットとなっています。このような拡大した社会の中で、翻訳の——すなわち翻訳者の果たす役割の重要性は高まっています。翻訳者が社会全体の中で貢献していくのだという「志」と、それを実現する「想い」もまた、ますます大切になってくるのは間違いありません。

——現在の社会状況で、翻訳者が信頼を得るには、客観的な世界共通のステータスすなわち「翻訳能力資格」が必要になるわけですが、この点については「STEP3」で改めてお聞きします。

翻訳会社経営のノウハウその1

事業領域・宣伝販促・価格方針・生産体制



石田佳治 米国バベル翻訳大学院ディーン

自分の翻訳会社を持ったらその運営をどうするかです。バベル翻訳大学院（米国）の講座科目の中に「翻訳ビジネス経営実務」という講座がありますが、その要旨を抜粋しましょう。

1. 事業領域について

翻訳と言っても範囲は広いです。まず言語です。英語が国際語ですから殆どの方は英日・日英が中心でしょうが、最近は日中・中日の翻訳も多くなっています。仏、独、西、伊、露についても広い需要はありますし、その他の少数言語を専門とする方もいらっしゃるでしょう。自分の母語（日本語が殆どでしょう）をターゲット言語とするのが普通でしょうが、経験を積んで来ますと逆（日本語からの翻訳）も可能になって来ます。

次に専門分野です。グーグルなどの検索エンジンで世界の翻訳会社を検索してみると、どの翻訳会社も特定の強い分野を持っていることがわかります。あなた自身も「何でも翻訳致します」とは考えてないでしょう。自分の経歴、興味、社会経済の方向性などから専門分野を打ち出すべきです。出版翻訳であってもフィクションかノンフィクションか、フィクションならミステリーかロマンスか、ノンフィクションなら科学分野か社会分野かなどです。実務翻訳なら法律翻訳か、特許翻訳か、金融翻訳か、技術翻訳か、医学薬学翻訳かなどです。専門分野を特定する理由はその特定分野のみの翻訳を繰返しやることで急速にエキスパートになれるからです。

三番目に周辺領域です。言葉を置き換える「翻訳」だけが仕事だと思わないことです。出版翻訳であればリーディングやシノプシスです。出版社から翻訳を依頼される前に原書のリーディングやシノプシス作りを何冊も（場合によっては5冊以上も）頼まれるのが普通です。実務翻訳であれば多人数の共同翻訳者のコーディネーターや翻訳チェッカーを依頼されますし、分野によってはシステム作りや編集などに関与することもあります。最近は翻訳のみを発注する会社は少なく、翻訳作業を含めた前後のシステムをアウトソーシングする会社が多いのです。これは医学薬学翻訳や金融翻訳など大量の翻訳が継続的に出て来る場合に特に顕著です。医学薬学翻訳では治験の計画実施から分析、そして二言語（英日）での報告書作成・印刷・製本・（当局提出用）が一括アウトソーシングされますし、金融翻訳では、株主総会資料（年次報告書他）のに言語（英日）作成・印刷・製本が一括発注されます。その中の翻訳だけをとるわけには行かないのです。

2. 宣伝販促

まず貴方の翻訳会社をウェブに登場させることが第一です。貴方の翻訳会社のホームページをインターネットに作って下さい。最近はホームページ作成ソフトが安く売っています（1万円くらい）から簡単にできます。翻訳を発注するクライアントはグーグルやヤフーなどの検索エンジンで翻訳会社を探してコンタクトします。グーグルやヤフーなどの検索エンジンは定期的にホームページ

の情報を集めて検索情報に組み込みますから、専門分野や特徴や最新ニュースなど検索に引っかかるキーワードをホームページに登場させておくことです。ホームページの作成に当っては大手の翻訳会社のホームページを参考にしましょう。バベル、トランスパーフェクト、翻訳センター、知財翻訳研究所、ICS、ISS など沢山あります。

個人的な知己をたどっての PR も重要です。実際に翻訳ビジネスを立ち上げた人の話を聞いてみると7割が以前から知っていた人からの依頼又はその紹介だそうです。ご自分の会社の会社案内書を作りましょう。名刺も作りましょう。差支えない限り多くの人に配り、送付しましょう。過去の勤務先、親戚友人、家族の知り合い、同窓会、近所の人、などいろいろあるはずです。年賀状と暑中見舞いも有効な PR 方法です。これに設立挨拶や周年記念挨拶などを加えて年に3,4回ははがきを出しましょう。最初は効果がなくても続けている内にふと頼んでみようと思った人が連絡をくれてクライアントになってくれるものです。こまめに手紙を出しましょう。手紙の方がeメールより効果があるようです。新聞や雑誌への広告は翻訳についてはあまり効果がないようです。広告の値段が安ければいいですが、費用対効果はあまり良くないようです。PRは徐々に浸透して行きますから一年位はかかると考えておきましょう。

3. 価格方針

他の翻訳会社の翻訳単価はホームページに載っているものもありますから調べておき、それを参考にしてご自分の翻訳受注単価を決めておきましょう。昔は400字詰め原稿用紙1枚当りで値段を出していましたが、今はeメール受注、eメール納品が殆どですので1字当り単価です。受注の時に原文の語数をカウントし語単価をかけるか、納品のときに翻訳文の語数をカウントし語単価をかけます。手書き原稿やコピー原稿など語数カウントができないものは入力して又はスキャナーにかけ

てからの語数カウントとなります。納品をプリントアウトするのはA4版が殆どで、日本文の場合は30字40行の1200字、英文の場合は13ワード30行の390ワードが標準ですので1枚当りの値段も概算しておかれるとイメージしやすいと思います。語、あるいはワード当りの単価は、翻訳会社のホームページをのぞいたり、問い合わせたりして知っておきましょう。

4. 生産体制

翻訳の納期を決めるのに翻訳生産体制を考えておく必要があります。個人一人で翻訳する場合は、自分の翻訳ペースを知っておきましょう。1時間何ページくらい訳せるか、訳した後の見直しにどの位かかるか、1日に何時間くらい翻訳できるかなどです。翻訳生産のスケジュール管理は極めて重要ですからしっかりとペースをつかんでおきましょう。数人ものチームで共同生産する場合は、ターミノロジーの統一、翻訳スタイルの調整、相互チェックなど翻訳の品質水準の統制などに注意を払う必要があります。これらはすべてeメールのやり取りで行われます。共同翻訳のワークショップなどに参加しますと、これらのことの実際の進行にたずさわることができますので積極的に参加されると良いと思います。

5. マーケティング、顧客との協力体制

翻訳の営業に必要な書式を準備し揃えておきましょう。見積書、請求書、秘密保持契約書、翻訳受託契約書などの書式です。顧客はこれらの書式が揃っていて、すぐ出して来る翻訳者を信頼します。

顧客との事前事後の打合せを重視し積極的に提案しましょう。翻訳をやれと言われて受身でやるのではなく、能動提案型の営業を行うことが顧客の信頼を得る一番の方策です。

翻訳トレンド 原文尊重か読み易さか

石田佳治 米国バベル翻訳大学院ディーン

翻訳における原文主義か訳文主義かの問題は既に何十年も繰返されている問題ですが、新しく翻訳界に入って来る方がよく迷う点ですので解説しておきましょう。

まず第一に翻訳と一言に言っても数多くの種類があるということです。出版翻訳の中にも小説のような一般読者向けもあれば学術論文のような専門性の高いものもあります。一般読者向けの出版翻訳については、読者が読んで理解できなければ意味がありませんので、原文どおりの訳というよりも原文の意味を読者に伝えられるような文体が必要でしょう。訳者は読者の立場に立って原著者の言わんとするところを読者が理解できる水準の訳語で表現することが期待されます。これに対し学術書の翻訳は読者は学者・研究者であり研究のために翻訳書を使うのですから「原文が透けて見える」ような翻訳が望まれます。著者も自己の思想が性格に伝えられることを望み読者も原著者がどのような言語表現で述べているかを知りたいと思いつつ訳書を読むでしょう。学者の訳した学術書はこのようなわけであり「こなれた」訳文とはなり得ないのです。

出版翻訳の他に専門家向けの翻訳もあります。特許翻訳、法律翻訳、金融翻訳、医薬翻訳、IT 翻訳、等にわかる実務翻訳にもそれぞれ特徴があります。字幕翻訳もあります。それぞれが違いますので一概には言えないのですが、それでも次のようなことが言えます。

実務翻訳の場合は基本的に読み手が翻訳料金を出します。クライアントが金を払って訳者に訳させるのですからクライアントの意向が優先します。クライアントが読んでわかる訳文が要求されます。法律翻訳においては訳文を読むのは法律家ですから訳文と原文は法律的な意味においてイコールであればよく言語的なイクイバレンシーは要求されないでしょう。医薬翻訳においても同様、読み手は医学薬学教育を受けた人ですから、医学薬学的に等価の訳文であれば良いとすべきでしょう。特許翻訳については、訳文を提出する特許当局のフォーマットに合致したものでなければなりませんから原文と訳文は体裁的にも文脈的にも一致しないのが当然ということになります。字幕翻訳に到っては、字幕に表示できる文字数は原文に比べて極めて少ないという制限がありますから、原文からはるかに離れた訳文が表示されます。

翻訳における原文と訳文の相克については中世の聖書翻訳の昔から論争がありましたが、現代の応用言語学から発展した翻訳研究 (Translation Studied) の学会では、原文とのイクイバレンシー (等価) を前提としつつも訳文の目的を重視するスコポスセオリー (スコポスはギリシャ語で目的の意) が大勢的な意見となりつつあります。これは日米欧の翻訳研究を主体とする言語系大学院の傾向です。

翻訳会社経営のノウハウ その2

翻訳生産性向上の技術<eトランステクノロジー>

『PC-Transer 翻訳スタジオ 2009 for Windows 試用レポート』

小室誠一 米国バベル翻訳大学院講師

翻訳生産性を向上させるために利用できる支援ツールは数多くありますが、機能を大別すると「(対訳)エディタ」「辞書ツール」「翻訳メモリ」「翻訳ソフト」「コーパス」などになります。それぞれ専用のツールがあり、すでに何らかのツールを使用している方も多いでしょう。

eトランステクノロジーでは、これらのツールを単体ではなく、組み合わせることにより翻訳生産性を向上させることを目指しています。

実は、これらの基本的な機能が組み合わされた総合的な翻訳支援ツールがすでにあります。eトランステクノロジースクールでも採用している「PC-Transer 翻訳スタジオ」です。

業務用翻訳支援ツールを考える際に、高速で高品質な訳文出力機能のほかに以下の条件が挙げられます。

- (1) 使いやすい対訳エディタ
- (2) 翻訳メモリ機能
- (3) 高機能な辞書ツール
- (4) 外部辞書・インターネットとの連携
- (5) 翻訳メモリ・ユーザ辞書の共有機能

PC-Transer 翻訳スタジオはこれらの条件を全て満たしています。

2008年10月24日に発売されたPC-Transer 翻訳スタジオ 2009は、PC-Transerとしてはバージョン16になります。バージョン6で翻訳メモリ機能を搭載し、バージョン12(翻訳スタジオ)ではインターフェースのデザインを大きく変更し、今回のバージョンアップでは、さらに翻訳業務に役立つ機能がいくつも追加され、文字通り総合的な翻訳支援ソフトに進化しました。

この試用レポートでは、追加された機能を中心に、翻訳支援ツールとしての観点から評価してみましょう。

●使いやすい対訳エディタ

翻訳処理を行う対訳エディタ(翻訳ペイン)は、複数開いてタブで切り替えることができます。PCの性能にもよりますが、英日・日英各最大40の翻訳を同時に行うことができます。ドキュメントをオープンするだけなら英日・日英各100文書まで可能です。実際にこれほど同時処理することはないでしょうが、対訳エディタの高速性・頑強性をはっきり表しています。

操作性も抜群です。対訳エディタの場合、どの語句がどのように訳出されたのかがすぐに分かる必要があります。マウスカーソルを任意の語句に合わせると原文の語句と対応する訳語のフォントが赤くなります。ダブルクリックすると反転表示され、ステータスバーに品詞が表示されるので、品詞解析、さらには構文解析が正しく行われているか推測できます。この状態でさらにクリックするとプルダウンの訳語リストが表示され、任意の訳語をクリックするだけで変更できます。学習機能をオンにしておけば、この操作だけで学習辞書に登録され、次回から最優先で出力されます。品詞の解析が誤っている場合は、訳語ペインに表示される品詞一覧から変更できます。品詞の変更は構文解析をやり直すことにもなりますので、変更と同時に再翻訳され新しい訳文が出力されます。

品詞変更も学習することができます。

後で見直したい、もう少し調査が必要だという場合にはブックマークが便利です。ブックマークに登録すると「ブックマークペイン」のリストをクリックするだけで任意の文にジャンプします。今回のバージョンアップで、最大32種類のブックマークを付けることができるようになりました。

訳文の出力をコントロールする機能に「フレーズ指定」があります。機械翻訳では、係り受けがあいまいな場合に、誤解析することがあるので手で係り受けを指定するための機能です。今回は、検索機能を付加して、同じようなフレーズを一括で指定できるようになりました。

●対訳エディタでアラインメント

原文と訳文をセンテンス単位で対訳ファイルにする際に利用するのがアラインメントツールで、翻訳メモリを作成する場合には不可欠ですが、PC-Transer 翻訳スタジオには専用のアラインメントツールは付属していません。その代わりに、対訳エディタでセンテンスの突合せを行います。

「原文訳文読み込み」で対訳エディタに読み込み、原文と訳文が食い違ったときに片側改行挿入で修正します。今回「片側文結合」が追加され、さらに編集がし易くなっています。

編集が済んだ対訳を翻訳メモリに登録するには「翻訳メモリ一括登録」機能を使いますが、翻訳ロックやブックマークで指定した文だけ登録することができます。

●翻訳メモリ機能

翻訳エディタで訳文を生成する際に、翻訳メモリを検索し完全マッチや文型マッチ文を出力できます。類似文も検索できますが、自動的な訳文出力には不適切でしょう。

翻訳メモリを対訳例文として参照するには「翻訳メモリペイン」を利用します。類似文検索や、

キーワード検索を行って参考になる対訳をすばやく表示し、作成に役立てることができます。また、「翻訳メモリペイン」では、クリックするだけで対訳文の変動部分にタグ付けすることができます。変動する部分に機械翻訳エンジンが翻訳した訳文を埋め込んで出力する機能が文型一致文検索です。翻訳生産性を向上させる多段階翻訳処理の中心的な機能となります。今回のバージョンアップでは目立った機能の追加はありません。

●高機能な辞書ツール

PC-Transer 翻訳スタジオの辞書機能は多彩で高機能です。基本語辞書のほかに、学習辞書、専門語辞書、ユーザー辞書があります。学習辞書は訳語変更すると自動的に登録され、全ての辞書に優先します。専門語辞書は編集できませんが、複数の辞書を優先順位を変更して使用できます。また、「専門語辞書自動選択」機能を使えば、原文を解析して、最適な専門語辞書を自動設定できます。ユーザー辞書はユーザーが登録・編集できる辞書で、CSV ファイルなどから一括登録できます。また、翻訳中に辞書登録画面から一つずつ登録することもできます。この場合、見出し語と訳語を入力して品詞を選択するだけの簡易登録と、意味情報やパターン情報を設定できる詳細登録とがあります。

それぞれの辞書にはフォントの色を指定できるので、翻訳結果を見ればどの辞書がヒットしたのか一目でわかります。

今回のバージョンアップでは、特筆すべき追加機能として「用語」機能が挙げられます。ユーザー辞書には「読込辞書」と「書込辞書」の指定ができますが、それに加えて「用語集」指定ができるようになりました。この指定をしておくと、「用語抽出」と「用語表示」をすることができます。「用語抽出」を行うと、翻訳した文書でマッチしたユーザー辞書の見出し、訳語、品詞、辞書名、本文中の訳語、一致数、頻度がリストに書き出されます。訳文の訳語が用語集と一致しているか確認した

り、ヒットした用語だけを抜き出してその文書専用の用語集を作成したりと応用範囲の広い機能です。

この他、翻訳している文書だけに有効な「定義語」機能があります。

●外部辞書・インターネットとの連携

外部辞書としてロボワードが組み込まれているので、ほとんどの市販の電子辞書を設定して検索できます。翻訳エディタで原文あるいは訳文の語句をダブルクリックすると連携して辞書引されます。

さらに、今回追加されたのが「WEB 検索」機能です。翻訳ペインの語句を選択し、Web 検索ボタンをクリックすると、「WEB 検索ペイン」に結果が表示されます。翻訳ペインの中に WEB ブラウザが組み込まれた形で、そのまま通常の WEB ページを表示できます。検索ページの追加もできるので、使い慣れたページを登録しておくといいでしょう。

また、「WEB 検索ペイン」の「翻訳」ボタンをクリックすると表示された WEB ページが対訳エディタに貼り付けられて翻訳されます。範囲選択して部分訳を行うこともできます。

●ネット共有機能

グループで翻訳する場合に、翻訳メモリとユー

ザー辞書のデータを LAN 環境で共有して利用できる機能が追加されました。大きな翻訳案件を複数の翻訳者で手分けして翻訳する場合などに、訳文のスタイル統一や用語の統一が一段とやりやすくなりました。追加・編集の制限や管理者権限の設定などもできます。

●e トランステクノロジー

このように翻訳に役立つ様々な機能が付いたツールを単に「翻訳ソフト」と呼んでしまうと誤解が生じてしまうことを十分に理解していただけたと思います。PC-Transter 翻訳スタジオのような「総合的翻訳支援ツール」をメインツールとし、必要に応じて他のソフトと連携することで翻訳生産性を向上させることができます。それには、これだけ多くの機能をどの場面でもどのような手順で使うかがポイントになります。その使いこなしのテクニックのノウハウを蓄積したのが「e トランステクノロジー」なのです。

< 関連 URL >

「PC-Transter 翻訳スタジオ 2009」製品紹介ページ (株式会社クロスランゲージ)

<http://www.crosslanguage.co.jp/products/studio2009/>

バベル MT 研究会

<http://www.babel.co.jp/mtsg/>

eTrans Technology (翻訳生産性を劇的に向上させるテクニック) 講座

翻訳業務の現場では短納期で大量の文書进行处理の必要性がますます高まっています。この講座では、翻訳メモリと機械翻訳を連動した「多段階翻訳処理」により、翻訳生産性を向上させるテクニックを体得することができます。PCの基本操作ができる人なら誰でも受講できます。

【カリキュラム】

第1回 素材の収集	【講義回数】 8回
第2回 テキスト整形	【提出課題】 8回
第3回 対訳ファイル作成	【受講期間】 9ヶ月
第4回 用語集作成	【使用ソフト】 (株) クロスランゲージ「PC-Transter 翻訳スタジオ 2009」(別途購入、受講生特別割引あり)
第5回 翻訳ソフト演習(1) 準備作業	【入学金】 入学金 21,000円(税込)
第6回 翻訳ソフト演習(2) 翻訳メモリの活用法	【受講料】 82,800円(税込)
第7回 翻訳ソフト演習(3) 対訳エディタの活用法	【講義タイプ】 個人ワークショップ型オンライン講座
第8回 翻訳ソフト演習(4) 作業プロセスの確認	

体験版をお試いただけます。詳細は下記の WEB ページをご覧ください。
<http://www.babel.co.jp/etts/kouza.htm>

わたしの起業法

日本

●プロフィール

阿部教子
株式会社ベファーナ 代表取締役。英国でMBAを取得後、外資系メーカーに勤務。2006年にベファーナを設立、「アンホルトのアーティストシリーズ」を出版。



みなさん、こんにちは。株式会社ベファーナの阿部教子と申します。

この度バベル様より、私の起業体験について紹介して欲しいとのご依頼を頂き、筆を取らせていただきました。

まずは弊社を簡単に紹介させていただきます。株式会社ベファーナは2006年3月に設立された会社で、主に児童書の翻訳出版をしております。ベファーナとは、イタリアの魔女のサンタクロースで、子供達にお菓子の贈り物を届けます。私共も、日本の子供たちに素敵な贈り物を届けたいとの願いから、この社名を選びました。

ベファーナは今年で第三期目になりますが、これまでにバベル様を発売元として「アンホルトのアーティストシリーズ」という英国のロングセラー絵本5冊の翻訳出版をいたしました。本シリーズは現在、図書館、ミュージアムショップなどを中心に確実に売上を伸ばしており、2年間で累計約10,000部を販売しました。またその他に、他社様よりご依頼頂いた絵本を翻訳したり、玩具などの子供用品の輸入販売も行っております。企業としてはまだ歩み始めたばかりですが、少しずつ様々な分野へと業務を拡大し、成長を続けております。それではこれから、弊社の起業について、もっと詳しくご紹介しましょう。



Befana

れ以前は10余年に渡り米国系企業でマーケティングの仕事をしていました。けれども、娘を持つことで仕事とプライベートのバランスをとることがより重要になり、そして何よりも子供用品に対して、非常に深い関心を持つようになりました。その中でも洋書絵本は、大人も子供も一緒に楽しめるものとして、強く惹かれました。そして、独身時代に旅行先のロンドンで購入した絵本「アンホルトのアーティストシリーズ」の日本語版が出版されていないということを知ったことをきっかけに、なぜ出版されないのか疑問を持ち、自らがけたいと起業に目覚めた訳です。

会社の設立

まずは事業計画を作成し、それが実現可能か否かを検証しました。その中で、絵本の著作権をどのようにして取得すればよいか、出版後書店ルートに流通させるのにはどのようにすればよいかなど、様々な方面からリサーチし、その中でバベル様に出会いました。その段階ではまだ会社勤めをしておりましたが、著作権が取れる見込みができたところで退職願を提出し、具体的な準備に入りました。そして、退職と同時に会社を設立、正式に著作権の取得をしたのです。

絵本の制作

会社設立後は、出来るだけ早期に出版を実現するため、早速翻訳絵本の制作に入りました。翻訳作業はもちろんのこと、印刷会社から見積もりを取ったり、製本会社を探したりもしました。また、

起業のきっかけ

私の場合、ひと言で表現するならば、現在4歳になる娘を持ったことが起業のきっかけです。そ



「アンホルトのアーティストシリーズ」

世界の偉大な画家と実在した子供たちのお話。絵本の中に名画が登場し、子供たちにアートの世界を分かりやすく紹介します。

全国学校図書館協議会選定図書

紙の選択や製本方法についてなど、初めて経験することも多かったです。翻訳については、「アンホルトのアーティストシリーズ」が史実を元に書かれていること、また名画が登場することから、その背景を調べて正確な翻訳にするため、かなりの時間を費やしました。起業に当たり、ビジネス本、出版関係の業界本をたくさん読みましたが、それにも増して美術の本を相当量読むことになりました。そして、最初の3冊の絵本をおよそ6ヶ月かけて完成させ、いよいよ発売へとたどりついたのです。

流通

まずは、書籍販売の王道、書店ルートへの販売を開始しました。こちらは、バベル様が既にお持ちの販売ルートでしたので、弊社独自で開拓する必要はありませんでした。バベル様のこれまでのご経験をお聞きし、一緒に営業活動などをしました。次に弊社の絵本が美術館などに向いていることから、ミュージアムショップなどへの営業展開も、こちらは弊社独自で進めていきました。その他にも図書館や生協、子供向けショップなどへの展開を徐々に進めていきました。決して楽なことではありませんでしたが、誠意を持った商談で何とか取引先を広げることができました。営業経験

ゼロの私でしたが、自分で設立した会社となれば自然と力が入ります。相手の方から「営業うまいね〜。」とお褒めいただくこともしばしばでした。

今後について

現在は事業分野を更に広げるため、子供関連用品全般に目をむけています。書籍の方も少しずつではありますが新たに著作権を取得し、出版する予



しろくまピップハワイへ行く！

北極に住む白熊のピップがハワイに旅行に行き、自分とは姿形の違ういろいろな仲間と出会い、大切なことに気づいていくお話です。ハワイの魅力がたっぷり味わえます。

定があります。また、翻訳のみの業務も依頼があれば是非やりたいですし、弊社の方からもこれまでの6冊の実績を武器に積極的に営業をかけていきたいと思っています。

これから起業する方へ

会社を設立することはそれ程難しくありませんが、それを継続し、事業として利益を出していくことは難しいといわれています。それでも、多くの人が挑戦するには、そのリスクを上回る魅力があるからでしょう。ベファーナの場合、最初から5冊の著作権を取得したのは、今から思えば少々大胆であったかと思います。起業も独立もリスクが伴いますので、まずは小さく堅実に始めて、徐々に拡大していくのがよいのではないのでしょうか。みなさん、頑張ってください。

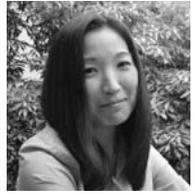
わたしの起業法

米国

●プロフィール

パリジェン聖絵

日本で英文学士号、米国で言語学士号を取得。バベル通信英日翻訳講座修了。出版関連企業にて翻訳と編集を担当。バベルで修士号を取得後、オレゴン州にて翻訳業を営む。



サービスの提案と信頼関係の構築が要

私の翻訳との出会いは、昔、バベルの通信講座を受講したのが始まりです。後に出版関連の会社に就職して翻訳を担当するようになると、翻訳への思い入れが強まり、バベル PST へ進学。卒業後は本格的に翻訳ビジネスを行うことにしました。まずは「プロ」を名乗るに恥じない準備を整えるべく、固有のドメイン名を取得してビジネス用の E メールアドレスとウェブサイトを作成し、それらを記載した名刺も作成しました。ウェブサイトは、自分の経歴や連絡先を載せた簡単なものですが、お客様にも参照してもらえますし、真面目な翻訳業の看板としても役立っています。

実際の仕事と諸々の事務は私が一人でやっています。PST 在学中からも少しずつ翻訳を受注してはいましたが、卒業後に本格的に活動するにあたっては、幸運なコネクションがまず足がかりとなりました。その後はお客様との信頼関係に力を入れていった成果があったと考えてよいのでしょうか、翻訳依頼は口コミによって大きく途切れることなくいただいています。今のところ別の翻訳者を雇用する形態は考えておらず、大きな宣伝はしていません。お客様に満足してもらえるよう、大手の翻訳会社とは違うメリットを感じてもらえるように努めています。私のような小規模な翻訳業では、「小回り」がきくことが売りになっていると思います。例えば、数時間単位での納品や週末の納品もありますし、不明な部分があれば原稿の執筆者と直接連絡をとらせてもらうなど、質の向上のために一歩踏み込んで働きかけています。また、私は DTP 編集の経験がありますので、見栄えのいいレイアウトの文書を作成できるというのも強みになっています。基本的にはお客様の意向を尊重しますが、ただ全面的に受け入れるの

ではなく、お客様にとって何が真の利益になるのかを考えて提示していくことにも力を入れています。翻訳会社を通じた案件の場合、指示どおりの翻訳作業を行うだけに留まることが多いと思いますが、直接お客様に対応する場合は、適切な提案や疑問を投げかけられるかどうか腕の見せどころです。相手の事情を察しつつ、相手も気付かなかったような案を適切に提示し、結果的に喜んでもらえれば強い信頼関係に結び付きます。私自身にとっては必ずしも有利ではないものの、お客様にとって有利と思われる提案をしたことで、逆に良い方へ向いたという経験もあります。あるお客様から大量の翻訳の依頼があった時のことです。私にも充分に対応可能な内容で、報酬もかなりの高額となることが予想され、二つ返事でお受けしたい案件でしたが、大きな翻訳会社であれば必ず Trados を使用するであろうものでした。お客様には Trados の知識がなかったため、Trados を使用している翻訳会社に依頼したほうが納期、質、予算の面で有利である旨を正直にお伝えしたところ、そのお客様は私に Trados を購入してくださり、今でも良好な関係が続いています。またある時、とあるお客様から大きなプロジェクトを依頼された際は、私が一人で納期と格闘しながらこなしていくには質の低下が懸念されました。納期を守りつつ質を確保し、かつお客様のコストを抑える案はないかを考えた末、翻訳作業と同時進行で私が別の翻訳者のトレーニングを行うプランを提示し、喜んでいただきました。

私の行っているような翻訳業は、設備投資はさほど必要ありません。あとは自分が資本です。お客様のために何ができるか。それを考えながら自分ならではのサービスを提供し、信頼関係を築いていくことで、成功につながるのではないかと考えています。

注目される！米国翻訳会社 Transperfect 社

1992年、ニューヨーク大学ビジネススクールの学生だったエリザベス・エルティング（Elizabeth Elting）とフィル・ショー（Phil Shawe）は、学生寮の一室をオフィスとして翻訳サービス会社 Transperfect を起業しました。今で言う SOHO ビジネスのはしりでしょうか。それから15年余りを経て、同社は世界26ヶ所にオフィスを構え、4000人以上の優秀なスタッフを抱える言語サービス業（LSP：Language Service Provider）に成長を遂げています。同社は2000年に『Inc.500』誌の「米国の急成長企業」に選ばれるなど、業界のリーディング・カンパニーとして高い評価を得ています。また、創設者のエルティング（現在は社長兼CEO）は、2001年に『Ernst & Young』誌の「今年を代表する起業家」に選ばれ、2004年にはアメリカン・エクスプレスと『Entrepreneur』誌の「ウーマン・オブ・ザ・イヤー」賞を受賞するなど、業界をリードする存在として知られています。

Transperfect 社が、業界リーダーとして高い信頼と評価を受けていることは、取引相手の顔ぶれを見ても明らかです。同社の顧客リストには、モルガン・スタンレー、ファイザー製薬、ゼネラル・エレクトリック、スターバックス、モトローラ、NTTグループ、米国の各省庁など、各業界のトップ企業や政府機関が名を連ねています。これは、Transperfect 社が提供する顧客バリューが、トップ企業が要求する高いレベルを常に満たしていることに他なりません。LSP にとっての顧客バリューとは、もちろん翻訳などの品質のことです。しかし、成果物のみならず、アプローチから始まるビジネスプロセス全体で高い品質を維持することが、顧客の信頼と評価を得るためには必須です。エルティングの「当社は、最高品質の言語ソリューションを提供すること、お客様の満足感を得ること、そして自社のプロセスや業務に改善を重ねることにより、お客様の期待を上回る結果を出すことに真剣に取り組んでいます」というメッセージに表されているように、Transperfect 社は、業務における高品質を維持するために様々な施策を実施し、その品質に裏打ちされて業務・業容の拡大を行い、グローバル企業へと成長してきました。



Transperfect 社HP（日本語版）のトップページ
(<http://www.transperfect.jp/index.html>)

高品質な翻訳の条件として、Transperfect 社は以下の3つのポイントを挙げています。

- 言語スペシャリストのスキルと専門知識
- 厳密な翻訳プロセス
- 妥協を許さないプロジェクト・マネジャー

これらのポイントを実現するための重要な要素は何か、考察してみましょう。

外部機関による品質保証

Transperfect 社は、ホームページのトップで「ISO9001：2000 認証取得」を高らかに謳っています。ISO（国際標準化機構：International Organization for Standardization）は 147 カ国の標準化機関の連合体で、世界中の 30 万以上の企業に品質保証の認証を与えています。もともと、ISO の認証は製造業の品質保証から始まったものですが、現在では様々な業種や政府機関などの各分野に分かれて規格が設定されています。しかし、LSP の分野では、ISO の認証を受けている企業は皆無に近いのが現状でしょう。ISO 認証を得るには非常に高いハードルがあり、経営者・従業員・ビジネスプロセスのすべてにおいて不断の品質管理・維持の努力が必要だからです。これによって、同社の品質は客観的に保証されていることになり、顧客も信頼して取引することができます。

さらに Transperfect 社は、ISO に認定された企業品質を維持するために、別の外部標準化認証機関 BSI（The British Standards Institution）によって定期的な監査を受けています。そして、同社は「最高品質の翻訳サービスを世界に提供するための標準を確立していきます」と宣言しています。

最優秀なスタッフを適材適所に活用

Transperfect 社には、4000 人以上の言語スペシャリストがスタッフとして登録され、採用も常に行われています。しかし、応募者の採用合格率は 15% という狭き門で、高い能力が要求されることが想像できます。

業務プロセスの各ステップで、このような優秀な能力の持ち主が割り当てられる分業制を取っているのも、Transperfect 社のビジネスモデルの特徴です。翻訳を例にとれば、プロジェクトが立ち上げられると、そこには翻訳者・編集者・校正者という 3 種類の言語スペシャリストが割り当てられ、各プロセスで最高の成果が出るような工夫がなされています。また、各スタッフはターゲット言語（翻訳先の言語）を母国語とし、業種などの専門分野に精通している他、米国翻訳者協会（ATA）、英国翻訳／通訳協会（ITI）など、各国を代表する翻訳団体の認定を受けています。つまり、スタッフのひとりひとりが翻訳ビジネスに必要なコア・コンピタンスを身につけているというわけです。

以上のように、コアとなるビジネスである翻訳・通訳などの LSP 業務について信頼と実績を確立した Transperfect 社は、それをベースに周辺分野（吹き替え・字幕制作・人材派遣・ドキュメント管理・多文化マーケティングなど）に業容を拡大すると同時に、グローバル化も進展させてきました。2005 年 7 月には東京にもオフィスを開設し、今ではアジア、ヨーロッパ、北米に 26 カ所のオフィスを有しています。そしてインターネットによる無料見積もりなど、IT を活用してビジネスチャンスを逃さず、24 時間態勢で顧客サービスを提供しています。

顧客が求める高品質のサービスを継続的に提供し、顧客満足を維持することで、新たなビジネスチャンスを獲得し、ビジネスを拡大していく——たったふたりのスモールビジネスから現在のグローバル企業に至った Transperfect 社のビジネスモデルは、起業家が目指すべきひとつの理想形と言えるでしょう。

文責：編集部

フリーランスの 起業の心構え **トルコ**

●プロフィール

ハクセヴェルひろ子
大学卒業後、日系商社、外資系金融機関に勤務。
結婚後トルコ在住。2005年11月バベル翻訳
大学院修了、翻訳修士号取得。現在は、フリー
ランス翻訳者として主に海外の翻訳会社と取引。



フリーランスで起業するのは難しいことではない。地球上のどこにいても、インターネットの接続とPCがあれば翻訳業は始められる。ただし、翻訳者と名乗ることと仕事を続けて受注できるようになることは、まったく別の次元の問題であり、仕事が取れなければ、翻訳者という肩書きもただの自己満足にすぎない。ここでは、起業手続き上の問題は別にして、私の9年間にわたる翻訳者としてのこれまでの経験を踏まえ、海外で途切れずに仕事を受注できるようになるコツを簡単に説明したい。

(1) 大学や大学院で翻訳を体系的に学ぶ

海外で翻訳者の能力を判断する最大のポイントは学歴であり、しかも体系的に翻訳を学んでいるかどうかで評価が大きく変わる。私自身、バベル翻訳大学院 (PST) で修士号を取得してから1年足らずで仕事が途切れなくなった。

(2) 世界を視野に入れる

日本の翻訳会社のトライアルを受けて合格し、登録しても仕事が発注されないという話はよく聞くが、海外では優秀な英日翻訳者を血眼になって探している。英文の原稿を書き起こした海外企業が、海外の翻訳会社に直接英日翻訳を依頼する例が年を追って増加している。

(3) 翻訳団体の有料会員になる

経歴やCV (履歴書) を多くの人の目に触れるようにするには、翻訳団体の会員になるとよい。また、有料会員になれば、翻訳会社の格付けも閲覧できるため、翻訳料金の未回収などの問題を事前に防ぐことができる。世界最大の翻訳団体としては、Proz.com が有名。

(4) PC やインターネット接続は最新の状態に保つ

PC は最新の状態にしておかないと、いざと

いうときに役に立たない。たとえば、最新のTrados に対応するには Office 2003 以降が必要であり、大型ファイルのダウンロードには、高速インターネットが欠かせない。

(5) 資料代をけちらない

翻訳者に必須の辞書や資料類は、最初のうちは赤字になっても揃えておく。仕事を依頼されてから注文したのでは間に合わない。

(6) 翻訳会社とのレスポンスを良くし、翻訳会社が期待する以上のサービスを心がける

メールの返信やファイルの受領確認は迅速に行う、急ぎの案件に気持ちよく対応するなどのサービスを心がければ、翻訳会社に好感をもたれ、仕事を頼みやすい翻訳者だと思われる。

(7) 納期は厳守

(8) どんな仕事にも全力投球

上記の2つは、翻訳会社の経営者から聞いた翻訳者の最低条件である。翻訳業はサービス業なので、どんなに実力があっても、納期が守れなければ翻訳者として使い物にならず、仕事によって手を抜くのであれば、安心して仕事を任せられない。また、ひとつひとつの仕事に全力で取り組むことによるのみ実力が向上する。

(9) 自ら許容限度を設定しない

X 円以下の仕事を引き受けないという人がいるが、訳してこそ翻訳者である。最初のうちは多少レートに不満があってもどんどん仕事を引き受けて実績を積み、その実績を武器にランクが上の翻訳会社にアプローチする。

(10) 失敗を恐れない

以上のことを実行して翻訳会社と良好な関係を築き誠実に対応していれば、クライアントからの評価が思わしくない場合でも、簡単に切られることはない。

私の起業体験

米国

●プロフィール

レガリア耀子

大阪市生まれ。同志社大学文学部卒業。日本および米国で貿易会社、会計事務所等に勤務し、ビジネス経験を積む。1989年、藍青ジャパニーズランゲージサービスを友人たちと起ち上げ、日本語学校および翻訳通訳業を営む。代表取締役である。



「え？私が会社を作るの？」なんとなく友人達との話の成り行きで会社を作ることになってしまったのは遠い昔、今から20年近くも前の話です。当時は「起業」なんて言葉は一般的ではありませんでしたし、「個人商店」のような感じが私の頭にあったような気がします。でも「起業する」と決めたらやることはたくさんあったのです。カリフォルニア州やサンフランシスコ市への申請書類、登録手続き、オフィス探し、電話や家具の調達、保険選び、広告宣伝活動等々。忙しく走り回り、できることはすべて自分でやりました。そうしないと起業する意味がないと思ったものです。「石の上にも3年」絶対にくじけない、という意気込みがありました。そうやって、遂にサンフランシスコのダウンタウンのど真ん中、といっても小さな雑居ビルですが、その一室にオフィスをかまえることになりました。

あれから20年、長い間、翻訳エージェンシーをやっていると色々なドラマに遭遇します。変わった仕事もあれば、恐ろしい(?)仕事もありました。どんな仕事か、また、どんな人生が飛び込んでくるかわかりません。わがオフィスを友人の一人がアメリカの探偵小説に登場する「探偵事務所」のようだと評していました。まさにその通り。翻訳会社というものは派手さのない地味な仕事だと思っている人も多いと思いますが、楽しくて苦しい、非常に魅力的な仕事であることは保証します！

ただし、翻訳が好きな人は要注意！自分で翻訳する機会は限られています。私も一介の翻訳者として、自分で翻訳したい書類も多々あります。でも、時間が取れないのが実状です。翻訳作業は集中力が大きな要素となりますが、どうしても邪魔が入ります。メールが来れば即答し、電話がなれ

ば取ってしまう。クライアントが来る。そうだ、ミーティングを設定しなければ…。そうこうしている内にあつという間に夕方に。悪友がビールを飲もうと誘いに来る。あーあ、また徹夜か……。フリーランス翻訳者でもこれは同じですね。時間をうまく利用して、無駄を省かないといけません。仕事(時間)の大半は営業活動です。見積作業、スケジューリング、翻訳者のトレーニング、インタビュー、既存のクライアント、翻訳者達とのミーティング等々。

翻訳会社というのは、クライアントと翻訳者、そしてエージェンシー、立場はそれぞれ違っても、プロジェクトをとともに遂行して行くという同志のような感覚が持てるのが確かに魅力といえます。クライアント、翻訳者たちとの信頼関係が築きあげられ、お互いの信頼ネットワークが翻訳エージェンシーの持つ利点です。

ビジネスには人と人とのコミュニケーションが一番大切だと考えています。インターネット、メール、携帯電話が必須の昨今では、人との信頼関係も形を変え、失われつつあるようにも思えます。言語を仕事としている以上、コミュニケーションは忘れてはなりません。

サンフランシスコには翻訳会社がたくさんあります。多数の国の人たちが集まっているし、ニーズがあるからです。多くの翻訳会社では、多国語を扱っています。百以上もの言語を扱っている会社もあります。弊社も、今後は日本語-英語に限らず、他の言語にも積極的に扱っていきたいと考えています。自分のできない言語を扱うのは難しいのではないだろうか？とずっと思っていました。実際はそうでなく、これもまた信用できる翻訳者とのネットワークの構築に他ならないと確信しています。

翻訳で起業し、成功するノウハウ

STEP 2

プレゼンのツールとして、 翻訳出版しよう！



著者 アン・セバ
訳者 渡邊理恵子



著者 スーザン・フレッチャー
訳者 吉田 菜津子



著者 アマンダ・ゴア
訳者 大屋知子
清水美和
菅山あつみ
武隈ツユ枝
中村公世
三原知代
監訳 中道暁子



著者 ヘザー・ベッケル
訳者 石橋誠子
星野紀子
佐々木愛子
富永慶子
高橋真理子
西 千絵
監訳 中谷真理子



著者 シルヴィア・ガスタルディ／クレール・ムザッティ
訳者 石崎美香子・伊藤直樹・上原ゆうこ
監訳 河野志保・鈴木英化・横山麗子・柴田ひさ子



著者 ジュアン・アントニオ・フェルナンデス／ローリー・アン・アンダーウッド
訳者 大槻恵一
徳永富美恵
西田万里子
橋本恵美子
前田高昭
村田勝利
小坂貴志
監訳



文 著者 スーザン・メイヤーズ
絵 マーラ・フレイジー
訳者 ささき もとえ



著者 ポール・ストラザン
訳者 稲田あつ子
友枝裕子
西川真由美
本多恵子
宮本寿代
山中和代
監訳 寺西のぶ子

翻訳出版こそ、ビジネス翻訳者最大の自己PR

ビジネス翻訳者の実績は、何によって判断されるか？

BABEL PRESS Co-pub 編集部

あるビジネス翻訳者の嘆き

「私たちビジネス翻訳者は、どんなに活躍していても、出版翻訳者のように世間に自分の名前を知らしめる手段が無い、世間から正当に評価される機会が少ないのが不満です…」

これは、リーガル分野で超多忙の活躍をなさっている翻訳者の方がふともらした言葉です。

確かにどんなに活躍しているビジネス翻訳者でも「黒子」であってその名前が世間に出ないのが普通です。

これは、忙しくなればなるほど、なにか「自分の人生は、ただ金儲けの人生」とむなしさを感じ、方向感覚を無くし、流れ作業のように仕事をこなしているという不安やストレスがうつ病の原因にもなりかねません。

また、ビジネス翻訳者としての地位の確立ができず、つねにクライアントの下手にあって「下請け」から精神的に抜け出せないでいたり、翻訳料の交渉も常にクライアントのいいなりにならざるを得ないという経済的な不安定の原因ともなります。ですから、かなり売れているビジネス翻訳者でも、自らの意志で自分のギャラを値上げすることは難しく、何年も値上げすることなくクライアントの好意にすがらざるを得ないようなところがあります。

我が国においては、翻訳者の社会的評価は決して高いものではありません。同じ知的作業でありながら弁護士や医者のように国家資格として位置づけられてもいません。

社団法人日本翻訳協会が今度、新しく「JTA 公

認翻訳専門職資格試験」を本格的に設けるのは、ひとえに「翻訳者の地位の向上」を目的としているものとのことで、翻訳者の皆さんにとって大変喜ばしいことと言えましょう（詳細は、<http://www.jta-net.or.jp/> をご覧ください）。

つまり現状では、ビジネス翻訳者は、「自らの努力で、自らの力で自分の地位を確かなもの」とする必要があるのです。

ビジネス翻訳者の地位向上のための PR 手法

それではビジネス翻訳者が自らの地位向上のためにできる対策とは一体、なにがあるのでしょうか？

① 講師になる

よく見られるのが翻訳学校やカルチャーセンターなどで翻訳講座の「講師」となり、それを肩書きとして活用するケースです。

最近では、実務教育を重視する大学が、プロ翻訳者を講師とした公開講座や、学部の特別講座とするケースが増え、その講師を引き受ける翻訳者もいます。

しかし、これもコネが無ければ大変狭き門ですし、講師を委嘱するかどうかの判断は、その翻訳者の社会的評価が基本となります。

② 専門誌などに寄稿する

翻訳専門雑誌や、自分が担当する専門ジャンル（法律分野とかコンピュータ・マニュアルのジャンルなど）の専門誌に寄稿する等です。

これも効果はありますが、そもそもその媒体の数が少ないこと、また講師と同じように採用にあたっては、その翻訳者の社会的評価に寄るところが大きいのです。

専門分野での出版活動

①社会的評価を獲得するための出版

大学の研究者、教育者の実績評価には、第一に専門分野での『論文発表』があります。その次に海外の専門的な著作物の翻訳刊行が上げられます。

そのために、自費でこの翻訳出版する大学講師や助教授がいます。

同じことが、いや翻訳者にとっては、海外の重要な情報を翻訳し我が国のその情報を必要とする人たちに提供することが翻訳者本来の仕事ですから、翻訳者にとっての翻訳出版こそ最大の社会的評価を得る源泉といえます。

②出版翻訳者が世に出る PR 手法に学ぼう

出版翻訳者になる道は、ビジネス翻訳者になるよりはるかに狭き道だと言われてきました。新人の翻訳者が出版社に自分を売り込もうとすると、相手の出版社の編集者が、お断りの公式とも言える質問をします。

「ところであなたには翻訳出版の実績がありますか？」

実績がないからこそ新人で、これからその実績を作ろうと努力しているのですが、それがなかなかうまくいかず、途中で挫折する人がいます。

しかし状況は、大きく変わってきました。

「とにかく実績を作っておもう！」という動きです。

力ある新人翻訳者が、自分が今後専門としたいジャンルの、自分が訳してみたい作品・作家の作品を翻訳し、それを出版し、全国書店で販売するのです。

これがあれば、出版社の編集者に「あなたには翻訳出版の実績がありますか？」というお断り専用の台詞を吐かせることを止めることができます

し、その翻訳者の翻訳力の評価はその作品を読んでもらうことで可能です。

また、できあがった作品を自分の翻訳者としての営業ツールに使い、各出版社に送ることも出来、現物があるのですからその効果も大変大きくそこから受注を受けている人がたくさん出てきました。

この効果的な手法をビジネス翻訳者の皆さんにもお勧めします。大変難しいと言われてきた出版翻訳者の世界でも効果の見られる PR 手法ですから、ビジネス翻訳者の世界にはさらに大きな効果が期待できます。

これがプロのビジネス翻訳者の皆さんにバベルプレスがお薦めしている「ビジネス翻訳者のための Co-pub 出版サービス」です。

問題は翻訳出版のための「投資額」です。「投資効果」は期待できますが、投資額があなたにとって大きければ二の足を踏んでしまうことになりま

す。そのとき是非、考えたいのが次項の「翻訳会社を立ち上げる」です。

まとめ：翻訳会社を立ち上げる

あなたが翻訳会社を立ち上げることは、いろいろな意味で有利です。

①あなたの翻訳力を高めるための教育投資は、会社の経費として処理することが可能となります。たとえばあなたがバベル翻訳大学院 (UAS) に入学すれば、教育費として計上できます。

②あなたの翻訳出版にかかる投資は、会社の宣伝費として計上できます。

これにより翻訳の品質を高め、スピードアップし、またあなたの名前が表紙に翻訳者として載る専門ジャンルでの出版があなたの翻訳会社の発展をさらに確かなものとするのです。

Co-PUB 出版サービスの詳細は www.co-pub.net/bt をご覧ください。
皆様のご相談にお答えします (無料)

寺西のぶ子 ●プロフィール

BABEL UNIVERSITY 講師。主な訳書に、『ニンニクと健康』（晶文社、1995）『ショウガは効く』（晶文社、1999）、『なぜサルを殺すのか』（白揚社、2001）『友だちができる本』（晶文社、2003）、『メンデレーエフ元素の謎を解く』（バベルプレス共同出版、2006）、『離婚は家族を壊すか』（バベルプレス共同出版、2006）、『フルタイム・ファーザー』（カナリア書房、2007）等がある

PROLOGUE

翻訳者を目指して勉強中の方にとっても、すでに翻訳者として仕事をなさっている方にとっても、良い原書との出会いほど気持ちを高ぶらせ、その気にさせてくれるものはないでしょう。良い原書を読んだ瞬間、この本をぜひ自分の手で翻訳したいという、強い気持ちがわいてくるはずです。

ところで、良い原書とは、いったいどんな原書なのでしょう。ただ自分のフィーリングにマッチするというだけでは、出版までこぎつける可能性はわずかです。現在の自分、自分という翻訳者にとって「良い原書」とは何かを知るためには、自分をよく理解しておく必要があるのではないのでしょうか。

WHY

いまさらと思われるかもしれませんが、自分は何のために翻訳をするのかと考えたことはありますか？ 翻訳者とは何なのか？ 翻訳者のすべき仕事とは何か？ 答は人それぞれ違うはずですし、その時々によっても変わってくるでしょう。けれども、常に共通して得られる答は、翻訳者とは情報の伝達者であるということです。何十万人(!)という読者の存在を常に意識して原文の情報を読者に伝えるために存在する、執筆者と読者の

仲介役が翻訳者ではないでしょうか。

ですから、翻訳者は無用な主張をしたりせず、原文の内容はもとより執筆者のメッセージを深く理解して、それを日本の読者に届けるという仕事を全うするために、ひたすら力を尽くすべきでしょう。かつて、「原書を超越る翻訳」などという宣伝文句が使われたことがありましたが、そのようなことは不可能であり、また、あってはならないことだといえます。

自分が何のために翻訳をするのか、自分のすべき仕事は何かと常々自問していれば、何を翻訳したいか、何を翻訳すべきかは、意外とすんなり見えてくるものです。

WHAT & WHO

では、その「何を翻訳するか」という最大の問題にとりかかりましょう。

まず、ここでは、翻訳を仕事とする人は読書好きであるという前提に立ちます。この前提に当てはまらない人は、今からでも遅くはありません——当てはまる人になってみましょう。

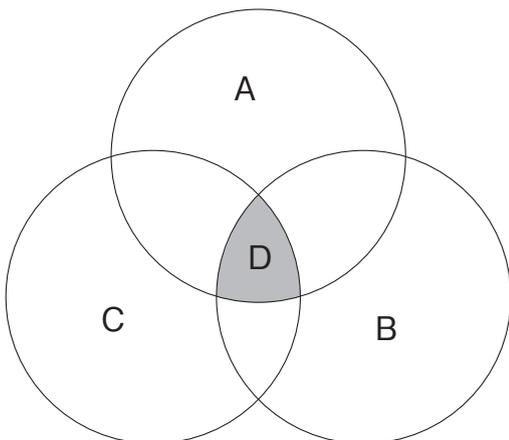
読書好きであれば、当然のことながら、お気に入りの作家、コラムニスト、ジャーナリストがある程度はいるはずです。自分はどういうタイプの執筆者が好きかについても、常日頃から自覚しておく必要があるでしょう（要件A）。翻訳を読んで感動した本があれば原書も読んでみる。映画を

見て感動したら原作に当たってみる。海外の新聞や雑誌も読んでみる。何かアンテナに引っかかるものがあつたら、その奥にある世界をどんどん掘り下げてやろうという厚かましい姿勢が大切です。

そしてもうひとつ大切なのは、自分が情報の伝達者として力を発揮できる原書とは何かについて、よく理解しておくことです。自分がある程度知識を持っている分野、興味、関心を持っている分野、どうしても伝えなければと使命感を持っている分野、好きで好きでたまらない分野。そのような分野を扱っている原書であれば、情報の伝達者としてよりいっそう力を発揮できるはず（要件B）。

さらに、昨今の厳しい社会状況においてどうしても無視できないのは、社会がどんな本を求めているか、すなわちどんな本なら読んでもらえるか、どんな本なら売れるかという問題です（要件C）。この問題を無視して原書を探しても、結局は徒労に終わるだけとなってしまいます。書店の品揃え、書評などを細かくチェックするのはもちろんのこと、日本を含めた世界の情勢にも敏感でいなければなりません。

最終的には、上記の3つの要件が重なり合う部分（D）が「何を翻訳するか」が見つかること、言い換えれば自分にとっての「良い原書」が見つかることとなるでしょう。まずはこの3つの要件をきちんと整理して頭に入れておくことが必要です。



WHEN

原書を探す目を養うのに、早すぎるということはありません。今すぐにでもあらゆる手段を使って海外の書籍、雑誌、新聞等に触れてみてください。触れ合いを多く持つほど目が肥えていくのは言うまでもないことです。日々の生活の中でアンテナを張り巡らせ、何か引っかかるものがあればすぐに行動する心構えが欠かせません。

WHERE

どこで原書と触れ合えばよいか——大きく分けて2種類の場所があります。ひとつは「リアル検索」を行う現実の世界。もうひとつは「ネット検索」を行うインターネットの世界です。

リアル検索ができるどころといえば、まず書店と図書館が挙げられるでしょう。いずれも、洋書を扱っているところは都市圏に偏る傾向がありますが、リアル検索では実際に手にとって中身を見たり、著者の写真を眺めたりして実感を持って確認することができます。しかし、リアル検索には限界もあります。書店にしても図書館にしても、スペースは限られていますから、とことん納得がいくまで良い原書を探すことができるとは限りません。

その点ネット検索は、限界がないとは言えませんが、必要とあらばどこまでも追い求めていくことができます。日本はおろか世界中の書店を覗くことができますし、世界中の図書館の蔵書を検索することもできます。世界中の新聞、雑誌の書評で評判の本や評価の高い本を知ることもできます。けれども、あたりまえですが、ネット検索では実際に本を手取ることはできません。最近では中身を閲覧できるようにしているサイトもあり、かなり便利になっていますが、実物に手を触れるのとはやはり少し違います。

リアル検索にもネット検索にも、それぞれに長

所、短所があるわけですが、リアル検索ができるような書店や図書館は、たいていホームページを持っています。そこで、ネット検索で目星をつけた本が、現実の世界の書店や図書館にあるかどうかを確認し（ネット、または電話で）、あれば出かけて行って実際に手にしてみるという方法も取れます。つまり、リアル検索を行う前にネット検索を行うと、より確かな触れ合いができるということになります。

HOW

さて、それでは実際に検索をしてみましょう。ここではネット検索について、シミュレーションを行うことにします。

先ほどの図の（D）が、「メンタルタフネス」となったという仮定から出発します。まずは、<http://www.amazon.co.jp> で検索ボックスに「メンタルタフネス」と入力して検索を開始します。すると、岡本正善氏、ジム・E. レーヤー氏の著書を初めとする13件がヒットしました。けれども、ここで注目すべきは、2000年以前の書籍が多く、2003年以降は年に1冊ずつしかないということです。そして、スポーツはもとより、ビジネスや社会生活全般に応用できる内容のものが多く出版されているという点です。念のため、紀伊國屋書店 BookWeb <http://bookweb.kinokuniya.co.jp/> でも同じように検索してみると、やはり似たような結果となります。したがって、「メンタルタフネス」をキーワードに原書を探すのなら、これまでとは一味違う斬新な切り口のもので日本人の日常生活に応用できる内容であるべきだろうと方向性を定めることになります。

次に、そのような原書を検索すべく、海外のインターネット書店へ移ります。手始めに、<http://www.amazon.com> へ行ってみることにします。BooksのSearch boxにmental toughnessと入力します。このとき、ボックスにカーソルを当てると、mental toughness training から mental

toughness loehr まで、10種類ほどの細かな分類が現れます。一口にmental toughnessと言っても3,567件もあり、それが更に細分されているところは、さすがアメリカです。

その細かな分類の中から、ここではmental toughness for successを選んでみることにします。件数は138件に絞られました。あまり古い本はとりあえず除外するつもりで、Sort byのボックスをプルダウンしてPublication Dateにします。すると出版時期の新しいものから順に表示されます。1番上にあるのは"A Passion to Lead : Seven Leadership Secrets for Success in Business, Sports and Life"です。タイトルを見る限りはなかなかよさそうです。そこでタイトルをクリックして、この本の詳しい情報が出ているページを見ます。2008年9月に出版されたばかりで、著者のJim Calhounはアメリカのカレッジ・バスケットボールの世界では非常に有名なコーチで、これまでに数え切れないほどの優秀な選手をNBAに送り込み、優れたアスリートというよりは優れた人間を育て上げる名手だと言われていることがわかります。そんな人がスポーツだけでなく、ビジネスや人生にも通じるリーダーの秘訣を書いたわけです。この本は候補のひとつとしておいてもよいかもしれません。

前のページに戻って、今度は上から2番目の"10-Minute Toughness"を同じようにして見てみましょう。すると、これは強い気持ちで試合に臨めるようにアスリートとしてのメンタルを鍛えるという内容であることがわかります。今回の検索目的からは外れているので次へ行きます。このように、ひとつひとつ内容を確認して、掲載されている書評を読み、自分なりに候補を絞っていきます。また、Sort byのボックスをBestsellingに変えて検討する作業も必要です。プルダウンメニューからBestsellingを選択してみると、1992年出版の"Mastery: The Keys to Success and Long-Term Fulfillment"という本が第2位の売れ行きになっていますし、その他、2000年出版の本、1990年出版の本等、意外と古い本が上位にあることがわかります。ここでもひとつひとつ

内容を確認したうえで、最初に Publication Date の分類で検討した本と重ね合わせて検討します。そして、もちろん mental toughness for success 以外のページもチェックしなければなりませんし、他のインターネット書店も訪問しなければなりません。そして最終的に候補が絞れたら、その原書が現実の世界の書店や図書館にあるかどうか、そしてすでに邦訳が出ているかどうかを、やはりインターネットを使って確認します。あればその書店、あるいは図書館へ出向いて実際に手に取り、自分にとって良い原書であるかどうかを確認しましょう。ない場合は、もう1度ネットの書店に戻り、そこで注文して届けてもらうことになります。

EPILOGUE

このように、良い原書と出会うためには非常に煩雑で根気の要る作業が不可欠です。覚悟を決めて何冊かの原書を購入しなければならないケースが多く、時間をかけて選んだ原書が「当たり」とは限りませんから、リスクも伴います。しかし、ただ待っているだけでは自分が求める原書と出会う可能性はごくわずかしかなかった。翻訳者としての自分をよく理解し、自ら求めて行動すれば、必ず良い原書との出会いは待っています。



2 翻訳出版傾向を探る!

イングリッシュ・エージェンシー・ジャパン 取締役 沢潤蔵さんに聴く



取材：西宮久雄

フランクフルトのブックフェアから帰国されたばかりという沢さん。色とりどりの原書や邦訳書がうず高く積まれたオフィスで、穏やかな笑みを浮かべながら、海外の書籍出版の傾向、日本の翻訳出版の状況、著作権エージェントの役割、原書の発見・選択から翻訳出版に至るまでの流れなどについて、雄弁に、時に熱意をこめて語っていた。

現在の翻訳出版の状況

出版科学研究所のデータによれば、2007年の新刊書籍刊行点数は7万7417点で、前半の勢いから2008年は8万点を越えるのではないかと予想をしていました。このうち、翻訳書の占める割合は8.5%前後で、1999年（新刊書刊行6万5000点に対し翻訳書の比率は7%）と比べると、総点数もパーセンテージも増えています。ただ、問題なのは、翻訳書の刊行点数が増えているのに対して売上高は減少傾向にあり、1冊あたりの初版部数も減っていることです。特に2007年は『ハリー・ポッター』（静山社）の新刊がなかったこともあり、ベストセラー・リスト30位に入った翻訳書は皆無でした。出版翻訳タイトルの増加は80年代からずっと続いている傾向ですが、この事実は1冊あたりの売上が減っていることの反映でもあり、点数を増やすことで売上の落ち込みをカバーしているわけです。後であらためて触れますが、ここ数年、海外では「これだ!」と話題になるような書籍が見当たりません。そのため、出版社もどのようなジャンルが売れるのか確信が持てず、

得意とするジャンルに絞り込んで点数をそれなりに多く出す、といった傾向にあるのではないのでしょうか。このような状況の中で、海外の書籍出版状況をきめ細かくリサーチするエージェントの役割は、さらに重要性を増すと考えています。

著作権エージェントの役割

エージェントには2種類ありまして、海外、特に米英のリテラリー・エージェントの場合は、著者と直接契約し、著者の代理人として作品を出版社に売り込むのが仕事です。海外では、著者が編集者と話をするのは作品の内容に関してだけで、それ以外の様々な交渉ごとはすべてベテランのエージェントに任せているのが普通なのです。このようなリテラリー・エージェントに対して、私たちのような著作権エージェント（SA:サブエージェンシーとも呼ばれる）は版權の代理店で、主に海外の出版社と著者のエージェントの代理として、出版物の権利を日本の出版社に仲介するという役割を担っています。日本では、著者の代理エージェントはアップルシードやボイルドエッグ以外はほとんど存在せず、著者自身が出版社と直接契約するのが一般的です。編集者と著者との個人的なつながりも濃く、そのためか、売れる作家は出版社から個別にアプローチがあって、「次の作品は是非うちから」といった声がかかることが多いようです。

私たちは、海外の出版社と著者エージェントの代理として、日本での出版権（版權）を扱っています。出版社が版權を持つ場合と、著者が版權を

持っていてエージェントを通す場合が多いですが、著者と直接交渉する場合も時にはあります。

著者のエージェントが作品を出版社へ売り込む際、権利の範囲を決めることがあります。英語権（作品を英語で出版販売する権利）だけを売る場合、ワールドライツといって全ての権利を売る場合などです。したがって、世界の英語権（world English rights）を持っていたり、北米圏の英語権だけを持っていたりするケースがあるわけです。ワールドライツの場合は出版社が全ての権利を保有しているわけで、その場合には、私たち版權エージェントは当該の出版社と取引をして、日本の出版社との間を仲介することになります。

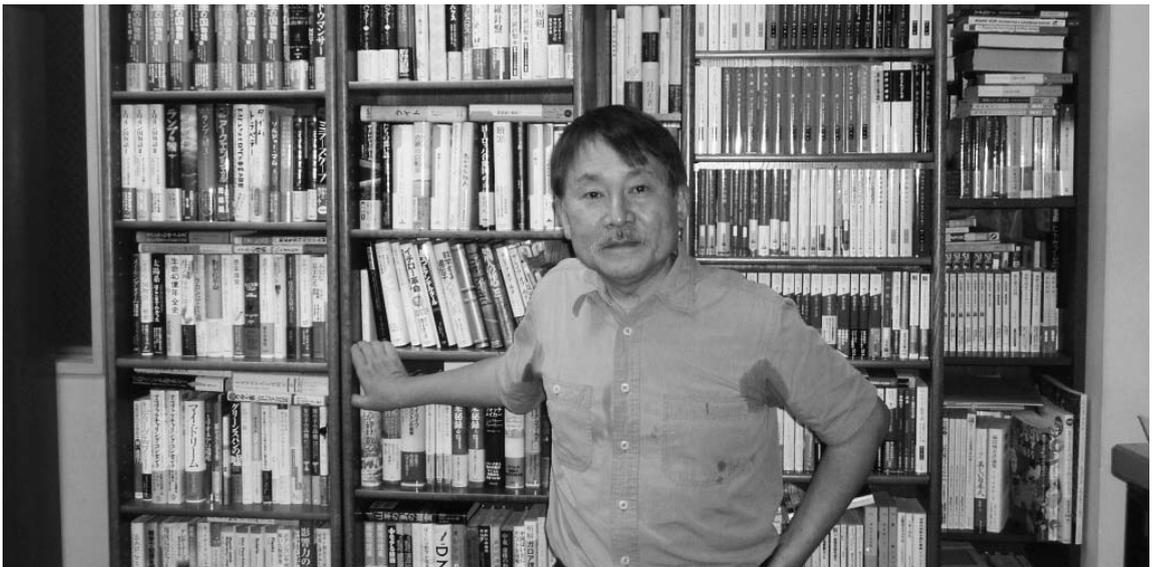
日本の著作権エージェントとしては、タトル・モリエージェンシー、ユニ・エージェンシー、酒井著作権事務所、日本著作権輸出センター、モトブン、アウルズなどがあります。新興のエージェントもいくつか出てきているようですが、業界全体に大きな影響はないようです。逆に、日本の作家を海外に紹介する版權エージェントの動きが目立っています。「第2の村上春樹を！」といった意気込みで、桐野夏生氏が2004年に米国でエドガー賞最優秀作品候補に残ったのも、このような動きによるものです。

情報収集の方法

私たち版權エージェントにとって何と言っても重要なのは、情報の収集です。情報収集の方法としては、ブックフェアへの参加、出版社から送られてくるカタログやEメールのニューズレター、出版情報誌などがあり、現地スカウトからの情報もあります。

第一に挙げられるのは、ブックフェアへの参加です。大きなブックフェアには世界中から出版関係者が集まり、その場で版權の取引も行われます。世界最大のものは、秋に開催されるフランクフルトのブックフェアで、ここには私も参加してきたばかりです。それ以外では3月にパリ、4月にロンドンで開催され、イースター前後にはボローニャで児童書のブックフェアが開かれます。5月下旬か6月の初めにはアメリカのブックフェア（BEA）がありますが、こちらはアメリカ各地の主要都市が持ち回りで行っています。

次に、出版社から送られてくるカタログがあります。ただし、最近ではEメールで企画やプロポーザル、Rights Guideといった版權情報などが常時送られてくるため、カタログそのものの重要性は相対的に薄れてきています。また、PUBLISHERS WEEKLY（アメリカ）やBOOKSELLERS（イギリス）などの出版情報誌



の情報も重要です。BOOKSELLERSにはないのですが、PUBLISHRES WEEKLYでは、Marketplace NewsletterなどのEメールによって最新情報を入手することができます。

最後に、スカウトからの情報があります。スカウトは、著作権エージェントや出版社と契約して、著作権所有者の変化、新しい取引のニュースや、出版社や著者エージェントに関するニュース、映画化のニュースなど、現地で入手できるあらゆる情報を提供します。つまり、私たちは著作権の動きを絶えずスカウトに見てもらっているわけです。例えば、あるエージェントで企画が出てオークションになるものがあれば、スタートから最終結果までを追いかけてもらい、権利がどこへ行ったのか報告を受けます。日本を含む地域での著作権をどこが所有しているのかによって、アプローチや扱いが違ってきますから、このような情報は重要です。イングリッシュ・エージェンシーでは、過去にはアメリカとイギリスにスカウトを置いていましたが、現在ではイギリスのみとなっています。理由としては、やはりウェブやEメールの普及によって迅速で有効な情報収集ができるようになってきたことや、著作権エージェントのスカウトが扱わなければならない情報の範囲が広すぎて負担が大ききことなどが挙げられます。出版社のスカウトならば、その出版社が関心を持っているジャンルだけに絞って情報収集ができますから、著作権エージェントのスカウトをするより格段に楽なのです。

繰り返しになりますが、ITの発展によって、わざわざ海外に出かけなくても最新の情報を的確に入手できるように環境も変化しています。その意味では、ブックフェアへ参加する必要性も、従来に比べれば薄れてきていると言えます。とはいえ、ブックフェアは海外の出版関係者やエージェントと顔を合わせて、直接にコミュニケーションをとれる貴重な機会でもあります。

オークション

欧米では著作権はオークションで取引されるのが一般的です。作品によってはプリエンティブ(先買権)とあって、特定の出版社がオファーを出す場合もあり、その段階で条件が折り合えばオークション抜きで決まってしまう。つまり、新作の情報を得た時点で動いて著作権を獲得するわけで、注目度が高い新人の場合にこのようなことがあります。しかし、一般的には、新作に対して複数の出版社から意思表示があった場合や、特定の出版社からのオファーが公表されて、他社が金額を上乗せしてくる場合などに、オークションが実施されます。ただし、オークションといっても美術品や骨董品とは異なり、一堂に会して競りをするのではなく、電話やEメールで入札を行うという形態がとられます。現地スカウトにオークションの状況を報告してもらうこともあります。例えば著者エージェントが権利を持っている場合、そのエージェントが日本の出版社のどこかと独占契約を結んでいるかどうかで、私たちが著作権を扱えるかが決まるので、その情報は重要となるのです。

それ以外に、プロポーザルとあって、まだ原稿が完成していない段階で売りに出されるものもあります。最近ではEメールでプロポーザルが送られてくることも多く、日本にいながらにして、情報を得て動くことができるようになりました。インターネットの普及によって情報がグローバル化し、伝達速度も格段に上がっていますので、早く動かなければ著作権がとれないという傾向も強まっています。

最近の出版傾向と、本の選択基準

フランクフルトのブックフェアを見てきましたが、これといった目玉となる書籍が出ておらず、同時に絶対的な強みを持ったジャンルもないというのが現状のようです。フィクションとノンフィクションを比べると、ターゲットとなる市場セグメントを明確にするのが簡単な分、ノンフィクションの出版の方が比較的活況を呈しています。

ノンフィクションでは最近の世相を反映してか、金融・経済危機、環境問題、テロや戦争、米国の大統領選挙などを扱った書籍が増えています。金融・経済危機の分野では、1929年の大恐慌と比較分析したもの、リーマン・ブラザーズの破綻やAIGグループへの公的資金注入などの舞台裏を扱ったものが目立ちます（「Too Big to Fail」など）。また「Greatest Trade」などのように住宅産業の過熱化でバブルの崩壊を予測し反対の動きをして巨万の富を得た人物の本の企画などもあります。同時に、これまでの市場原理主義・資本主義一辺倒だった経済が本当に正しいのかといった批判分析ものも顕著で、これはドイツで「資本論」がベストセラーとなっている状況を反映していると言えるでしょう。環境問題・エコロジーは、従来は企業活動に批判的だったテーマですが、「Climate Wars」など地球温暖化といった環境問題を正面から扱ったものの他に、リサイクルなどをビジネスと結びつけ、環境問題を有望なビジネスチャンスと提言するなど、企業と環境の双方にプラスとなる傾向の本が出てきています。米大統領選挙の関連本では、マケインよりもオバマを扱った本が圧倒的に多いようですね。どちらにせよ、このようなジャンルの著作権取引を考える場合には、「日本とどのように関係してくるか」という視点が非常に重要になると思います。それ以外のノンフィクション分野では、日本でも人気が高いポピュラーサイエンスや数学の分野で、特にニューロサイエンスを扱ったものが多く出ています。従来からの傾向ですが、アップ・リフティングという心温まる内容の話も根強い人気があり、動物（特に犬）との触れ合いを描いたものや、スピリチュアル系に近い自己啓発本などが見られます。

フィクションの分野に目を向けると、有望な新人がないという問題があると思います。ヤング・アダルト向けのファンタジー、女性向けのロマンスティック・サスペンスなどは堅調ですが、市場セグメントは限られています。またMen's Fictionと呼ばれる男性向けのサスペンスもの（トム・クランシーやフレデリック・フォーサイスに代表さ

れる軍事謀略小説など）は広い市場セグメントを持っていましたが、東西冷戦の終結によって対共産圏という明確なテーマで描けなくなったため、小粒化しているのが現状と思います。逆に、日本のマンガは海外でも非常に人気があり、フランクフルトでも講談社、集英社などが出展しているのが印象的でした。

著作権エージェントとしては、本になる前の限られた情報から、その本の日本市場での重要性を判断しなければなりません。同時に、様々な情報収集を通じて欧米での市場傾向を把握し、日本の出版社や編集者が求めているもの、日本の社会状況の中で世間がどのような傾向の本を求めているかといった点を合わせて、総合的に判断する必要もあります。また、集まった情報を分析・取捨選択した上で、出版社に対して提案・紹介することも行っています。

翻訳者が素材発掘する上でのアドバイス

既に何冊も翻訳書を出しているような著名な翻訳者の場合は、有望な原書を見つけてシノプシスを出版社に持ち込むというケースがあります。もちろん、無名の翻訳者でも、自分が読んで非常に気に入って、情熱を持って出版に取り組むという姿勢は大事でしょう。

ただ、企画を持ち込むのであれば、自分の思い込みや情熱だけでは足りません。どのような本が売れているのか勉強し、日本の市場の傾向をつかんで、現在の時流に合っている分野やこれから売れ筋になりそうな分野を選ぶ必要があると思います。また、自分の関心が高いジャンルの翻訳書のマーケット状況を分析することも重要でしょう。同じテーマの類書が既に出ているかどうかという点も、大きく影響してきます。

これはと思う本を見つけたら、まずは著作権エージェントに版權の状況を問い合わせることをお勧めします。

翻訳書・戦後の主なベストセラーリスト

年	書名	著者	出版社
1946	嘔吐	J.P. サルトル	青磁社
1947	キューリー夫人伝	E. キューリー	白水社
1948	罪と罰	F.M. ドストエフスキイ	河出書房
1949	風と共に去りぬ	M. ミッチェル	三笠書房
1950	チャタレー夫人の恋人	D.H. ローレンス	小山書店
1951	ニッポン日記	M. ゲイン	筑摩書房
1953	第二の性	S. ボーヴォワール	新潮社
1954	愛は死をこえて	J. ローゼンバーグ	光文社
1956	あなたは煙草がやめられる	H. グリン	早川書房
	夜と霧	V. フランクル	みすず書房
1963	永遠のエルザ	J. アダムソン	文藝春秋新社
1964	アンネの日記	A. フランク	文藝春秋新社
1966	天皇ヒロヒト	L. モズレー	毎日新聞社
1971	ラブ・ストーリィ	E. シーガル	角川書店
1974	かもめのジョナサン	リチャード・バック	新潮社
1975	眼がどんどんよくなる	H. ペパード	青春出版社
1977	ルーツ (上・下)	A. ヘイリー	社会思想社
1978	不確実性の時代	J.K. ガルブレイス	TBS ブリタニカ
1979	ジャパン アズ ナンバーワン	E.F. ヴォーゲル	TBS ブリタニカ
	ギネスブック	N. マクワーター	講談社
1983	老化は食べ物の原因だった	B. フランク	青春出版社
	メガトレンド	J. ネイスビッツ	三笠書房
1984	第四の核 (上・下)	F. フォーサイス	角川書店
1985	アイアコッカ	リー・アイアコッカ	ダイヤモンド社
1987	ビジネスマンの父より息子への 30 通の手紙	キングスレイ・ウォード	新潮社
1988	ゲームの達人 (上・下)	シドニィ・シェルダン	アカデミー出版
1989	時間の砂 (上・下)	シドニィ・シェルダン	アカデミー出版
1990	真夜中は別の顔 (上・下)	シドニィ・シェルダン	アカデミー出版
	明日があるなら (上・下)	シドニィ・シェルダン	アカデミー出版

年	書名	著者	出版社
1991	血族 (上・下)	シドニィ・シェルダン	アカデミー出版
	時間の砂 (上・下)	シドニィ・シェルダン	アカデミー出版
	ホーキングの最新宇宙論	S.W.ホーキング	日本放送出版協会
1992	明け方の夢 (上・下)	シドニィ・シェルダン	アカデミー出版
1993	マディソン郡の橋	ロバート・ジェームズ・ウォラー	文藝春秋
	私は別人 (上・下)	シドニィ・シェルダン	アカデミー出版
1994	FBI心理分析官	R.K.レスラー & T.シャットマン	早川書房
	天使の自立 (上・下)	シドニィ・シェルダン	アカデミー出版
1995	ソフィーの世界	ヨースタイン・ゴルデル	日本放送出版協会
	フォレスト・ガンブ	ウィンストン・グルーム	講談社
1996	神々の指紋 (上・下)	グラハム・ハンコック	翔泳社
1997	7つの習慣	スティーブン・R.コヴィー	キング・ベアー出版
1998	小さいことにくよくよするな!	リチャード・カールソン	サンマーク出版
	他人をほめる人、けなす人	フランチェスコ・アルベローニ	草思社
1999	小さいことにくよくよするな!	リチャード・カールソン	サンマーク出版・発行
			サンマーク・発売
2000	話を聞かない男、地図が読めない女	アラン・ピーズほか	主婦の友社 発行
			角川書店 発売
	ハリー・ポッターと賢者の石	J.K.ローリング	静山社
	ハリー・ポッターと秘密の部屋	J.K.ローリング	静山社
2001	チーズはどこへ消えた?	スペンサー・ジョンソン	扶桑社
2002	ハリー・ポッターと賢者の石	J.K.ローリング	静山社
	ハリー・ポッターと秘密の部屋	J.K.ローリング	静山社
	ハリー・ポッターとアズカバンの囚人	J.K.ローリング	静山社
	ハリー・ポッターと炎のゴブレット (上・下)	J.K.ローリング	静山社
2003	嘘つき男と泣き虫女	アラン・ピーズほか	主婦の友社
2004	ハリー・ポッターと不死鳥の騎士団 (上・下)	J.K.ローリング	静山社
	グッドラック	A.ロビラ	ポプラ社
フェルナンド・トリアス・デ・ベス			
2005	ダ・ヴィンチ・コード (上・下)	ダン・ブラウン	角川書店
2006	ハリー・ポッターと謎のプリンス (上・下)	J.K.ローリング	静山社
2007	ロアルド・ダールコレクション (全集)	R.ダール / 柳瀬尚紀 訳	評論社

* 『2008 出版指標 年報』(出版科学研究所)のデータを基に作成

CO-PUB という翻訳出版革命

誰もが出版できる時代！

BABEL PRESS Co-pub 編集部

いま出版業界が大きく様変わりしようとしています

特に翻訳出版では出版社主導で、ベストセラー優先の海外の出版物のそれのごく一部のものしか発行されていませんでした。海外の出版事情を誰よりも早く入手できる立場の翻訳者や海外で活躍するビジネスパーソンが、すばらしい書籍と遭遇し、自らが翻訳し出版するとう「出版したい人」主導の出版システムが登場しました。これにより出版業界は大きく変わります。ゲーテンベルグの印刷機の発明以来、大量生産、大量販売を続けてきた出版業界を根本から変わります。個々の欲求に沿った出版。そのきっかけとなるのが、バベルプレスが提案する Co-PUB 出版サービスであると私たちは考えます。

『源氏物語』刊行一千年：出版は出版社だけの業務か？

昨年は『源氏物語』が刊行されて一千年ということで主に出版社主催でいろいろな『源氏物語』をテーマとした催し物が行われました。



もちろん、平安の昔に出版社があったわけではありません。

どうやって『源氏物語』が広まったかと言えば、著者である紫式部が書き留めた『源氏物語』をまず、中宮彰子を読み、それを次に高位の女官が読み、次第にその下に回され、読み継がれるとともに、物語そのものが筆写され、それをたとえば中宮定子が読み、それを清少納言が読むというように、読み継がれる中で評価が高まり、一千年後の現代にまで引き継がれ名作として誉れをほしいままにしています。

つまり著作という文化は必ずしも出版社の介在は不可欠ではなく、出版を収益事業として考える

に当たって、大量生産大量販売の必要上、印刷技術の発達とともに出版社が登場したといえるでしょう。

そしてインターネットの出現により出版業界が大きく様変わりしようとしています。出版社不在という意味では、平安の昔に本卦帰りしたといえるかもしれません。

インターネットと出版事業

インターネットはまさに出版の概念を変え、出版事業の根幹を揺るがせています。

①プロ、素人に関係なくインターネットを通して広く地球の裏側に向けても自分の意見、自作のフィクション、自分の研究成果などを発表できるようになったとともに、既存の出版以上に速い評価、広い世界からの評価を受けることができるようになりました。

つまり、出版の本来の目的である情報の伝達が、出版社などの専門組織を通すことなく個人でもできるようになったのです。

②単に一人の人が、またはひとつのグループが自分たちの意見を発表するだけで、終結するのではなく、それを読んだ他の人が自らの意見やそれに



関する著者が調べきれなかった情報を付加し、それらを併せ読むことも何ら苦勞すること無くできるようになりました。

つまり紙の書籍のように著者による一方通行の情報伝達から双方向情報交換が大きな設備や高度な技術などを必要としないで出来るようになりました。

③その上、文字だけでなく画像も音声も同様に大きな設備や高度な技術などを必要としないでも出来るようになりました。

これらのインターネットによる革新は諸方面の革新をも促進させることとなりました。

そのひとつが Co-PUB 出版サービスといえましょう。

Co-PUB 出版サービスの目的

バベルグループのこれまでの事業の歩みを簡単にご紹介しましょう。

①バベルグループは、翻訳教育事業からスタートしました。

1971年に翻訳の通信教育を開始し、今まで25万人以上の受講者を世に輩出してきました。

そしてこれまでの成果を世界的な品質と規模に高め開校した究極の翻訳教育機関が、現在のアメリカに本部を置く、バベル翻訳大学院 (USA) (正式名称: BABEL University Professional School of Translation) です。

②翻訳教育事業に必要な教材、情報を提供する出版事業をバベルプレスが行いました。

1976年に唯一の翻訳専門月刊誌『翻訳の世界』を発刊しました。

また、翻訳者の登竜門として「翻訳奨励賞」を

新設し多くの翻訳者をプロの世界へ送り出しました。

③次に、私たちが提供する翻訳教育を優秀な成績で修了し、プロ翻訳者としての素養を有する翻訳者が誕生しました。

その方々に翻訳の仕事を提供するためにバベルトランスメディアセンターが事業を開始し、翻訳を受注し修了生の皆さんに仕事を提供するようになりました。

④次に、企業での翻訳に関わる業務が急速に増えました。

また、英語をはじめとするバイリンガル、トライリンガルの技能を要する人達の派遣を要望するクライアントが増えてきたことに応じてそれらの能力を有する修了生を派遣するバベルスタッフ株式会社を立ち上げました。

このような経緯の中で次に検討する必要が出てきたのが、優秀な力を持ちながら、なかなかプロ出版翻訳者になれないという環境の打破。また「下請け的環境」を押し付けられるビジネス翻訳者の自立、そのためのPR活動の必要性に対する対応でした。

(1) 出版翻訳者にとって Co-PU 出版サービスの効用

新人の翻訳者が出版社に自分を売り込もうとするとき、相手の出版社の編集者が、お断りの公式とも言える質問をします。

「ところであなたには翻訳出版の実績がありますか？」

彼らは実績がないからこそ新人で、これからその実績を作ろうと努力し

ているのですが、それがなかなかうまくいかず、途中で挫折する人もいます。

これらの方々の支援は発想を大きく転換し、「と



アメリカのジュブナイル人気作家ジュディ・ブルームの作品を訳した中山さん、その後彼女のオフィシャルサイトも翻訳。本国の彼女のサイトに中山さんのことを Judy's Japanese translator と紹介

にかく実績を作ってしまう！」という考え方から Co-PUB 出版サービスがスタートしました。

力ある新人翻訳者が、自分が今後専門としたいジャンルの、自分が訳してみたい作品・作家の作品を翻訳し、それを出版し、全国書店で販売するのです。

これがあれば、出版社の編集者に「あなたには翻訳出版の実績がありますか？」というお断り専用の台詞を吐かせることを止めることができますし、その翻訳者の翻訳力の評価はその作品を読んでもらうことで可能です。

また、できあがった作品を自分の翻訳者としての営業ツールに使い、各出版社に送ることも出来、現物があるのですからその効果も大変大きくそこから受注を受けている人がたくさん出てきました。

もちろん、出版社であるバベルプレスが出版するのですから、「翻訳の品質」は十分にチェックされ、高品質が保たれます。Co-PUB 出版サービスの真の目的は、新人翻訳者をプロ翻訳者としてデビューさせることにあります。

(2) ビジネス翻訳者にとって Co-PUB 出版サービスの効用

また、ビジネス翻訳者はどんなに仕事が多くても結局は「黒子」としての扱いを受け、出版翻訳者のように翻訳者としての名声を築くことが難しく、すべてクライアントの企業に依存し「下請け」の状態に甘んじることが多くなり、ビジネス翻訳者の多くは、忙しければ忙しいほど、なにか「自分の人生は、ただ金儲けの仕事だけの人生」とむなしさを感じ、方向感覚を無くし、流れ作業のように仕事をこなしている不安を感じさせるものにもなります。これらの状況を打破し、その実績を出版という形で示すことによりビジネス翻訳を「自立した仕事」とするこ



共訳者の一人西川さん科学系の企業に就職。その後医薬などのビジネス翻訳者として活躍

とをバベルは提案してきました。その代表がビジネス翻訳者の Co-PUB 出版による実績づくりです。

ビジネス翻訳者が自らの専門分野をリードする内容の書籍の翻訳出版をすることにより、彼は「下請け」の立場から脱皮し、専門分野における異言語間コミュニケーションのコンサルタントとしての地位を確保することとなり、クライアントに対する信頼感を高め、同業者との大きな差別化を図ることができるようになります。

3. 高品質の翻訳を生む「共訳ワークショップ」について

1冊の翻訳書を単独で出版するとなるとそれなりに大きな投資が必要となります。ところがそれを5人の共訳で出版するとなれば、簡単に言えば投資金額も翻訳量も1/5ですむというのが共訳システムです。このシステムにより、まず『翻訳者の実績づくり』が容易になりました。

共訳ワークショップについて

このシステムは、長年かつ体系的に翻訳教育を実践してきたバベルグループだからこそ構築できたといつてよいでしょう。

出版コーディネーターの元に翻訳者が通常5、6名参加します。これまでも急ぎのノンフィクションの出版に関してはグループ翻訳が存在しましたが、それは時間的制約ゆえに必要とされてきました。いわんやフィクションにおいてはグループ翻訳などとんでもないというのが業界の常識でした。

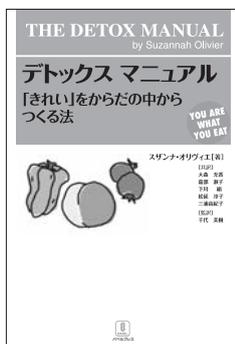
ところが、この共訳ワークショップから誕生したフィクションの作品は、単独訳より優れていることが証明されました。

また、この共訳ワークショップは、インターネットを駆使することにより、可能となりました。実際に世界各地にいる翻訳者がこの「共訳ワーク

ショップ」に参加し、作品を仕上げています。

(1) 共訳ワークショップのよさ

まず出版コーディネーターの存在です。通常では編集者がその任に当たりますが、編集能力とともに翻訳力を持つ人をこのコーディネーターにあてます。彼は当然、作品のターゲットとする読者層にふさわしい日本語のあり方に習熟し、かつ翻訳力が優れている人が担当し、翻訳に当たってのさまざまな決め事を明らかにし、翻訳者にそれを常に意識させます。文体はもちろん、たとえば細かな心理描写にいたるまで、全体の流れの中でおさえますから均整の取れた読みやすい日本語が誕生します。



また、単純なグループ訳と違い参加する翻訳者間で徹底的に議論をしますし、翻訳以外に思わぬ特技を持った人が参加しますので、専門性の高い調査などが一人の翻訳者ではできない高度なものとなります。

たとえば、共訳ワークショップで誕生した『デトックスマニュアル』では原作が英国で、紹介されるメニューが日本的でなかったのですが、翻訳者のグループの中に料理研究家がいる彼女を中心にこの本の意図するテーマでかつ日本でも容易に材料をそろえることができるメニューを作り、その料理を本のグラビアで紹介しました。

また翻訳にあって時間をとるのは「調べもの」です。インターネットの登場により「調べもの」は飛躍的に改善されましたが、何せ一人では多くの限界がありましたが、共訳ワークショップでは複数の翻訳者が参加することにより、この調査が内容がさらに充実したものとなり、翻訳の高品質に大きく貢献したのです。

(2) 一人ひとりの翻訳者の質の向上に貢献

翻訳の仕事は一人で行うまさに「孤独な作業」でありました。したがって自らを厳しく律しなけ

れば、疲労とともに翻訳品質は低下する危険がありました。

ところがこの共訳ワークショップでは参加する翻訳者のレベル以上の翻訳作品を完成させるとともに、それらの環境が翻訳者自身にも大きな影響を与え、翻訳者自身の翻訳品質の向上に繋がることが証明されました。

簡単に言えば、複数の翻訳者がお互いに刺激しあい、力以上の翻訳力を発揮できたのです。もちろんこの成功の背景には翻訳者の選抜、翻訳方針の徹底について、翻訳者間のコミュニケーションについてなど長年かつ体系的な翻訳教育を実践してきたパベルグループのノウハウ蓄積があります。

共訳ワークショップの今後

以上のように「共訳ワークショップ」はある意味では、私たちの想像を超えた多くのメリットを出来上がった作品の翻訳品質に、また参加したこの翻訳者たちに与えました。

そしてもちろん、このような環境で作業されるのですから、翻訳の完成は、一人の翻訳者が完成させる時間よりは大幅に短縮されます。

そこでこの『共訳ワークショップ』を各出版社などに紹介し、そのよさを十分に理解してもらったうえで翻訳の受注へと進みたいと考えています。

高度の品質の維持と時間の短縮、これからの時代、さらに世界同時発売が求められる翻訳出版業界においてこれらの課題の解決を可能にするノウハウとして活用いただこうと準備しております。

まさにこれはパベルグループが使命と考えている『翻訳者の自立・インデペンデンス』に大きく貢献することになります

“翻訳出版の成功事例に見る”

Co-PUB 活用法

わたしはこうして翻訳者デビューをした！



翻訳書を出版したいが、その仕組みが分からない。翻訳出版を決意したけれども、なかなか計画が進まない。どうしたら翻訳家になれるのか。そんな悩みを持たれたことはありませんか？語学力、あるいは翻訳のスキルは、例えばスポーツ競技のように数値化して把握することは難しいものです。また、未知の新人を育てるチャンスを与えるほど、世の中甘くはありません。その意味で、“翻訳家デビュー”を目指して出版社等にアピールする場合、やはり“翻訳実績”がものをいいます。これまで習得してきたスキルを結集して翻訳書という具体的な形にすることは何よりの客観的価値となります。

でも、実績がないと出版社から仕事はまわってきません。翻訳出版をしないと実績にはなりません。この悪循環を断ち切る、全く新しいシステムが注目を集めています。バベルプレスが提供する<Co-PUBシステム>。翻訳書を世に出したい方、そしてその実績のもと、プロ翻訳者として

自立したいと心に決めた方。そういった方々をサポートする<Co-PUBシステム>とは何か。そして、そのシステムを活用して翻訳書を出版した方々の成功事例を今回探ってみます。

<Co-PUB>の魅力を探る。

株式会社バベルは、創業と時を同じくして出版ビジネスをスタートさせました。ですから、出版社としてのライセンス、ノウハウ、そして具体的なシステムを持っています。これらを提供し、皆さんからは持っている翻訳力を提供していただき、共同で出版活動を行う。これがCo-PUBシステムです。

自費出版という方法がありますし、それをサポートする出版社もたくさんあります。しかし、Co-PUBは自費出版とは全く違い、必ずバベルプレス社より出版されます。しかも、現在の出版業界ではなかなか叶えられない、出したい本が

出版できます。好きな作家の作品を世に出すこともできますし、大量販売は無理でも関心を同じくする人には貴重な作品を提供することもできます。さらに、内容にも自分の意向を反映させることができます。既に発刊された『リーヴィング・エデン』や『マカロニ・ボーイ』の表紙を飾る素敵なイラスト。これは共訳者の方が描いたものです。

<Co-PUB>には

- ・一人で翻訳出版したいという方のための個人翻訳システム
- ・数人で一冊の本を共訳して出版する共訳システム

の2方式があります。

特徴的なのは共訳システムで、はじめは翻訳力に自信の無かった方もワークショップ形式で共訳をすすめるうちに翻訳力はどんどん高まり、翻訳書が完成した際には、プロフェッショナルとしての能力がしっかりと身につく、“翻訳家デビュー”をはたすことができます。

一つのチームとして共訳作業(ワークショップ)を進めることは、孤独な作業と思われがちな翻訳に<楽しさ>という要素も加わるのも魅力的、と経験者は語っています。

では、<Co-PUBシステム>を活用し、“翻訳家デビュー”を果たされたケースをご紹介します。

絵本翻訳出版から会社設立へ 阿部教子さんのケース。

Co-PUBサービスの活用で出版社設立の夢を見事達成された阿部教子さんをご紹介します。個人翻訳出版で自分だけの翻訳書を持つことは、当面の大きな目標でしょう。ところが、阿部教子さんは目標を一挙に達成した上に、その書籍をなんと自分で設立した出版社から出版する…というスケールで実現されました。以下、阿部さんが設立されたベファーナから絵本3点が発売されるまでのプロセスを当時のインタビューを交えて紹介し

ます。

—いよいよ出版の日が近づきました。

なんだかわくわくどきどきしています。「売れるはずだ」という自信がある反面、「もしそっぽをむかれてしまったらどうしよう」という不安も正直、あります。でも、ここまできた以上、今さら引き返せるわけでもなし、とにかく人事を尽くして天命を待つ、という心境ですね。

—昨年、阿部さんに初めてバベルにお越しいただいてから10ヵ月が経ちました。この300日を阿部さんと一緒に振り返ってみたいと思います。

<2005年11月10日 最初のバベル来訪>

電話でアポをとらせていただいたから、わりとすぐに伺い、1時間半ほど、しっかりお話しさせていただきました。米国系企業で10年以上マーケティングの仕事に従事してきたこと、前年に出産し、子どもたちによい絵本を…という気持ちが強くなったことなどをお話しました。

—翻訳の学習経験はないけれども、「バベルは翻訳学校としてよく知っていた」とお聞きして、うれしく思いました。Co-PUBをお知りになったのは、インターネットで検索した結果だったのですよね。ちょうど阿部さんにお越しいただいた頃から、インターネットでの広報に徐々に力を入れ始めたこともあって、インターネット経由のお問い合わせが増えてきたんです。WEBの力恐るべし、です。

それから、このアンホルトのゴッホや、他の絵本のことを説明しました。

—お話を伺ううち、阿部さんの本当のご希望が「出版社を設立して、アンホルトの3点をすべて出版したい」ことがわかって驚きました。しかも実際には3点どころか、5点のシリーズ作品の版權をすべて取ってしまったのですよね。

「5年くらいトライしてダメなら、元のマーケティングの仕事に戻ればよい／それなりの投資もリスクも覚悟している」とお聞きして、なんと肝の据

わった方かとさらに驚きました（笑）。

マーケティングの仕事は、10年以上、本当に一生懸命やってきたという自負がありました。米国の本社の信用も得て、重要なブランドのマネジメントを任せられ、結果も出していました。でも、あまりにも忙しく、「もっと自分の中に残る仕事がしたい」という気持ちが日に日に強くなっていったんですね。ですから、相談に伺った時には、退社と出版社の設立という基本方針は、もう自分の中でゆるぎないものになっていました。

< 2005年11月29日 最初のバベルからのオファー >

一翻訳書の出版ではなく、「出版社そのものの設立と業務運営の支援」というのは、われわれにとっても初めてのことで、正直、戸惑いましたが、ともかくやらせていただくという方向で、回答書を差し上げました。

「会社設立まで」と「会社設立後」の2項目に分かれ、さらに後者は、製作サポート・営業サポート・運営サポートという項目に分かれて細目が記されていました。はっきりいって、期待していた以上の回答でした。1週間後には、湯浅社長にもお目にかかり、「同じ女性として、ぜひ起業をサポートしたい」ということばに感動しました。出版社の訪問は結局、バベルさん一社だけで、それですべて決めてしまいましたけれど、今のところ後悔はしていません。

—ありがとうございます。われわれも、今のところベファナーさんのサポート業務を経験できて、本当によかったと思っています。もちろん、一点目が書店に並ぶ、これからが本番なわけですが。オファーの方は、それから具体案へと進み、いよいよ業務の第一歩として、著作権取得へ駒を進めました。

< 2006年2月2日 著作権の競合が判明 >

一年が明け、その後も話はとんとん拍子に進み、このまま何も問題はなさそうだと思っていた矢先、著作権の競合、しかも他社が先に声をかけていたことがわかり、一気に肝を冷やしました。

会社とも円満退社へ向けて、どんどん話は進んでいたもので、驚きました。会社は辞める、著作権はとれない…それは最悪のシナリオです。2月6日には、エージェントにご一緒させていただき、対策を練りましたね。

—交渉の過程で、徐々にこちらが優位に立っていることは実感できましたが、なかなか決まりませんでした。その間、条件面のアップを繰り返していったわけですが、その時の阿部さんの決断力は見事でした。

ここで負けたら、私はどうなるのよ、と必死でした（笑）。ちびちび吊り上げて足許を見られるくらいなら、可能な範囲で一気に決断を迫った方がいい、というのが私の考えでした。結局、最終的に取得の一報が入ったのが2月24日。条件面の交渉だけでなく、権利者への手紙を書いたり、いろいろ気をもむ毎日でしたが、さすがにこのときはうれしかったですね。

< 2006年3月3日 短期コンサルティング・スタート >

—著作権ができた喜びもつかの間、もうその時には、阿部さんも会社を退職され、いよいよ新たな目標に向けてさらに前進する準備を着々と進められていました。株式会社ベファナーの設立日はいつだったでしょう？

3月3日です。会社設立の日に、かねて予定していた3ヶ月間の出版社としての業務のひとつおりを学ぶ、研修プログラムをスタートさせていただきました。

—3ヶ月間は、こちらも緊張しました。合計9回、果たしてどれくらい役に立つ内容を盛り込めるのだろうか…こちらもいろいろと無知なことは多いわけで。しかし、無情にも1週間というのは実にあっけなく過ぎていくものなのですね（笑）。

ともかく、こちらも必死でした。

数字のシミュレーションが簡単にできるよう、Excelを設定していただいたり、内容は例の「会社設立まで」のプログラムを具体化したもので、役に立ちましたし、結構楽しめましたよ。まあ、不満がないといえば嘘になりますが（笑）、たしかに毎週水曜日、お世話になりました。今は、引き続き1年間のコンサルティング契約ということで、随時、相談に乗っていただいているのですよね。

短期コンサルティングの間には、長井芳子先生に、翻訳をみていただいたこともありました。私はこれまで正式に翻訳を勉強したことはありませんでした。ですから、長井先生の一言一言は、まるで眼からうろこが落ちるようなことばかりで、とても新鮮に、印象深く受け止めることができました。バベルの受講も決めたのですが、一度本格的に勉強することの必要性は、ひとつおりの翻訳作業を終えた今、より強く感じられるようになりました。

< 2006年3月8日 翻訳・制作スタート >

—阿部さんに感心したのは、翻訳も、本の制作も、すべて基本的におひとりでなさったことです。しかも、いずれもたいへんレベルが高いのには驚きました。

会社のロゴマークや、絵本の重要な部分のデザインでは、以前勤めていた会社の人脈で、一流のデザイン事務所の方たちがほとんど手弁当で応援してくれました。DTPは、なにごとにも経験と思い、自分で組版作業をしました。

—本当に、いい出来ですよ。

ありがとうございます。絵本は、読むのは子供でも、それを買ってくださるのは、お母さん方ははじめとする大人たちですよ。しかも、このシリーズに興味をもってくださるのは、教養豊かで子供の情操教育にも熱心な方々だと思います。そうした方々にそっぽを向かれないように、隅々まで神経をめぐらせたつもりです。

—8月の中旬以降は、積極的に書店訪問を行い、予約活動に励まれました。

飛び込み営業で新刊の予約を頂くのは、容易なことではありません。でも、このシリーズを気に入ってくださる担当者の方もたくさんいて、励まされます。

また、書店で扱ってもらうことが最重要ですが、自社のサイトでの直販の方にも力を入れていきます。

—e翻訳堂では扱わせていただけない契約ですね（笑）。バベルが販売協力する、できるのは、書店チャンネルに限定されています。もちろん、われわれに不満はありません。お互いのリソースを活用し合えばよいこと。阿部さんはこれまでのご経験を生かして、販売促進と販路の確保に励まれるのが成功のカギとなるでしょう。

< 2006年9月15日 販売スタート >

—最後に、このアンホルトのアーティスト・シリーズをアピールしてください。

作者のアンホルトは英国の著名な絵本作家で、70を超える本が既に20ヶ国語に翻訳されています。様々なスタイルの作品を発表していますが、アーティスト・シリーズは、史実に基づいて書かれた子供に分かりやすい物語と、名画の写真や美しいイラストが魅力的です。子供の頃の絵本は、その後の一生に少なくない影響を与えるものでしょう。だからこそ、こうした上質なものを私も親として子供に与えたいと思ったのです。

（『Co-PUB Journal 2005年8月号』より抜粋）

自分の翻訳したい本と出会い、翻訳し、そしてその本の出版を目指す。その過程には良い事ばかりではなく様々な困難も待ち受けていることでしょう。しかし、そんな困難にも負けない阿部さんの熱意や努力が大きな成果に結実したと言えるのではないのでしょうか。



『ゴッホとひまわりの少年』



『モネのまほうのにわ』



『レオナルドと空を飛んだ少年』



『ピカソとポニーテールの少女』



『ドガと小さなバレリーナ』

ローラ・アシュレイへの想いが一つの形となっています。



著者 アン・セバ

訳者 渡邊理恵子

定価 2,520 円 (税込)

『イヴ・グリーン』

2004年にウィットブレッド処女長編小説賞を、そして2005年にはベティトラスク賞を受賞したスーザン・フレッチャーの著作を翻訳した作品。

母親が亡くなって、8歳のエビーは田舎のウェルズでの新しい生活に放り込まれます。花は意味ありげに戸口の踏み段に置いてあるし、村の人たちは振り返って顔を見る。自分の家族の暗い秘密を知ってしまったエビー。いま、イヴ・グリーンは29歳。子どもの誕生を心待ちにしつつ、自分のついた嘘、怒り、無鉄砲だった自分。その自分が果たした役割を追っている。そんな内容のストーリーですが、文体はまるで詩のよう。話も過去と現在が行き来します。訳者である吉田菜津子さんは次のように語ってくれました。

この本は私にとって、初めての翻訳書です。十五歳の時、翻訳家になりたいと思ってから、早二十年ほど経ちました。

翻訳家にはなれていませんが、丸々一冊翻訳し、出版まですることが出来ました。

これまでの自分の英語学習の集大成が、ひとつの形として出来上がったような気がして、本当に嬉しく思います。

自分なりにですが、いくつかの点に気をつけて訳しました。まず何といても訳し間違いがないようにすることです。

話があちこちに飛ぶうえ、時間も場所もしょっちゅう入れ替わります。

同じ話題であれば、前半に出てくる部分と、後

大好きな作品を訳して翻訳家デビュー

C o - P U Bの特徴の一つは、自分の惚れ込んだ作品で翻訳家デビューができること。

そんなチャンスをつかんで自分の作品を世に出したケースをご紹介します。

『ローラ・アシュレイ』

ふとした機会に巡り会った本。そのようにして出会った本の世界観に触れ、その後、翻訳そして翻訳書の完成へといたる。そこには、翻訳者の方達の並々ならぬ熱意と愛情が込められているはず。この『ローラ・アシュレイ』にも翻訳者の方のそんな思いが込められているのではないのでしょうか。イギリスを代表するデザイナーであり、起業家、そして家庭を愛する女性…。様々な面を併せ持つローラ・アシュレイの人生を見事に描き出した作品です。

C o - P U Bシステムを活用しての翻訳出版。

半に出てくる部分の話がちゃんと繋がっているように、全体としてきちんと筋が通っているようにするのが難しかったです。二点目は、作者の原文の長さに、日本語の長さも極力合わせるようにしました。作者の書いてる時の息遣いや勢いを、できるだけそのまま運びたい、と思ったからです。

三点目は、同じ文章に対して、複数の訳が浮かんだら、どちらが作者の考えや思いに沿っているか、を考えて選択しました。

一通り訳し終わって修正の段階になると、非常におこがましいのですが、作者が自分のりうつってきて、自分が書いたものを手直ししているかのような気さえしてきました。

皆様には、スーザン・フレッチャーの世界にどっぷりと浸かっていただき、作者の緻密で綿密、かつ複雑なプロットに入り込んでいただければ幸いです。処女作とは思えないほどの構成力です。

日々のちょっとした会話の積み重ね、知らなかった過去、心の曇り、愛と憎しみ、全てが思わぬ結果へと繋がっていく伏線となっていきます。私も、自分が幼い頃に見たのと全く同じ夢を、大人になってからも体調が悪い時などに見ることがありますが、そんなことを思いながら訳しました。

(Co-PUB Journal web 版より引用)



著者 スーザン・フレッチャー
 訳者 吉田 菜津子
 定価 2,100 円 (税込み)

共同で訳して翻訳家デビュー

『あなたが幸せになれる 64 の方法』

監訳者の中道暁子さんを含めて 7 人の方がワークショップ方式で翻訳に挑みました。ワークショップは、<バベル翻訳文法>という翻訳技法

の共通ルールをもとに教育部門で従来から採用していたものですが、これを翻訳出版に応用しました。この本のワークショップがスタートしたのは 2004 年の 3 月。今回は学習ではなく、本という商品を作り出すビジネスです。良い商品 (作品) を効率よく生産していくために、5 つの約束がなされました。この約束は、以降の共訳出版ワークショップで継続的に守られています。

共訳出版ワークショップ、5 つの約束

- ①ルールを守る
- ②時間 (納期) を守る
- ③訳文に責任を持つ
- ④協力し合う
- ⑤自分で売り込む

(株) バベルの持つ Co - PUB 出版サービス・翻訳文法のノウハウと 7 人の方々の努力・熱意が融合し、本書『あなたが幸せになれる 64 の方法』は完成しました。



著者 アマンダ・ゴア
 訳者 大屋知子
 清水美和
 菅山あつみ
 武隈ツユ枝
 中村公世
 三原知代
 監訳 中道暁子
 定価 1680 円 (税込み)

『ホワイトハウスの超仕事術』

Co - PUB12 番目の作品として 2005 年 10 月に発刊されたのがこの『ホワイトハウスの超仕事術』。女性の働く場所や働き方が多様化するという時代に向けたタイムリーな作品です。第 42 代米国大統領ビル・クリントンの側近としてホワイトハウス中枢で活躍したジョージ・ステファノポロスのアシスタントを務めたヘザー・ベッケルは、本書でできる部下の仕事術をあますところなく披露しています。というわけで、共訳メンバーも外

資系企業の秘書、CPS（米国秘書資格）ホルダー、CBS（国際秘書検定）合格者などが参加し、現場でのビジネス経験をベースに翻訳作業が進められました。

この『ホワイトハウスの超仕事術』も好評を博し、売行きも伸びています。



著者 ヘザー・ベッケル
 訳者 石橋誠子
 星野紀子
 佐々木愛子
 富永慶子
 高橋真理子
 西 千絵
 監訳 中谷真理子
 定価 : 1680 円 (税込)

共通の経験が 1 冊の本を完成させました。

『マンガ 聖書の時代の人々と暮らし』

本書は、キリスト教に、あるいは聖書に関心のある方が集まって出版されました。メンバーの一人である石崎美香子さんは、「神様が与えて下さった運命の本」と、次のように述べています。

バベルで 4 つの通信講座を終了し、いつか自分の翻訳で出版できたらと、夢のまた夢と思いながらも諦めずにコンテスト等に挑戦していました。ノンフィクションか絵本でとっていましたので、今回の“People of the Bible”は両方の分野を一度に体験できる、まさに私にとっては神様が与えて下さった運命の本でした。(ちょっと大袈裟ですが)ところが体調を崩し 1 か月程入院してしまったため、一度は諦めました。退院後まだチャンスがあることを知り、セミナーにも参加してオーディションを受けられたことは幸運でした。ベストセラーになるような本ではありませんが、分かりやすい説明にきれいなイラストがついた今までにない知識の本として、広い読者層に読み継がれていく素晴らしい本だと思います。翻訳出版など大それた夢でしたが、今それが現実となり夢

みたいです(笑い)。出来上がった本をこの手で開くのが今から待ち遠しいです

(『Co-PUB Journal 2005 年 8 月号』より抜粋)



著者 シルヴィア・ガスタルディ
 /クレール・ムザッティ
 訳者 石崎美香子・
 伊藤直樹・
 上原ゆうこ
 河野志保・鈴木英化・
 横山麗子
 監訳 柴田ひさ子
 定価 2000 円+税

『チャイナCEO～多国籍企業 20 社の CEO が語る中国体験と助言』

中国駐在経験のある訳者が中心となってワークショップが進められました。中国での肩書きの表記ひとつにも現地での経験が活かされます。中国ビジネスの経験と経験の無い読者とのギャップ。二つの立場をワークショップのメンバーが役割分担して、読みやすく、かつ臨場感あふれる作品に仕上げられています。



著者 ジュアン・アントニオ・フェルナンデス / ローリー・アン・アンダーウッド
 訳者 大槻恵一
 徳永富美恵
 西田万里子
 橋本恵美子
 前田高昭
 村田勝利
 監訳 小坂貴志
 定価 2400 円+税

絵本という選択

世界には、まだまだ沢山の素晴らしい絵本が埋もれています。それを発掘して日本の子どもたちに紹介する。絵本翻訳を志す方の多くはそのような想いに満ち溢れています。そして絵本翻訳のもう一つの魅力。それは、自分の作った本を、わが子やお孫さんにプレゼントできることです。

『あかちゃんちゅ』

表紙も本文もユニークです。この絵本から赤ちゃんは、自分と同じ赤ちゃんがいることをしっかり捉えてくれるでしょう。これから生まれる弟や妹に対する愛情も広い人間愛の中で捉えてくれることが期待できる絵本ではないでしょうか？本当にこの絵本が語る愛の詩が、お子さんの心を広く豊かにしてくれると思います。

翻訳された文章を見てみて、言葉選び等様々なことに気が配られていると感じました。

2008年4月には増刷の運びとなっています。このことから、この作品のクオリティーの高さとそれに対する反響の良さを窺い知ることができます。



文 スーザン・メイヤーズ
絵 マーラ・フレイジー
訳者 ささき もとえ
定価 1600円＋税

「日本図書館協会選定図書」に選ばれた作品のケース

Co-PUB 出版サービスは、翻訳を通じて自分の本を広くアピールできることも大きな魅力の一つです。以下の書籍は、日本図書館協会選定図書に選ばれています。日本図書館協会選定図書は、日本図書館協会より任命された各専門分野の選定委

員により公共図書館に適する本として選ばれた書籍です。日本図書館協会選定図書に選ばれるということは、その書籍のクオリティーが社会的な価値を有することを意味するものであり、翻訳出版を通じて、翻訳の意義や価値を広く社会に伝える一つのきっかけにもなります。“翻訳家デビュー”のための強力な実績です。

『メンデレーエフ 元素の謎を解く』

近年、新聞やテレビで「理数系離れ」が問題になっています。このような現状を改善していくことは、技術立国である日本にとって、とても大きな課題だと考えられます。

この本には、子供たちや若者、そして科学に関心のない人たちに、少しでも科学に関心を持ってもらいたいという思いが込められています。自然界は色々な元素から成り立っています。そして、元素の[周期表]にはとても多くの意味がこめられています。

教科書から元素の[周期表]が消えていたため、習わないで育った子供たちや若者に、少しでも読みやすく、理解しやすい内容でメンデレーエフがいに苦労して[周期表]を完成させたかを読み取って欲しい。そんな思いもまた本書には込められていると思います。

本書は、2500年に及ぶ人類の進歩の過程で、重要な役割を果たしてきた科学的思考を順次ひもとき、読者を科学の世界へと誘ってくれます。そこには、錬金術あり、神学あり、哲学ありで、キリスト教の変遷も同時にわかり、哲学者の有名なことばや思想も知ることができるという、様々な要素が詰まった一冊です。



著者 ポール・ストラザーン
訳者 稲田あつ子 友枝裕子
西川真由美 本多恵子
宮本寿代 山中和代
監訳 寺西のぶ子
定価 1890円（税込み）

Co - PUB 出版を超えて

ここまで、色々な翻訳作品のケースを紹介してきました。この他のケースとして、(株)バベルのCo - PUB 出版サービスを活用して翻訳出版を実現し、その後、他の出版社等から新たな翻訳書出版を成し遂げられた方もいらっしゃいます。

前述したように、“翻訳デビュー”を成し遂げるため、あるいは翻訳を続けていくために出版社にアピールする場合、翻訳実績が大きなポイントとなります。語学力の強化や幅広い知識の習得を通じて基礎力をつけていくことはもちろん大切なことですが、“学び”で終わるのではなく、学んで得たものを一つの形にすることは貴重な経験、財産となります。

(表1)は2007年に好調な売行きを示した翻訳書をリストアップしたものです。このリストを見ると、自己啓発関連書や映画化されるような話題の本、そして古典的名著まで様々なジャンルを含んだリストとなっています。

一口に“翻訳”といっても、この記事でも紹介したようにビジネス書・自己啓発書の翻訳、絵本の翻訳、そして物語の翻訳等色々な“翻訳”があります。そして、翻訳対象となる原書のジャンルや性質により翻訳のメソッドも各々変わってくることもあるでしょう。求められる知識やセンス、翻訳スキルも多岐にわたる可能性もあります。

しかし、だからこそ“翻訳”は奥深く、そして

面白いものだとも考えられます。

これからもたくさんの魅力的な本と出会うことでしょう。翻訳というプロセスを駆使して、様々な可能性や新たな世界にアクセスしてみたいかがでしょうか？

概要

この記事をもとめながら思ったこと。それは、**<翻訳は深い>**、そして**<翻訳には無限の可能性はある>**ということです。翻訳、そして出版を通じてその作品は様々な人達のもとに届けられます。その先には、増刷、新たなオファー、起業といった実に多様な結実がこれらのケースでは見られました。

もちろん、Co - PUB 出版サービスを通じて、他にもたくさんの素晴らしい作品が世に出ていて、この紙面では詳細にお伝えできなかった様々な反響があります。(例えば、雑誌の書評に掲載される等)。

しかし、このような反響や結果の始まりは翻訳者の方達の**<書籍への愛情>**と**<翻訳への愛情>**だと感じました。そして、そんな翻訳者の方達の**<愛情>**が読者の心に届いた結果が色々な形となって現れるのではないかと感じました。翻訳出版を通じて翻訳の面白さ、翻訳の醍醐味そして自分の思いを形にする充実感を感じて頂ければと願っています。

(文責：編集部 田中)

(表1)

2007年に売れた翻訳書		
タイトル	出版社	著者
単行本		
誕生日大全	主婦の友社	S. クロフォードほか
バルタザール・グラシアン <small>の賢人の知恵</small>	ディスカヴァー 21	B. グラシアン
不都合な真実	ランダムハウス講談社	A. ゴア
一瞬で自分を変える法	三笠書房	A. ロビンズ
3週間続ければ一生が変わる	海竜社	R. シャーマ
ザ・シークレット	角川書店発行 角川グループパブリッシング発売	R. バーン
インド式 計算練習帳	青志社	J. S. チャンドラニ
禁煙セラピー	ロングセラーズ	A. カー
インド式秒算術	日本実業出版社	P. クマール
チャンスがやってくる 15の習慣	ダイヤモンド社	L. ギ布林
金持ち父さん貧乏父さん	筑摩書房	R. キヨサキほか
病気になる人は知っている	幻冬舎	K. トルドー
「頭のいい人」はシンプルに生きる	三笠書房	W. W. ダイアー
なぜ、エグゼクティブはゴルフをするのか?	ゴマブックス	P. ムーロ
生きていることを楽しんで	メディアファクトリー	T. テューダー
DVD付 モムチャンダイエット	講談社	チョン ダヨン
365日のベッドタイム・ストーリー	飛鳥新社	C. アリソン
幸せのちから	アスペクト	C. ガードナー
ロング・グッドバイ	早川書房	R. チャンドラ
グレート・ギャツビー	中央公論新社	S. フィッツジェラルド
一般文庫		
ハンニバル・ライジング(上・下)	新潮文庫	T. ハリス
星の王子さま	新潮文庫	S. テグジュベリ
インド式かんたん計算法	知的生きかた文庫	N. デシュパンデ
捜査官ガラーノ	講談社文庫	P. コーンウェル
カラマーゾフの兄弟(1)	光文社古典新訳文庫	ドストエフスキー
デセプション・ポイント(上・下)	角川文庫	D. ブラウン
天使と悪魔(上・中・下)	角川文庫	D. ブラウン
星の王子さま	集英社文庫	S. テグジュベリ
ダ・ヴィンチ・コード(上・中・下)	角川文庫	D. ブラウン
香水 ある人殺しの物語	文春文庫	P. ジュースキント
読むだけで運がよくなる 77の方法	王様文庫	R. カールソン
ゆるすということ	サンマーク文庫	G. ジャンポルスキー
ゴッホは欺く(上・下)	新潮文庫	J. アーチャー
黄金の羅針盤(上・下)	新潮文庫	P. プルマン
傷痕(上・下)	ヴィレッジブックス	C. マクファディン

* 『出版月報 2008年6月号』(出版科学研究所)を基に作成

2 日英出版翻訳を経験して



●プロフィール

黒川洋子 83年より米国在住。ハワイ大学院博士課程卒業後、翻訳家として独立。夫ウェンデルとコンビを組み、主に学術、ビジネス、芸術の分野で英訳を行なう。

ウェンデル・石井 英文エディター。シカゴ大学大学院経営学部でMBAを取得。民間企業に勤務後、現在学術論文やビジネス書の編集を主に手掛けている。



黒川洋子

今年の夏、縁あって『なぜ御用聞きビジネスが伸びているのか』（藤沢久美著）を英訳する機会をいただきました。本書は、日本のビジネス経営者及びビジネスに興味のある一般人を読者層とした経営指南書であり、我が国の伝統的な「御用聞き商法」が「人間のふれあい」を失った現代のビジネスに、如何に有益に活かされ得るかを、多くの事例を織り交ぜながら解りやすい文体で語っています。

本書の翻訳は、英語を母国語とするエディターの夫、ウェンデル・イシイと日本語を母国語とする私との共同作業で行いました。日本人読者の為に書かれた原著を、日本の文化を知らない読者層向けに英訳するにあたり、私達が留意した点は主に二つあります。まず第一に、原文の「平易で流れるような語り口」をこわさないこと。第二に、日本の風物についての記述は可能な限り忠実に訳すこと。この二点を念頭に起きながら訳を進めて行きましたが、実はこの両者は翻訳では共存しにくいものです。原著に頻繁に現れる日本の地名や食べ物の名前、日本社会の事情などは、説明なしでは英語の読者にはわかりませんが、逆に説明しすぎると、原文の持ち味が損なわれてしまいます。かといって説明を省く為に日本的な例を英語読者層の知っていそうな例に悉くすり替えてしまうと、「日本人が書いたビジネス書」としての面白みが無くなってしまいます。

なるべく原文の表現から離れず、また、さらりとした著者の語り口も残す為、私達はいきなり英語らしい翻訳をする事を避け、まず原文の単語を

総て入れた直訳調のバージョンを作って、そこから徐々に変えて行くという方法をとりました。この直訳バージョンによりウェンデルが原文の調子と意図を正確に汲みとり、そこから、英語ネイティブの目で見えた「読みやすい英語」と「日本語的表現」との接点を見つけていけるようにする為です。論文などのように、書き方に一定のルールがある文の翻訳では、訳の仕方が何通りもあるわけではないので、このような中間ステップは必要ないと思いますが、本著の翻訳では、この「直訳の母体」がある事で、いつでもここを出発点としてより良いバージョンを考えていく事ができ、便利でした。

翻訳のプロセスの中で非常に大きな比重を占めたのは、著者とのコミュニケーションです。今回の翻訳では数章ごとに試訳を著者に送り、著者の意向を確認しました。また、この段階で原文に関する質問事項も合わせて送り、その回答を元に数度の校正を行ないました。著者からも英訳の表現についての質問や提案が毎回沢山送られてきました。こうした各段階での相互間のオープンな話し合いが、原文や訳文の解釈における「誤解」を防ぎ、よりクリアな翻訳にしていく為の重要な鍵となった事は言うまでもありません。翻訳の成否は、言語の技術だけでなく、翻訳者がどれだけ著者の意図を理解しているかによって大きく左右されます。この点を重んじ、多忙な著者と私達の頻繁な交流を計るべく、スケジュールを調整してくださったバベル・コーポレーションの大熊ジョンソン氏に、この場を借りて御礼を申し上げます。

The copyediting of a translated work offers the same pleasures and rewards to be found in the review of writing in one's own language. There is the same wonder at the discovery of new perspectives, together with the opportunity for creation in collaboration with the author. Ultimately, there is also the great joy of sharing the translated work with a new audience, and experiencing their reactions at the encounter.

The usual editorial responsibilities are also mirrored: syntax, usage, and grammar, of course, and, additionally accuracy, in the translation of meaning and intent. Because the original had already been published as a book in Japan, we felt a heightened responsibility in maintaining fidelity in the translated version—beyond the meaning of the original—to the author's use of imagery and choices in tone and level of formality throughout the text. Her target audience was broader and potentially more diverse in their backgrounds and expectations than the specialist readerships we had been accustomed to: effective translation of this book would depend as much or more on our faithfulness to the author's rhetorical design as on our choice of the correct words. Humor should be conveyed in English as well as Japanese; surprise, shock, or disappointment must be grasped on an emotional as well as an intellectual level; and where the author seems to confide some hard-won knowledge to the reader, one-to-one, or where she issues a broad challenge to all of industry, the translation should also successfully convey that sense of scale.

To the author, the persona maintained through many articles and books is one of her most important and enduring resources. In translation, the overall editorial goal is to stay true to that identity and allow the author to

present both her story and herself consistently and transparently, not only in the book at hand, but also in anticipation of a body of work that may arrive over time. In establishing style, figures of speech or idioms often play a large role in setting the tone; the editor must be aware of where parallelisms exist in the target language and where substitution or deviation is required.

For this, and for much else in the editing process, a clear and consistent line of communication is a great asset. The author's business often took her away from home and office, across oceans and continents. Still, the immediacy and ease of electronic communication—together with the occasional phone call—made passing questions and answers back and forth painless, and established an atmosphere of confidence. Neither side felt reluctant to ask for clarification of a phrase or for confirmation of an interpretation; over time, the patterns of thought described in those answers illuminated the broader sensibilities at work on each side. With that sense of trust in place, the process of translating and editing this book grew into a creative process. As in the best collaborative efforts, each person added their own special touches and expertise, always aimed at the truest possible portrayal of the author's intentions.

The results, of course, remain hers, and no one can hope for anything better than for the translated work to have that kind of transparency. The new book is another of her children; the translator and editor are not foster parents, but friends of the family living abroad; and, when successful, the reader will recognize that child by its looks and manners as being of that parentage, despite the inevitable distance of its remove.

あなたの本を英語で出版しませんか？

自分史・手記・社史

あなた自身の人生や家族・祖先の歴史、あなたの事業功績や会社の歴史を英語に翻訳して次の世代に残しませんか。

ぜひ海外に紹介したい本

お気に入りの日本語の本を英語圏の読者に紹介します。自分の翻訳、プロの翻訳、共訳と方法はいろいろ。AMAZON.COMなどを通しての流通も可能。あなたの愛読書を世界に送り出すチャンスです。

あなたの日本語著書

専門書、フィクション・ノンフィクションなどすでに日本語で出版されているあなたの著書を英語に翻訳し出版、アメリカのマーケットに流通させることもできます。

バベル翻訳出版の特徴

1. 30年を超える実績があります。

1974年の創業よりバベルの翻訳事業は、数多くの優秀な翻訳家を育て、言語の壁を超えて社会やビジネスのお役に立てること、世界中の貴重な情報や本を発掘し、良質な翻訳で出版し、日本をはじめ他の国々に広めることを理念としてきました。

2. 高品質の翻訳、出版をお約束します。

斬新な感性の持ち主から熟練の技が光るベテランまで、バベル・トランスメディア・センターに登録されている才能豊かな人材の中から、各専門分野に応じてその作品内容に最も適した翻訳家と編集者を選び、こだわりの英訳本を作ります。翻訳事業を推進して30年以上、米国の翻訳大学院も経営するバベルだからこそ提供できる、高品質の翻訳をお約束します。

3. 作品内容に応じた翻訳家・編集者を選びます。

原文執筆、翻訳の趣向から本のデザインからまで、ベテラン編集者をご相談に応じます。

4. 翻訳から出版・流通まで簡単に申し込めます。

バベルの作業はご希望に応じて翻訳から編集、印刷、出版、流通までワンストップ。工程ごとにくつもの業者に頼む手間がかかりません。

5. 少ページ小部数でもお気軽にご相談ください。

原文文字数に応じたリーズナブルな価格設定。翻訳原稿はデータで納品します。製本・印刷をご希望の場合も1冊からお届けできます。

6. お問い合わせは米国バベルコーポレーションへ（日本語・英語どちらでも承ります）

BABEL CORPORATION (USA)

電話 国際アクセス番号 (+1)(808)946-3773

ファクス 国際アクセス番号 (+1)(808)946-3993

E-メール info@babeltmc.com ウェブサイト <http://www.babeltmc.com>

翻訳で起業し、成功するノウハウ

STEP 3

プロフェッショナル トランスレーターの 資格をとろう！

www.jta-net.or.jp/



グローバルビジネスの
コミュニケーションをサポート

社団法人 日本翻訳協会



[TOP](#) [会長挨拶](#) [協会案内](#) [派遣元責任者講習](#) [JTA公認翻訳専門職資格試験](#) [試験対策](#) [Q&A](#) [JTAメンバーズ](#) [翻訳修士奨学金制度](#)

インターネットによる 「JTA公認 翻訳専門職資格試験」

[受験案内申込](#)

21世紀に対応するプロフェッショナル・トランスレータを認定する 「JTA公認 翻訳専門職資格試験」

社団法人日本翻訳協会(JTA: Japan Translation Association)では、これまで翻訳のプロとしての能力を認定する「翻訳技能認定試験(通称:翻訳検定)」を実施してきたが、協会創立22周年を迎えた今年、21世紀のビジネス・コミュニケーションにあわしい翻訳技能の確立と向上を目指して「翻訳技能認定試験」を全面的に改訂した。

改訂の大きなポイントは、従来東京、大阪で行っていた会場試験を廃止し、全国、全世界のどこからでも受験できるインターネット方式試験を採用したことである。

このように試験を全面的に改訂することを決断した理由は、今後のビジネスコミュニケーション、とくに翻訳ビジネスにおいては、インターネットを使いこなすこと、すなわちIT能力が重要な要素となってくることを重視したからである。

今では世界のビジネス市場は、多言語マーケットとなっており、グローバル化の深化によって、ITツールを使えば、世界のどこにいても翻訳サービスが提供できるようになっています。

そこで、日本翻訳協会はこのような時代の変化に対応して、世界に通用する、新たなプロフェッショナル・トランスレータの実像を構築し、世に広めるとともに、その専門能力の資格認定をすることが必要であると考えました。

〈JTA公認 翻訳専門職〉は、現代の〈プロフェッショナル・トランスレータ〉です。

21世紀のビジネス・コミュニケーションの中核に位置するトランスレータが保有すべき能力を

Q & A

- ・どの科目を受験すれば良いですか？
- ・同時に実施される Language & Cultural Competence Test というのは？
- ・良い参考書を教えてください！

イベント情報

- 活動スケジュール

JTA公認翻訳専門職資格試験

- 実施概要
- 受験案内申込
- 受験対策
- Q & A (準備中)

JTAメンバーズ

- 資格と活動
- サービス概要
- 入会申込み

翻訳修士奨学金制度

- 翻訳修士奨学金制度とは
- 募集要項
- 応募要項
- 大学院ご担当者様へ
- 翻訳修士奨学金制度認定校
- 大学院認定申請フォーム

3 今、なぜ、翻訳の資格か

社団法人 日本翻訳協会 湯浅会長に聴く



湯浅美代子会長

翻訳ビジネスの現況と資格をめぐる国際状況

——「STEP1」に引き続き、日本翻訳協会会長の湯浅美代子さんにお話をうかがいます。今回の『JTA 公認翻訳専門職試験』に伴い、今なぜ翻訳の資格が重要なのか、グローバルな環境変化などの背景と併せてお聞きしたいと思います。

今回の資格試験の新設に先立って、雑誌「リーガルコム」の11月号では、世界標準の「Professional Translator」の資格を特集しました。英語圏を中心に、各国の翻訳団体が定める翻訳能力の条件や認定資格、翻訳専門の教育コースの設置状況などを通じて、海外各国が翻訳の重要性をどう考えているのか、そして世界的な翻訳品質の標準化に向けてどのような動きが起きているかが紹介されています。これらの情報を通じて、オーストラリアのNAATI、米国のATA、イギリスのITIといった団体が定めている翻訳能力資格や認定条件を概観でき、『JTA 公認翻訳専門職試験』の先進性と妥当性に自信を持つことができました。

——どのような状況から、翻訳能力資格の重要性が増していると言えるのでしょうか。

現在の翻訳ビジネス業界を眺めてみましょう。一部ではブランドが確立されて価格プレミアムが生じている一方、分野ごとに価格の値ごろ感にバラツキがあり、標準化が図られていないのが実状だといえます。つまり、翻訳品質のスタンダードが確立しておらず、翻訳者自身も、翻訳会社もクライアントも、関係者すべてが翻訳のクォリティを客観的に判断できないという現実があります。結局、経験的にしか翻訳者の能力を判断できず、顧客と翻訳者が信頼関係を築く手だてが限定されているのです。商品としての翻訳がどうある

べきか、手探りの状態といえます。

——なるほど、それでは発注側も受注側も双方が手探りで翻訳ビジネスを進めなければならず、品質も保証できませんね。

その通りです。こういった事情から、信頼できる第三者機関による、客観的な翻訳能力の証明が求められてきたわけです。第三者的立場で認定した能力資格があれば、それは同時に翻訳の品質とは何か保証されることにもなります。クライアントも翻訳会社も納得し、翻訳者との間で継続した信頼関係を結んでビジネスをスムーズに進めることができますね。つまり、翻訳ビジネスで成功を収める鍵となるのが「資格」だというわけです。

JTA 検定の開始から現在までの環境変化

——JTA では、これまで翻訳検定を実施して来られましたが、時代背景を含めて、これまでの流れを教えてください。

JTA が第1回の検定試験を実施したのは1988年3月です。時の労働大臣の認可を得ています。内容は、ビジネス実務の分野中心の会場試験でした。当時は国家試験に次ぐ認定試験レベルで「翻訳技能審査」という名称でした。1970年代に翻訳会社の多くが誕生し、高度経済成長の中で、翻訳の品質を高めようという機運が高まっていました。翻訳市場が急成長した時期です。その後翻訳市場は成熟し、品質への要求よりは、大量の文書処理をどうするかという観点に移り、機械翻訳が登場します。しかし、商品としての品質には遠く、翻訳者の支援ツールとしての役割が見出されず。その後「翻訳技能認定試験」として一部改訂してきました。しかし、第1回から20年以上が

経過し、翻訳を取り巻く環境もビジネススタイルも大きく変わり、翻訳者のあり方も様変わりしました。ITの発達、グローバル化、産業構造の変化によって、モノよりも情報の価値が高まり、コミュニケーションを円滑に進めることがビジネス成功の鍵となってきました。このようなパラダイムシフトの中で、専門家としての翻訳者の役割が求められるようになりました。EUの誕生により、修士、博士号を持つ翻訳者が登場してきます。欧米では、ローカライズ需要とともに翻訳の専門職養成の必要を認識して、大学院レベルでの翻訳者養成コースが開講され、高度な翻訳能力を持ったプロフェッショナルを世に送り出しています。

——バベル翻訳大学院 (BUPST) の設立 (2000年) は、こういった動きに先駆けていたわけですね。こうした現在の環境では、翻訳者と顧客との関係も変わってくると思うのですが。

もちろんです。翻訳者と顧客の関係を一对一の個人的なものとするのは、もはや古い概念でしょう。モノよりも情報が激しく行き交うグローバル・ビジネスの中では、翻訳者は個々の人的資源ではなく「翻訳者」という集合体として捉えられ、「顧客」という集合体との関連で、そのあり方が問われることとなります。翻訳というビジネスにおける顧客バリューが何で、顧客ニーズを満足させる品質とはどのようなものか、そして、それを実現するために翻訳者に求められる世界レベルの能力は何なのか——このような疑問に答えるためには、現代の翻訳者が有すべきコンピタンス (能力) を明確に規定しなければなりません。

——そのコンピタンスとは、具体的にはどのようなものでしょうか。

BUPSTでは「リテラシー」と言っていますが、今回の試験のためのJTAとBUPSTと協議の結果、コンピタンスと言い換えることにし、次の5つのコア・コンピタンスを定め、Professional Translatorの資格要件としました。そのコンピタンスとは、まずLanguage Competence：言語変換力つまり翻訳文法力です。Cultural Competence：文化、背景知識理解力、Expert (Expertise) Competence：専門実務知

識と翻訳力、例えば、金融・リーガル・メディカルなど各分野の専門知識です。IT Competence：PCやソフトウェアの運用力で、翻訳支援ツールの使用、インターネットサーチなども含みます。Managerial Competence：ビジネスマネジメント力となります。

新たな資格試験創設のねらい

——BUPSTのコア・コンピタンスは、今回の試験と密接に関連しているのですね。

そうです。30年以上のBUPSTの翻訳者養成の実績、研究成果がベースになっています。『JTA公認翻訳専門職試験』は突然できたのではなく、これまでのJTAの20年の実績に、BUPSTの実績を掛け合わせて誕生したといえます。この試験では、翻訳者の能力を5つのコンピタンスの側面から、翻訳専門職としての水準を満たしているかを認定するのです。つまり、翻訳力に加え、その分野でプロフェッショナルとして認められる専門知識、ITを使いこなす能力やリサーチ能力、ビジネス実務能力を兼ね備えて初めて、新時代の翻訳専門職として認められるというわけです。

——最後に、今回の資格認定試験にこめられた湯浅会長の「想い」をお聞かせください。

翻訳のプロフェッショナルとしての総合力を認定対象にしようとする動きは、世界各地で見られます。例えば、EUでは、様々な言語の国家が集まっているという事情もあり、多言語間コミュニケーションの担い手である翻訳者や通訳に必要な能力要件を明確化し、標準化しています。世界をひとつのマーケットとして考えた場合、翻訳品質の保証に関しても世界共通のガイドラインが必要とされるわけですが、私どもが設定した5つのコンピタンスは十分に普遍性があると思いますし、JTAの新資格は世界標準の資格になるものと自負しています。真の国際的翻訳能力資格が重要なステータスとなっている現在、日本が21世紀の翻訳ビジネスをリードし、国際社会に貢献するために尽力していきたいと思っています。

IT時代のプロフェッショナル・トランスレーターを認定する
『JTA公認翻訳専門職資格試験』
(Certified Professional Translator Test < CPTT >)

第1回

2008年12月7日(日)

インターネットで実施

社団法人日本翻訳協会（JTA：Japan Translation Association）では、これまで翻訳のプロとしての能力を認定する「翻訳技能認定試験（通称：翻訳検定）」を実施してきましたが、協会創立22周年を迎えた今年、21世紀のビジネス・コミュニケーションにふさわしい翻訳技能の確立と向上を目指して「翻訳技能認定試験」を全面的に改訂しました。

改訂の大きなポイントは、従来東京、大阪で行っていた会場試験に替え、全国、否世界のどこからでも受験できるインターネット試験を採用したことです。また、名称も「JTA公認翻訳専門職資格試験（Certified Professional Translator Test）」と改称しました。

このように試験を全面的に改訂したのは、今後のビジネス・コミュニケーション、とくに翻訳ビジネスにおいてはインターネットを使いこなすこと、すなわちIT能力が重要な要素となってくることを重視したからです。今では世界のビジネス市場は、多言語マーケットとなっており、グローバル化の深化によって、ITツールを使えば世界のどこにいても翻訳サービスが提供できるようになっています。

そこで、日本翻訳協会はこのような時代の変化に対応して、世界に通用する、新たなプロフェッショナル・トランスレーターの実像を構築し、世に広めるとともに、その専門能力の資格認定をすることが必要であると考えたのです。

●現代の<プロフェッショナル・トランスレーター>必須能力

<プロフェッショナル・トランスレーターの実像>とは何か。それは、保有すべき能力を

- ① 言語運用能力と翻訳表現技術
- ② 文化背景知識と異文化理解力
- ③ 専門知識と実務能力
- ④ I T 運用力とサーチ力
- ⑤ マネジメント能力と職業倫理

といった側面からと捉えた上で、

コミュニケーション、情報検索ツールとしてのインターネットの活用によってもたらされる高度な情報収集能力、専門辞書の作成・編集技術などの知識構築能力、そして翻訳支援ツールやその他のソフトウェアなどを活用して翻訳生産性を高める能力、さらには、高い専門性と安定した品質の翻訳生産を実現できる高度な翻訳能力、翻訳専門職としての職業倫理能力や翻訳ビジネス・マネジメント能力、自己啓発能力。これらの能力を総合的に身につけた人が現代の<プロフェッショナル・トランスレーター>、すなわち「J T A 公認翻訳専門職 (C P T)」ということができます。

●< J T A 公認翻訳専門職 > という資格

今回改訂された試験に合格すると、< J T A 公認翻訳専門職 > の資格が授与されます。これは、先に述べた現代のプロフェッショナル・トランスレーターが保有すべき能力を

- ① Language Competence
- ② Cultural Competence
- ③ Expert Competence
- ④ IT Competence
- ⑤ Managerial Competence

という5つの Competence で測り、全ての Competence を高いレベルで有する者を< J T A 公認翻訳専門職・Certified Professional Translator > として認定します。

なお、合格し、< J T A 公認翻訳専門職 > として認定されるためには、翻訳実務経験が2年以上あることが必要となります。

●「 J T A 公認翻訳専門職資格試験」の全体像を把握する

実際の「 J T A 公認翻訳専門職資格試験」は、どのような試験なのか、その全体像を示すと次頁のようになります。試験は年4回実施されますが、回ごとに対象言語や試験科目に制限がありますので、注意することが大切です。

「J T A公認翻訳専門職資格試験」の全体像（概要）

名 称 : J T A公認翻訳専門職資格試験（Certified Professional Translator Test）

取得資格 : J T A公認翻訳専門職（Certified Professional Translator）

試験方式 : インターネットを使用した在宅による時間限定試験

対象言語 : 英語部門（英日／日英）

中国語部門（中日／日中）

試験科目 : 英語部門、中国語部門とも以下の4科目

① Language & Cultural Competence Test

原文把握力、言語変換力、文化背景理解と文章表現力

② Expert Competence Test*

専門分野の知識、実務文章、文体、用語知識と表現力、編集力

③ IT Competence Test

IT 駆使能力、情報検索・収集能力、翻訳支援ソフト活用力

④ Managerial Competence Test

翻訳ビジネス・マネジメント能力、職業倫理、自己啓発力

* Expert Competence Test は以下のジャンルから1科目を選択。

<英語部門>

- ・フィクション
- ・ノンフィクション
- ・IR／金融
- ・リーガル
- ・医学／薬学
- ・特許
- ・コンピューター

<中国語部門>

- ・フィクション／ノンフィクション
- ・リーガル

試験時間 : 昼食・休憩を含め約6時間

受験資格 : 国籍、年齢、性別を問わず。

受験料 : 21,000円（消費税込）

合否判定 : 科目ごとに合否判定を行う。

認 定 : 全科目に合格し、職業経験2年以上ある者を< J T A公認翻訳専門職（Certified Professional Translator）>と認定する。

資格の有効期限 : 5年（5年ごとに更新受験）

受験申込 : ホームページ（www.jta-net.or.jp）の指定フォームに必要事項を記入して送信

第1回の試験は、12月7日（日）実施 英語（英日／日英）部門限定です

装いも新たに実施される「JTA公認翻訳専門職資格試験」。本年12月7日（日）に行われる第1回試験の実施概要は以下の通りです。言語は英語に限定。Expert Competence Testの選択科目は5分野の中から選びます。

第1回 「JTA公認翻訳専門職資格試験」

実施日 : 2008年12月7日（日）

試験時間 : 10:00～16:00（昼食・休憩時間を含む）

試験場 : インターネットによる在宅試験
東京・大阪での会場試験を検討中

受験資格 : 国籍、性別、年齢を問わず

受験料 : 21,000円（消費税込）

試験科目 : 英語部門（日英／英日）のみ
Language & Cultural Competence Test
Expert Competence Test

以下の5つの分野から1分野を選択

フィクション
ノンフィクション
IR／金融
リーガル
医学／薬学

IT Competence Test

Managerial Competence Test

合否判定 : 科目ごとに合否判定を行う。

資格取得 : 4科目のテスト全てに合格し、翻訳実務経験2年の実績審査を行ったうえで「JTA公認専門職」として認定します。

まずは、 「Language & Cultural Competence Test」で 翻訳の基礎の能力をチェック

新たにスタートする「JTA公認翻訳専門職資格試験」に合わせて、（社）日本翻訳協会では翻訳の基本である＜原文把握力＞＜言語変換力＞＜文化背景理解と文章表現力＞を評価する「Language & Cultural Competence」分野に限定した「Language & Cultural Competence Test」を同時に実施します。

翻訳の基本能力を試す場として、あるいは「JTA公認翻訳専門職資格」取得の第一歩として大いに活用してください。

第1回「Language & Cultural Competence Test」

実施日	： 2008年12月7日（日）
試験時間	： 10：00～12：00（試験時間90分）
試験場	： インターネットによる在宅試験 会場試験はありません
受験資格	： 国籍、性別、年齢を問わず
受験料	： 10,500円（消費税込）
試験科目	： Language & Cultural Competence Test
対象言語	： 英語（英日／日英）
合否判定	： 合否判定を行う。

「JTA公認翻訳専門職資格試験」

「Language & Cultural Competence Test」

は、どなたでも受験できます

「JTA公認翻訳専門職資格試験」に関しまして、受験資格として<JTAメンバーズ>であること、という記載が一部ありましたが、新しく実施される「JTA公認 翻訳専門職資格試験」ならびに「Language & Cultural Competence Test」は、インターネット試験を採用するなど、方式、内容とも従来とは大きく変わっています。そこで、これまでの翻訳技能検定試験の受験要項とのかかわりなどを考慮し、<JTAメンバー>であることを受験資格としていましたが、その条件を外し、国籍・性別・年齢を問わず、どなたでも受験できることとなりました。

受験申込から合格発表まで

- (社) 日本翻訳協会のホームページ (<http://www.jta-net.or.jp>) から<受験申請書>をダウンロードし、必要事項を記入してください。
- ↓
- 指定の銀行に受験料を納付し、振込受領書を受け取ってください。
- ↓
- 写真および振込受領書の写しを貼り付けた<受験申請書>を指定のアドレスに e-mail 送信してください。
- ↓
- <受験申請書>の記載事項、振込受領書等を確認のうえ
 - ・ 受験番号
 - ・ パスワード
 - ・ 試験スケジュール
 - ・ 受験のころえ
 を e-mail で送信します。

- ↓
- 試験当日、解答を所定の手順で送信してください。
- ↓
- 科目ごとの合否は、ホームページ等で発表します。

翻訳専門職を目指す力をサポートする ＜J T Aメンバー＞

＜J T Aメンバーズ＞は、「J T A公認 翻訳専門職資格試験」に向けての対策セミナーの開催など、翻訳専門職を目指す方々をサポートするとともに交流の場として次のような活動をしていきます。

- ①「J T A公認 翻訳専門職資格」を取得するには2年の＜実務経験＞が必要となっています。
J T Aメンバーには、ボランティア翻訳などの実務を提供し、その実績が証明されます。
- ②受験対策セミナー、模擬試験と解答解説会など受験対策各種イベントに参加できます。
- ③各種の関連仕事情報が提供されます。
- ④季刊誌『The Professional Translator』が届きます。
- ⑤毎月“WEB J T A Journal”が送られます。
その他、順次内容を充実されます。

＜J T Aメンバー＞であることが「J T A公認 翻訳専門職資格試験」の受験資格ではありませんが、翻訳専門職を目指す方には大変有用なメンバーシップです。詳しくはJ T Aのホームページ (<http://www.jta-net.or.jp>) をご覧ください。

「J T A公認翻訳専門職資格試験」
「Language & Cultural Competence Test」
の詳細は、下記の（社）日本翻訳協会のホームページで必ずご確認ください。

<http://www.jta-net.or.jp>

JTA公認翻訳専門職資格〔CPT〕試験

模 擬 問 題 I

Language and Cultural Competence 分野

「JTA 公認 翻訳専門職資格試験」の英語部門、Language and Cultural Competence Test の模擬問題を出題します。

問題は、「I 英日翻訳」、「II 日英翻訳」、「III 英文リライト」に分かれています。

1問を約30秒で解答することを目指して取り組んでください。なお、問題の右側に「解答のヒント」を示してあります。まずはヒントを見ないで取りかかりましょう。解答できない場合にはヒントを参考にしてください。「解答」は最後に記載します。

「JTA 公認翻訳専門職資格試験」出題概要

	Competence	要求 Skill	細目
STEP0 STEP1 STEP2	I Language and Cultural	原文読解力	・ 語句の理解 ・ 背景知識
		変換技法	・ 訳出の過不足
		表現技法	・ 自然 / 適切な表現
STEP3	II Expert	専門理解力 専門表現力	・ 文体把握 / 表現 ・ 文種把握 / 表現
		要約力	要約文
STEP4	III IT	PC 操作力	・ PC 基礎知識 (OS、ネットワーク、アプリケーション)
		エディティング	・ 辞書作成
		サーチ力	・ インターネット検索
STEP4	IV Maneerial	コードオブ・コンダクト & コンプライアンス	秘密保持、自己実施責任、名誉毀損、著作権など
		プロダクション	品質水準、協働翻訳、翻訳周辺サービスなど
		マーケティング	見積り、翻訳契約、原文の誤りの処理など

[問題 1] 英日翻訳

次の英文にもっともふさわしい自然な日本語文を選択しなさい。

(1) Three and half hours after his arrival in Paris, Andre entered the Ambassador's office in the American Embassy.

- ① アンドレは到着から3時間半後、パリにあるアメリカ大使館内の大使のオフィスに入った。
- ② アンドレはパリに到着してから3時間半後に、アメリカ大使館にある大使のオフィスに入った。
- ③ アンドレはパリに到着してから3時間半の間、アメリカ大使館にある大使のオフィスに入っていた。
- ④ パリにおける彼の到着から3時間半後、アンドレはアメリカ大使館内の大使のオフィスに入った。

(2) She walked on, and it was not until they were under the walls that she recovered and was able to speak.

- ① 彼女は歩き続けた。一行は壁の下に到着しなかったが、彼女は落ち着き、話すことができた。

[解答のヒント]

(1) his arrival の訳し方に気をつけます。代名詞 his と arrival の関係を考えます。

(2) 強調講文 it was ~ that と接続詞 until の処理に気を配ります。

問題形式	J / E	問題数	試験時間	分野
・短文翻訳 (四肢選択)	EJ	150 問	90 分	分野共通
・短文翻訳 (四肢選択)	JE	60 問		
・リライト (四肢選択)	EE	60 問		
・長文部分翻訳	EJ	3 問	90 分	①フィクション ②ノンフィクション ③IR/金融 ④リーガル ⑤医療/薬学 ⑥特許 ⑦アニュアル
・長文部分翻訳	JE	2 問		
・要約	EJ	1 問		
・作業	J / E	2 問	60 分	分野共通
・手順説明	J / E	3 問		
・四肢選択	J / E	30 問		
・四肢選択	J / E	30 問	30 分	分野共通

- ②彼女は歩き続けた。一行が壁の下に到着するまで、彼女は落ち着いて話すことができなかったのだ。
- ③彼女は歩き続けた。一行が壁の下に到着してようやく彼女は落ち着き、話すことができた。
- ④彼女は歩き続けた。一行が壁の下に到着してもまだ、彼女は落ち着いて話すことができなかった。

(3)Smiley had no difficulty in finding a first-class compartment to himself.

- ①スマイリーが、自分のために一等のコンパートメントを見つけるのは難しくなかった。
- ②スマイリーは、自分ひとりが一等のコンパートメントを見つけるのに異議を唱えた。
- ③スマイリーは、自分のために一等のコンパートメントを見つけるのにまったく困難があった。
- ④スマイリーが、自分のために一等のコンパートメントを見つけるという困難がなかった。

(4) The prime shopping population is aging, with less time and less money than most of their parents had.

- ①主な購買層が高齢化してしまうのは、彼らの親たちに比べて時間もお金も少なくとも同じだ。
- ②主な購買層は高齢化しつつある。そして彼らの親たちに比べてより少ない時間とお金が残っているのだ。
- ③主な購買層が高齢化しつつあるのは、彼らの親たちに比べて時間もお金も少ないためだ。
- ④主な購買層は高齢化しつつある。そして彼らの親たちの大抵が持っていたほど時間やお金を持っていない。

(5) The matchbox fell from Anthony's hand, but his amazement was fully equaled by that of Battle.

- ①マッチ箱がアンソニーの手から落ちた。しかしアンソニーはバトルのマッチ箱にもまったく同じように驚いた。
- ②マッチ箱がアンソニーの手から落ちた。しかしアンソニーはすっかり驚いてしまった。

[解答のヒント]

(3) 名詞の前にある no をどのように訳すと自然な文章になるでしょうか。

(4) 比較級を用いた表現 less time や less money を自然な言い方にします。また文末に省略されている語を補って考えます。

(5) 無生物主語、受動態の処理が大切です。また代名詞 that の指す内容を考えましょう。

- ③マッチ箱がアンソニーの手から落ちた。しかしアンソニーの驚愕はバトルのそれとまったく等しかった。
- ④マッチ箱がアンソニーの手から落ちた。しかしアンソニーはバトルとまったく同じように驚いた。

[問題 2] 日英翻訳

次の日本語文に対応する、できるだけ簡潔で分かりやすい英文を選択しなさい。

(1) ここの気候は、イギリスの気候にそっくりだ。

- ① The climate here is just like the climate of England.
- ② We have the same climate here in England.
- ③ Here the climate is like to England.
- ④ The climate here is just like that of England.

(2) 籠には卵がほとんどない。

- ① There are a few eggs in the basket.
- ② Only some eggs are in the basket.
- ③ There are few eggs in the basket.
- ④ There are little eggs in the basket.

(3) 普通の人だったら、あんなことはしなかったはずだ。

- ① If you have been an ordinary person, you should not behave like that.
- ② An ordinary person would not have behaved like that.
- ③ An ordinary person did not behave like that.
- ④ If you had been an ordinary person, you would not behave like that.

[問題 3] 英文リライト

次の英文を分かりやすく適切な形に書きなおしたものを選択しなさい。

(1) I think your proposal is worth considering, please write it up in detail.

- ① Your proposal is worth considering, please write it up in detail.

(1) 英文では同じ名詞の繰り返しは避け、代名詞を 사용합니다。

(2) 量を表す肯定的表現と否定的表現を正しく使われます。

(3) 英文では主語に仮定の意味を含めることができます。

- ② Your proposal is considering, so please write it up in detail.
- ③ To consider your proposal, you need to write it up in detail.
- ④ I think your proposal is worthy to be considered, please write it up in detail.

(2) Please return the complete questionnaire to I or Mr. Matsumoto.

- ① Please return the complete questionnaire to either I or Mr. Matsumoto.
- ② Please return the complete questionnaire to him or Mr. Matsumoto.
- ③ Please return the complete questionnaire to myself or Mr. Matsumoto.
- ④ Please return the complete questionnaire to me or Mr. Matsumoto.

(3) We are not unopposed to a merger, but we need more time to study our options.

- ① A merger can't be accepted, but we need more time to study our options.
- ② We are opposed to a merger, but we need more time to study our options.
- ③ A merger might be a possibility, but we need more time to study our options.
- ④ We are not unopposed to a merger, but we must study our options till tomorrow.

[解答のヒント]

(1) 曖昧さをなくし、具体的な事実を述べるために、不要な記述は省きます。

(2) 人称代名詞は置かれた場所に応じた正しい形を用います。

(3) 二重否定はできるだけ避け、誤解の生じないように気をつけます。

STEP0

STEP1

STEP2

STEP3

STEP4

[解答]

各問題の解答は以下のとおりです。

I 日英翻訳

(1) ②、(2) ③、(3) ①、(4) ④、(5) ④

II 英日翻訳

(1) ④、(2) ③、(3) ②

III 英文リライト

(1) ①、(2) ④、(3) ③

IT Competence 分野

問題は、コンピュータ関連の基礎知識を4肢択1で答える【問題1】と、MS-Wordの操作手順を記述する【問題2】～【問題4】、そして実技試験の【問題5】に分かれています。

【問題1】

4つの選択肢の中から正しい答えを1つ選択しなさい。

1. 以下の機能で Operating System (OS) にはないものはどれか

- a) 入出力機能
- b) ファイル管理機能
- c) メモリー管理機能
- d) データベース機能

2. CドライブのファイルをDドライブにドラッグ&ドロップするとどうなるか

- a) ファイルがDドライブに移動する
- b) ファイルがDドライブにコピーされる
- c) ファイルが削除される
- d) ファイルがゴミ箱に入る

3. 複数のアプリケーションを起動している場合、[Alt]キーと以下のどのキーを同時に押せばウインドウを切り替えることができるか

- a) [Shift] キー
- b) [Ctrl] キー
- c) [Tab] キー
- d) [Backspace] キー

4. 設定を行う際に必要な項目を画面の質問に対話形式で指定していく機能は以下のうちのどれか

- a) コンフィギュレーション
- b) マルチウインドウ
- c) ウィザード
- d) アバター

5. インターネットと関係のない用語はどれか

- a) プロトコル
- b) XML
- c) ハイパーテキスト
- d) レイヤースタイル

<解答>

1.d) 2. b) 3. c) 4. c) 5. d)

【問題 2】

MS-Word2003 に関する問題です。答えを解答提出フォームに記入してください。

指定した人だけが参照できるように、作成したドキュメントにパスワードを設定する方法を説明してください。

<解答>

- (1) メニューバー「ツール」→「オプション」をクリックする
- (2) 「オプション」ダイアログが開いたら、「セキュリティ」タブをクリックする
- (3) この文書のファイル暗号化オプションの読み取りパスワード欄にパスワードを入力する
- (4) 「OK」をクリックする

(【問題 3】～【問題 4】は【問題 2】と同様のため省略)

【問題 5】 <実技試験>

実技試験では、圧縮された問題ファイルをダウンロードして解凍し、課題指示に従って作業を行い、再度圧縮して提出します。

ファイル No.1 には次のような対訳（上が日本語、下が英語）が書かれています。

これを上が英語、下が日本語になるように変更してください。

ファイルの最後に、どのような手順で行ったか説明してください。

<日>銅価格は過去 1 週間で 15 セント以上も上昇した。

<英> Copper prices have risen over 15 cents per lb in the past week.

このように変更する↓

<英> Copper prices have risen over 15 cents per lb in the past week.

<日>銅価格は過去 1 週間で 15 セント以上も上昇した。

<手順説明の解答例>

Word のワイルドカード検索置換を使用。検索文字列は以下の通り。

検索する文字列： (<日> *^13(<英> *)^13

置換後の文字列： \2^13\1

Managerial Competence 分野

CPT マネージリアル・コンピテンスの模擬問題を出題します。実際の試験では、翻訳マネジメントに関する問題を30分で30問回答することになっていますから1問を約1分で解答することになります。全問、日本語による四肢選択問題です。易しい問題ですからヒントはつけませんが、インターネットの検索エンジンで翻訳会社のホームページなどを見ますと参考になる知識が得られましょう。

問題

1. 翻訳料金について述べた次の文の中で正しくないものを選びなさい。

- ①文芸翻訳においては、出版社が翻訳者に印税を支払うが、通常、小売定価に印刷部数をかけた額の5～10パーセントが翻訳印税として支払われる。
- ②ターゲット言語を日本語とする実務翻訳においては翻訳者が翻訳・納品した電子データ原稿の総文字数に1字当たり5円で計算した翻訳料金が東京では一般的である。
- ③ターゲット言語を日本語とする実務翻訳においては翻訳者が依頼者より受領する電子データ原稿の総ワード数に1ワード当たり15円から25円で計算した翻訳料金が東京では一般的である。
- ④字幕翻訳においては翻訳された日本語字幕の1語当たり45円が翻訳料金の一般的な計算基準である。

2. 翻訳者の守るべき倫理について述べた次の文について正しいものを選びなさい。

- ①翻訳者は、依頼者から依頼された原稿及び翻訳サービスについて秘密を守らなければならない。
- ②翻訳者は、常に、原文（ソース言語）に言語的に忠実に翻訳しなければならない。
- ③翻訳者は、翻訳著作権にもとづき翻訳した成果物を自由に公表・利用できる。
- ④翻訳者は、引受けた翻訳につき、自ら翻訳することができないときは自らの裁量でこれを他の翻訳者に翻訳させることができる。

3. 日英の実務翻訳で顧客から受領した日本語の原文に誤りがあった場合翻訳者がとるべき態度についての次の文につき正しいものを選びなさい。

- ①顧客の面子をつぶさないよう原文通り翻訳して納品する。
- ②誤りではないかと思う旨を指摘して顧客の指示を待つ。
- ③誤りと思われる箇所を正しく訂正して翻訳して納品する。
- ④誤りと思われる箇所につきそのままの訳と正しく修正した訳を並記し、訳注にその旨を記して納品する。

4. 出版翻訳において数人が共同で翻訳を行った場合において、その原文の中に他人を誹謗し名誉毀損となり得るような部分があった。これは自分が翻訳を担当する部分ではない。この場合貴方が留意すべき事項を示した次の文において誤っているものを示しなさい。

- ①名誉毀損の訴訟が起されたとしても損害賠償責任を問われるのは出版社であるから、翻訳者は関係ない。翻訳者は原文通り翻訳すればよい。
- ②共同翻訳で自分は担当した部分でないところが問題の箇所であれば自分に責任はないから放置しておけばよい。
- ③そもそも名誉毀損になるような記述は原著者が書いたのであるから原著者が責任をとれば良いことで、翻訳者には一切関係ない。
- ④出版社に対して問題の箇所を指摘して注意を喚起すると共に、自らは知り合いの弁護士に訴訟が提起されるかどうかの確率とその場合の対処策について相談しておく。

5. はじめての顧客から翻訳の受注をするのに際して翻訳物の品質の保証を書面で求められたが、どのような文案としたらよいかにつき、次の文の中から適切でないものを一つ選びなさい。

- ①納入する翻訳物は「翻訳英文法」として翻訳業界に良く知られている翻訳ルールにもとづくものであり、また、常用漢字・送り仮名・句読点法は内閣告示によるルールに従っているものであることを記述する。
- ②納入する翻訳物は、予め顧客に提出した又は顧客から示されたサンプル訳と同様の水準であることを記述する。
- ③納入する翻訳物は、顧客が読んで合格する水準のものとし、不合格の翻訳については顧客より差し戻しを受けて再度翻訳し、合格するまでこれを続ける旨を記述する。
- ④納入した翻訳物に顧客が満足しない場合は、契約をキャンセルし翻訳代金を受領しない旨を記述する。

<解答>

- 問題1. ④
- 問題2. ①
- 問題3. ④
- 問題4. ④
- 問題5. ③



JTA公認翻訳専門職資格〔CPT〕試験

模 擬 問 題 IV

Expert Competence 部門 リーガル分野例

今回の出題は、法域という観点に立てば、多義に渡る法律知識を基礎とした翻訳家としての表出力を問うものではありません。しかし、翻訳力という観点から、「翻訳の精度」「制限時間内に最低限のタスクをこなす、得点を確保する事務管理能力と翻訳スピード」「前設問中の法的場面を効率的に日英翻訳に転用する能力」「論旨を日本としての確に纏め上げる要約力」等、多義に渡る能力を問う出題となっています。とりわけ、設問 III は、時間設定に比例して分量も多く、翻訳者としてのマネジメント力を試される出題となっています。設問に書かれた事件名等をヒントとして、種々の情報収集手段を活用し、内容の把握に努め、貴方の日本語要約に反映させることが出来れば、翻訳実務家としての貴方の能力の高さの証明になります。では、これから、貴方のその高い能力を遺憾なく発揮してください。

[問題 1] 英日翻訳

以下は、賃貸借契約書条文からの抜粋です。制限時間内に全ての条文を訳出することが望まれますが、二つの条文を訳せばこの設問におけるタスクは及第となります。各条文の配点と時間制限を考慮した上で、自己にあった選択をし、訳出してください。

POSSESSION.

Landlord will make a good faith effort to make the Leased Unit available to Tenant on the day this Lease is scheduled to begin. If any delay does occur, no rent is due until the Leased Unit is available to Tenant.

Tenant can end this Lease by written notice to Landlord by certified mail, return receipt requested, if the Leased Unit is not available within 10 days after the Lease beginning date. Tenant's only remedy is to end the Lease. Landlord is not responsible for any inconvenience, loss or damage if there is any delay in making the Leased Unit available to Tenant.

If Landlord cannot provide the Leased Unit as promised, Tenant's security deposit will be returned 7 days after the date Landlord is unable to deliver possession.

CONDITION OF LEASED UNIT; REPAIR OF DAMAGE.

Tenant agrees to maintain the Leased Unit during the term of this Lease in the same condition as it was on the beginning date of the Lease.

STEP0

STEP1

STEP2

STEP3

STEP4

Tenant agrees to pay as additional rent the cost of the repair of damage caused by Tenant or other permitted occupants or visitors of Tenant. Only Landlord's employees, agents or contractors may make repairs to the Leased Unit.

Tenant agrees to return the Leased Unit to Landlord at the end of this Lease in the same condition as it was on the beginning date of this Lease.

Tenant will promptly notify Landlord in writing if the leased Unit is damaged or repairs are required. Landlord agrees to perform necessary repairs with reasonable promptness after receiving written notice from Tenant.

Landlord is not responsible for any inconvenience or loss caused by necessary repairs to the Leased Unit, the building, appliances and any other equipment.

CONDEMNATION.

Condemnation is the power of the government to take private property for public use. If the Leased Unit or any part of it is condemned, or voluntarily transferred by condemnation proceedings, this Lease will automatically end as to the condemned portion.

If the Lease ends due to condemnation of a part of the Leased Unit, Landlord will reduce the rent accordingly.

If the Leased Unit becomes uninhabitable due to the condemnation, the Lease will end when Tenant pays all rent due until the condemnation date. Tenant will not have any right to any award paid to Landlord by the condemning authority.

[問題 2] 日英翻訳

以下は、設問 I に関連し、賃貸借契約時に支払った保証金の返還に関する日本語の通知書の一部です。英訳してください。配点は、10点です。

課題：

当方が預かった保証金は、\$300です。貴方が当該賃貸借契約に明記されたとおりに、適切に清掃を行い、汚れ、傷みのない状態で部屋を明け渡してくださるならば、当方がお預かりした保証金を速やかに返還いたします。

[問題 3] 英文の要約

以下は、日本民法典第416条に大きな影響を与えたイギリスの判例 (HADLEY v. BAXENDALE) で、損害賠償の範囲確定についての法理を導き出した判例として有名です。裁判所の論旨を要約してください。

Now we think the proper rule in such a case as the present is this: Where two parties have made a

contract which one of them has broken, the damages which the other party ought to receive in respect of such breach of contract should be such as may fairly and reasonably be considered either arising naturally, i.e., according to the usual course of things, from such breach of contract itself, or such as may reasonably be supposed to have been in the contemplation of both parties, at the time they made the contract, as the probable result of the breach of it. Now, if the special circumstances under which the contract was actually made were communicated by the plaintiffs to the defendants, and thus known to both parties, the damages resulting from the breach of such a contract, which they would reasonably contemplate, would be the amount of injury which would ordinarily follow from a breach of contract under these special circumstances so known and communicated. But, on the other hand, if these special circumstances were wholly unknown to the party breaking the contract, he, at the most, could only be supposed to have had in his contemplation the amount of injury which would arise generally, and in the great multitude of cases not affected by any special circumstances, from such a breach of contract. For, had the special circumstances been known, the parties might have specially provided for the breach of contract by special terms as to the damages in that case; and of this advantage it would be very unjust to deprive them... Now, in the present case, if we are to apply the principles above laid down, we find that the only circumstances here communicated by the plaintiffs to the defendants at the time the contract was made, were, that the article to be carried was the broken shaft of a mill, and that the plaintiffs were the millers of that mill. But how do these circumstances show reasonably that the profits of the mill must be stopped by an unreasonable delay in the delivery of the broken shaft by the carrier to the third person? Suppose the plaintiffs had another shaft in their possession put up or putting up at the time, and that they only wished to send back the broken shaft to the engineer who made it; it is clear that this would be quite consistent with the above circumstances, and yet the unreasonable delay in the delivery would have no effect upon the intermediate profits of the mill. Or, again, suppose that, at the time of the delivery to the carrier, the machinery of the mill had been in other respects defective, then, also, the same results would follow. Here it is true that the shaft was actually sent back to serve as a model for a new one, and that the want of a new one was the only cause of the stoppage of the mill, and that the loss of profits really arose from not sending down the new shaft in proper time, and that this arose from the delay in delivering the broken one to serve as a model. But it is obvious that, in the great multitude of cases of millers sending off broken shafts to third person by a carrier under ordinary circumstances, such consequences would not, in all probability, have occurred; and these special circumstances were here never communicated by the plaintiffs to the defendants. It follows, therefore, that the loss of profits here cannot reasonably be considered such a consequence of the breach of contract as could have been fairly and reasonably contemplated by both parties when they made this contract.

※問題Ⅳの解答例は省略いたします。

以上

JTA公認翻訳専門職資格〔CPT〕試験

模 擬 問 題 IV

Expert Competence 部門 リーガル分野例

今回の出題は、法域という観点に立てば、多義に渡る法律知識を基礎とした翻訳家としての表出力を問うものではありません。しかし、翻訳力という観点から、「翻訳の精度」「制限時間内に最低限のタスクをこなす、得点を確保する事務管理能力と翻訳スピード」「前設問中の法的場面を効率的に日英翻訳に転用する能力」「論旨を日本としての確に纏め上げる要約力」等、多義に渡る能力を問う出題となっています。とりわけ、設問 III は、時間設定に比例して分量も多く、翻訳者としてのマネジメント力を試される出題となっています。設問に書かれた事件名等をヒントとして、種々の情報収集手段を活用し、内容の把握に努め、貴方の日本語要約に反映させることが出来れば、翻訳実務家としての貴方の能力の高さの証明になります。では、これから、貴方のその高い能力を遺憾なく発揮してください。

[問題 1] 英日翻訳

以下は、賃貸借契約書条文からの抜粋です。制限時間内に全ての条文を訳出することが望まれますが、二つの条文を訳せばこの設問におけるタスクは及第となります。各条文の配点と時間制限を考慮した上で、自己にあった選択をし、訳出してください。

POSSESSION.

Landlord will make a good faith effort to make the Leased Unit available to Tenant on the day this Lease is scheduled to begin. If any delay does occur, no rent is due until the Leased Unit is available to Tenant.

Tenant can end this Lease by written notice to Landlord by certified mail, return receipt requested, if the Leased Unit is not available within 10 days after the Lease beginning date. Tenant's only remedy is to end the Lease. Landlord is not responsible for any inconvenience, loss or damage if there is any delay in making the Leased Unit available to Tenant.

If Landlord cannot provide the Leased Unit as promised, Tenant's security deposit will be returned 7 days after the date Landlord is unable to deliver possession.

CONDITION OF LEASED UNIT; REPAIR OF DAMAGE.

Tenant agrees to maintain the Leased Unit during the term of this Lease in the same condition as it was on the beginning date of the Lease.

STEP0

STEP1

STEP2

STEP3

STEP4

Tenant agrees to pay as additional rent the cost of the repair of damage caused by Tenant or other permitted occupants or visitors of Tenant. Only Landlord's employees, agents or contractors may make repairs to the Leased Unit.

Tenant agrees to return the Leased Unit to Landlord at the end of this Lease in the same condition as it was on the beginning date of this Lease.

Tenant will promptly notify Landlord in writing if the leased Unit is damaged or repairs are required. Landlord agrees to perform necessary repairs with reasonable promptness after receiving written notice from Tenant.

Landlord is not responsible for any inconvenience or loss caused by necessary repairs to the Leased Unit, the building, appliances and any other equipment.

CONDEMNATION.

Condemnation is the power of the government to take private property for public use. If the Leased Unit or any part of it is condemned, or voluntarily transferred by condemnation proceedings, this Lease will automatically end as to the condemned portion.

If the Lease ends due to condemnation of a part of the Leased Unit, Landlord will reduce the rent accordingly.

If the Leased Unit becomes uninhabitable due to the condemnation, the Lease will end when Tenant pays all rent due until the condemnation date. Tenant will not have any right to any award paid to Landlord by the condemning authority.

[問題 2] 日英翻訳

以下は、設問 I に関連し、賃貸借契約時に支払った保証金の返還に関する日本語の通知書の一部です。英訳してください。配点は、10点です。

課題：

当方が預かった保証金は、\$300です。貴方が当該賃貸借契約に明記されたとおりに、適切に清掃を行い、汚れ、傷みのない状態で部屋を明け渡してくださるならば、当方がお預かりした保証金を速やかに返還いたします。

[問題 3] 英文の要約

以下は、日本民法典第416条に大きな影響を与えたイギリスの判例 (HADLEY v. BAXENDALE) で、損害賠償の範囲確定についての法理を導き出した判例として有名です。裁判所の論旨を要約してください。

Now we think the proper rule in such a case as the present is this: Where two parties have made a

contract which one of them has broken, the damages which the other party ought to receive in respect of such breach of contract should be such as may fairly and reasonably be considered either arising naturally, i.e., according to the usual course of things, from such breach of contract itself, or such as may reasonably be supposed to have been in the contemplation of both parties, at the time they made the contract, as the probable result of the breach of it. Now, if the special circumstances under which the contract was actually made were communicated by the plaintiffs to the defendants, and thus known to both parties, the damages resulting from the breach of such a contract, which they would reasonably contemplate, would be the amount of injury which would ordinarily follow from a breach of contract under these special circumstances so known and communicated. But, on the other hand, if these special circumstances were wholly unknown to the party breaking the contract, he, at the most, could only be supposed to have had in his contemplation the amount of injury which would arise generally, and in the great multitude of cases not affected by any special circumstances, from such a breach of contract. For, had the special circumstances been known, the parties might have specially provided for the breach of contract by special terms as to the damages in that case; and of this advantage it would be very unjust to deprive them... Now, in the present case, if we are to apply the principles above laid down, we find that the only circumstances here communicated by the plaintiffs to the defendants at the time the contract was made, were, that the article to be carried was the broken shaft of a mill, and that the plaintiffs were the millers of that mill. But how do these circumstances show reasonably that the profits of the mill must be stopped by an unreasonable delay in the delivery of the broken shaft by the carrier to the third person? Suppose the plaintiffs had another shaft in their possession put up or putting up at the time, and that they only wished to send back the broken shaft to the engineer who made it; it is clear that this would be quite consistent with the above circumstances, and yet the unreasonable delay in the delivery would have no effect upon the intermediate profits of the mill. Or, again, suppose that, at the time of the delivery to the carrier, the machinery of the mill had been in other respects defective, then, also, the same results would follow. Here it is true that the shaft was actually sent back to serve as a model for a new one, and that the want of a new one was the only cause of the stoppage of the mill, and that the loss of profits really arose from not sending down the new shaft in proper time, and that this arose from the delay in delivering the broken one to serve as a model. But it is obvious that, in the great multitude of cases of millers sending off broken shafts to third person by a carrier under ordinary circumstances, such consequences would not, in all probability, have occurred; and these special circumstances were here never communicated by the plaintiffs to the defendants. It follows, therefore, that the loss of profits here cannot reasonably be considered such a consequence of the breach of contract as could have been fairly and reasonably contemplated by both parties when they made this contract.

※問題Ⅳの解答例は省略いたします。

以上

『JTA公認翻訳専門職資格試験』

FAQ

システムも内容も一新されたJTAの認定試験。ホームページに概要が掲出されて以来、多くの方から質問が寄せられています。主だった質問とそれに対するお答えをまとめました。

文責：社団法人日本翻訳協会（JTA） 広報委員会

◆どの科目を受験すれば良いのですか

「JTA公認翻訳専門職資格試験」では① Language & Cultural Competence Test ② Expert Competence Test ③ IT Competence Test ④ Managerial Competence Test の4つのテストを受けます。

②の Expert Competence Test は、フィクション部門など7つの部門の中から自分の専門分野を選んで受験してください。

2008年12月7日に実施される第1回試験では、次の5つの分野から1分野を選択、受験してください。

- ・フィクション
- ・ノンフィクション
- ・IR／金融
- ・リーガル
- ・メディカル／バイオ

なお、2回目以降は、不合格の科目に絞って受験することができますが、最初の受験には4科目すべてを受ける必要があります。

◆同時に実施される Language & Cultural Competence Test というのは

「Language & Cultural Competence Test」は単科で受験できます。レベル的には従来の翻技能検定の共通試験の内容に近いものですが、設問は翻訳のスピードと質を問うものとなります。勉強をしながら受験をお考えの方には、先ずこの「Language & Cultural Competence Test」の受験をお薦めします。この試験に合格しますと5年間は有効ですから、傾向を知ってから他の科目を受験することが可能です。

したがって翻訳実務経験の少ない方の場合、受験へ向けての勉強方法は、この「Language & Cultural Competence Test」に集中して勉強されることをお薦めします。

◆何か良い参考書を教えてください

今回の試験では、翻訳をテクノロジーとして捉え、いつでも安定した翻訳品質、翻訳生産性を提供できることが、翻訳専門職の要件であると考えております。独自の翻訳技法を構築されていない方には、この翻訳技法のスタンダードを学習されることをお薦めします。翻訳を万人が学べる技術として世界で初めて技法としてルール化された『翻訳英文法』〈バベルプレス刊・定価〈税込み〉1890円〉です。

またこの「翻訳英文法」を効果的に学習できるようになっている『翻訳英文法トレーニングマニュアル』〈バベルプレス刊・定価〈税込み〉2520円〉もトレーニングには良いでしょう。この2冊を参考書とし

てお薦めします。

ご購入ご希望の方は、全国有名書店やアマゾンをはじめとする WEB 書店「e 翻訳堂」で購入できます。
<http://www.e-trans.co.jp/>

そのほか、当協会が随時開催する、「受験対策セミナー」や「模擬試験」を積極的に体験し、インターネット試験に慣れ、出題傾向を把握されることをお薦めします。

◆4つのテストで判断されるスキルを少し詳しく教えてください

Language & Cultural Competence Test

語句の理解 文法／構文 知識背景 訳出の過不足 自然／適切な表現

Expert Competence Test

文体把握／表現 文種把握／表現 ターミノロジー

IT Competence Test

PC 基礎知識 辞書作成 検索／置換 PC 操作 インターネット検索

Managerial Competence Test

秘密保持 自己実施責任 品質水準 協働翻訳 翻訳周辺サービス 見積り 翻訳契約
 などが判定の要素となります。

◆集合試験は実施しないのですか

インターネットを使いこなすことは、これからのトランスレータにとっては欠かせない技能です。基本的にはインターネットによる在宅試験のみで、集合試験は行いません。

ただし、どうしても在宅での受験が難しい方には、東京・大阪で小規模ですが会場試験を行うことを考えています。実施か決定次第 JTA のホームページに掲載します。

なお、「Language & Cultural Competence Test」はインターネット試験のみです。

◆試験は年何回実施されますか

「JTA 公認翻訳専門職資格試験」は年 4 回実施されます。現在、以下のスケジュールを予定しておりますが、変更される場合があります。JTA のホームページで確認してください。

2008 年 12 月 7 日（日）

2009 年 3 月、6 月、9 月、12 月

◆< JTA メンバー >でなくても受験できるのですか

インターネット試験を採用するなど、方式、内容とも従来とは大きく変わっておりますが、これまでの翻訳技能検定試験の受験要項とのかかわりなどを考慮し、受験資格は問いません。国籍、性別、年齢を問わず、どなたでも受験できます。

◆試験問題はどのようなものでしょうか

短文翻訳（四肢選択）、長文部分翻訳、要約などかなりの分量があり、効率良く解答することが求められます。これからのプロフェッショナル・トランスレータとして認定を受けるためには、トランスレータに必要な不可欠な時間生産性の高さも判定基準となります。

New Year! 翻訳で起業! スターターキットフェア

起業を成功させる一番大切なことは、何より「情熱」に尽きます。
どんな大会社でも最初はベンチャーです。その創始者を支えていたのは情熱です。

情熱があればこそ、いろいろな困難にも耐えられますし、さまざまなアイデアも浮かんできます。
翻訳営業をする際も、相手の心を動かすのもやはり気持ちが重要です。

ここでは、翻訳技術を使い、起業するにあたって、必要な英和・和英辞書、MTソフト、TMツール、レンタルオフィス（礼金敷金0ヶ月、オフィス家具付、24h利用可）のご紹介を致します。

ただ「起業したい」と漠然と思っていた人も、自分の目指す具体的なイメージづくりにお役立てください。

オススメ!!
英和・和英辞書

オススメ!!
MTソフト

オススメ!!
TMツール

オススメ!!
SOHOオフィス

◎オススメ!! 英和・和英辞典!!

小学館

ランダムハウス英語辞典
(CD-ROM Windows98/Me/2000/XP 対応版)

- 会社名：株式会社小学館
- 価格：15,750円（税込）
- URL：<http://l-world.shogakukan.co.jp/>
- 特徴：



米国版辞典に、見出し語3万語と語義5万、用例11万を追加し、派生語・変化形・成句を含め、34万5000語を収録しているロングセラー『ランダムハウス英和大辞典 第2版』をCD-ROM化しました。現代英語の語法・用法を詳説し、口語・俗語・成句や商品名・人名などの固有名詞、米国以外の国々で使われる英語まで幅広く収録。さらにCD-ROM版のみの特色として英単語の音声データ約10万件を追加、簡易和英機能も搭載しています。

動作環境

- ・必要なシステム：日本語版 Microsoft Windows98/Me、2000/XP が動作する PC
- ・CPU：Pentium 200MHz 以上（Pentium II 300MHz 以上推奨）
- ・メモリ：64MB（128MB 以上推奨）
- ・ハードディスク：約290～700MBの空き容量
- ・ディスプレイ：解像度800×600ドット以上、色数65,000色（High Color）以上
- ・CD-ROMドライブ：4倍速以上

◎オススメ!! 英和・和英辞典!!

朝日出版社

E-DIC 英和・和英 新装普及版 (辞書ソフト)

- 会社名：株式会社 朝日出版社
- 価格：2,940 円 (本体 2,800 円+税)
- URL：http://www.asahipress.com/e-dic/index.html
- 特徴：

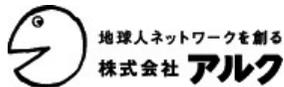


メールから専門の文書まで、一人で書ける、読める！
 プロ翻訳者の方々を始め、大学の研究者の方々、企業のエンジニアの方々にも、即戦力となる英語リソースとして好評！
 オリジナルの英和・和英辞典を含む見出し語 72 万、生きた対訳完全例文 10 万の大容量辞書。
 日本語からでも英語からでも、調べたい単語、英語にしたい日本語、すぐに応用できる例文が、瞬時の検索で見つかります。
 完全例文の単語の置き換えで、限りなくネイティブ感覚に近い英文が書けます。基本的な対訳用例辞典群と、経済・金融英語、医学英語、工業英語、特許英語など専門別の例文集で、プロの使用に耐えるコンテンツを実現！
 OS: 日本語版 Windows Me、2000 Professional、XP、VISTA

●お問い合わせ先●

TEL 03-3263-3321
 FAX 03-5226-9599

◎オススメ!! 英和・和英辞典!!



地球人ネットワークを創る
 株式会社 **アルク**

『英辞郎 第四版』

- 会社名：株式会社アルク
- 価格：2,500 円 (税込)
- URL：http://shop.alc.co.jp/cnt/eijiro/
- 特徴：



「何でも載っている辞書を作りたい」と願う人たちが構成される EDP (Electronic Dictionary Project) がアップデートし続けている英和・和英データベース「英辞郎」。その英辞郎データ (Ver. 112) と検索ソフトが一体となった CD-ROM 付書籍『英辞郎 第四版』は、言うならば、パソコンで使うことのできる電子辞書のようなもの。収録項目数は 166 万項目を数えます。
 『英辞郎 第四版』に付属されている検索ソフトは、ユーザーが辞書を作れたり、ポップアップ検索ができたり、といった多数の便利な機能も魅力的ですが、イチ押しは、語句の意味を調べる際に、英和・和英の切り替え不要な検索窓の便利さと、検索スピードの速さです。特に、検索の効率と正確さは、使用辞書を選択することで、格段にアップすることが可能です。また、文字コードに Unicode を採用したことで、発音記号が最初から表示されるようになりました。

※英辞郎は道端早知子の登録商標です。

●お問い合わせ先●

TEL 03-3327-1101
 (9:00-17:00/平日のみ)

◎対応 OS：[Windows]XP/Vista 日本語版、[Macintosh]Mac OS X 10.4 (Tiger)、10.5 (Leopard)
 英辞郎データ：ver. 112 PDIC/Unicode 形式ファイル
 Windows 用検索ソフト：PDIC/Unicode Ver.5.0.15
 Macintosh 用検索ソフト：DiDi for EIJIRO Ver.1.0.0
 Q&A ページ http://www.alc.co.jp/support/eijiro/4/

◎オススメ!! MT ソフト!!

CROSS
LANGUAGE



C-TranSer 翻訳スタジオ 2009 プロフェッショナル

- 会社名：株式会社クロスランゲージ
- 価格：98,000 円（プロフェッショナル版・税抜）
- URL：http://www.crosslanguage.co.jp/
- 特徴：

プロ翻訳者向けヘビーデューティな翻訳ソフトが最新版に改訂されました。翻訳エディタ以外の豊富なツールも最新版で満載し、ビジネスパーソンのオフィスワーク支援ツールとしても最強のご提案です。

- ・ブラウザ内蔵で翻訳作業と検索作業をすばやくスイッチ
- ・テキスト以外の画像系文字も認識して翻訳するキャプチャ翻訳
- ・一括フレーズ指定機能
- ・その文書中のみで特定の訳語を指定する定義語機能
- ・長文に便利なブックマーク機能
- ・原文の順序を保持したままの訳振り機能
- ・辞書の登録された内容を一覧できる辞書ブラウザ機能
- ・ユーザー辞書と翻訳メモリの共有機能
- ・IE アドイン、オフィスアドイン、PDF ダイレクト翻訳
- ・OCR 標準搭載

●お問い合わせ先●

TEL 03-5287-7588

FAX 03-5287-7589

◎オススメ!! MT ソフト!!

LOGOVISTA



LogoVista PRO 2009 フルパック

- 会社名：ロゴヴィスタ株式会社
- 価格：85,524 円（税抜）
- URL：http://www.logovista.co.jp
- 特徴：

高精度ロゴヴィスタ翻訳エンジンの最新版と、圧倒的な収録語数を誇る翻訳辞書を搭載。

今回のバージョンでは特許や工業規格など、技術系文書の翻訳支援機能を特に強化しました。

また、MS Office、Acrobat アドイン、文アライメント（翻訳メモリ）検索、用例アーカイブなどのほか、TRADOS 連携機能も装備しました。また、フルパックのみ特別装備の辞書として日外アソシエーツなどの著名辞典から採用した翻訳用専門辞書、LogoVista 電子辞典機能として『日外科学技術 45 万語対訳辞典』も加え、ヘビーなプロフェッショナルの仕事に耐えうる力を備えています。

●お問い合わせ先●

TEL 042-338-1792

FAX 042-338-1791

◎オススメ!! MT ソフト!!



ATLAS 翻訳スーパーパック V14

- 会社名：富士通ミドルウェア株式会社
- 価格：128,000 円 (税別)
- URL：http://www.fmw.co.jp/atlas/
- 特徴：

「専門分野対応」と「効率的な編集環境」、「翻訳資産の有効活用」により翻訳作業の効率アップに役立つ翻訳ソフトです。

1. 専門分野対応 (IT・製造業・医学・ビジネスに対応)
28 分野の専門分野に対応した 843 万語の辞書と ATLAS 独自の方式で高精度な翻訳を実現。さらに化学特許、電気特許、ビジネス技術実用英語などの翻訳メモリ例文を収録。
2. 効率的な編集環境 (対訳エディタ)
1 文単位で原文と訳文を対比しながら翻訳できる「対訳エディタ」を搭載。また、Word、Excel、PowerPoint、Acrobat 文書をレイアウトを維持した状態で翻訳ができます。
3. 翻訳資産の有効活用 (翻訳メモリ)
原文と翻訳した訳文を一对の例文として登録することができます。類似の文章を翻訳する時に登録されている例文を参照することで、翻訳作業を大幅に効率化することができます。

●お問い合わせ先●

TEL 045-475-9820
FAX なし

◎オススメ!! MT ソフト!!



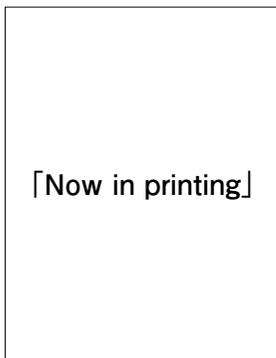
自動翻訳『熟考』

- 会社名：株式会社ロゼッタ
- 価格：70,000 円 (税抜)
- URL：www.jukkou.com
- 特徴：

インターネットと人工知能を融合させた世界で初めての自動翻訳です。膨大な辞書データと独自の翻訳ロジックにより専門用語も高精度に翻訳します。テキストデータの翻訳はもちろん、

- ・ Word/PowerPoint ファイル 30 ページを一気に翻訳する「ファイル翻訳」機能
- ・ Web ページを丸ごと翻訳する「Web 翻訳」機能
- ・ ユーザー辞書設定機能
- ・ 複数語から成る専門用語をワンクリックで翻訳する「フレーズ翻訳」機能など機能も豊富。翻訳作業の下記に最適です。

インターネット経由で利用する A S P 方式なのでインストール不要、パソコンへの負担がありません。バージョンアップは無料で常に最新のバージョンをご利用いただけます。



●お問い合わせ先●

TEL 03-3516-7062
FAX 03-3516-0625

◎オススメ!! TM ツール!!



Tta Tool (トラツール)

- 会社名：株式会社ロゼッタ
- 価格：76,000円(税抜)
- URL：www.tratool.com
- 特徴：

翻訳作業を知り抜いた開発陣だからこそ実現した、操作性に優れた翻訳支援ツールです。用語統一はもちろん、データベース化した過去の対訳から構造の似たセンテンスを検索する、同じフレーズを含むセンテンスを検索するなどのあいまい検索機能により翻訳効率が大幅に向上します。自動翻訳「熟考」による対訳データをそのまま取り込めるので、併せて使うと効率が倍増。動作が軽く操作も簡単で、支援ツールは初めてという方でもストレスなくご利用いただけます。1週間でマスターできるテキストブック付き。

●お問い合わせ先●

TEL 0120-105891
FAX 03-6895-0025

◎オススメ!! TM ツール!!



SDL Trados 2007 Freelance

- 会社名：エスディーエルジャパン株式会社
- 価格：128,000円(税抜)
- URL：<http://www.translationzone.com/jp/>
- 特徴：



SDL Trados 2007 Freelance は、世界で最も広く使われている翻訳支援ツールです。製品には、翻訳メモリツールである TRADOS 8.0、SDLX 2007 および用語管理ツール MultiTerm 2007 がパッケージにされています。翻訳メモリとは、人間が翻訳した訳文を原文とペアでデータベースに保存することで過去の翻訳の再利用を可能にするツールです。質の高いデータベースを構築し、適切なメンテナンスを行うことで、品質と効率の向上を達成することができます。また、用語管理ツール、MultiTerm を使って用語ベースを構築し、翻訳メモリツールと連携して使うことで、さらに効果をあげることができます。

<http://www.translationzone.com/jp/>にて製品の紹介デモがご覧いただけます。トップメニューの「ニュースとイベント」配下の「ウェビナーの録音」をご覧ください。

※製品はダウンロード版のみです。

●お問い合わせ先●

TEL 03-5773-1471
FAX 03-5773-1472

◎オススメ!! SOHO オフィス!!

今からスタート可能！ コピー機・備品付 オフィス

ハローオフィス

検索

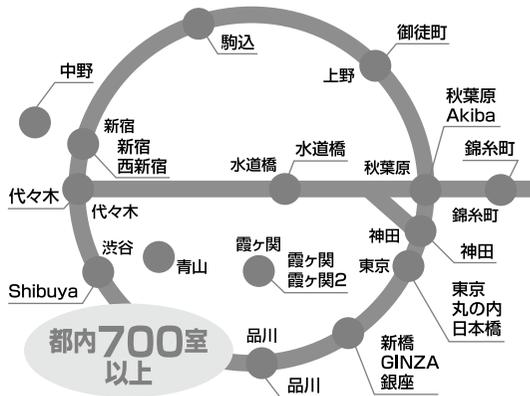
<http://www.hello-office.net/>

綺麗・明るい・便利
小規模レンタルオフィス



都内展開中!

その他駅近物件多数!
まずはお問い合わせ下さい。



一般的な賃貸借事務所とは違います

ハローオフィスは
成功を提供します

ハローオフィスは貸事務所・レンタルオフィスをお探しの皆様へ

都内25物件740室以上のオフィスの中からお客様に1番適したスペースをご提案する事が出来ます。また入居後もオフィス環境を全面的にサポートし、レンタルオフィスの便利さ、楽しさ、感動を実感していただけたと思います。

すぐに仕事が始められる環境

即入居可能
複合機付き
机・椅子付き
インターネット無料
手続き簡単



HELLO

ハロー オフィス

OFFICE

エリアリンク株式会社

東証マザーズ8914

☎ 0120-86-3586



翻訳書等を扱う出版社(主)リスト

(株)アーティストハウスパブリッシャーズ

東京都渋谷区渋谷3-27-11 祐真ビル新館4F

URL <http://pub.artisthouse.co.jp/>

(株)青山出版社

〒150-0021 東京都渋谷区恵比寿西2-17-6代官山ウエスト1F TEL 03-5728-8255

URL <http://www.aoyamapb.com/>

(株)明石書店

〒101-0021 東京都千代田区外神田6-9-5 TEL 03-5818-1171

URL <http://www.akashi.co.jp/>

(株)アカデミー出版

〒150-0035 東京都渋谷区鉢山町15-5 TEL 03-3464-1010

URL <http://www.ea-go.com/>

(株)朝倉書店

〒162-8707 東京都新宿区新小川町6-29 TEL 03-3260-0141

URL <http://www.asakura.co.jp/>

(株)朝日出版社

〒101-0065 東京都千代田区西神田3-3-5 TEL 03-3263-3321

URL <http://www.asahipress.com/>

(株)朝日新聞出版

〒104-8011 東京都中央区築地5-3-2 TEL 03-3545-0131

URL <http://publications.asahi.com/index.shtml>

(株)アセット婦人画報社

〒107-0062 東京都港区南青山3-8-38 南青山東急ビル3階 TEL 03-6384-5000

URL <http://www.hfm.co.jp/>

(株)あすなろ書房

〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町551-4 TEL 03-3203-3350

URL <http://www.asunaroshobo.co.jp/home/index.html>

(株)アルク

〒168-8611 東京都杉並区永福2丁目54番地12号 TEL 03-3323-1101

URL <http://www.alc.co.jp/>

(株)郁文堂

〒113-0033 東京都文京区本郷5-30-21 TEL 03-3814-5571

URL <http://www.ikubundo.com/>

(株)岩崎書店

〒112-0005 東京都文京区水道1-9-2 TEL 03-3812-9131

URL <http://www.iwasakishoten.co.jp/>

(株)岩波書店

〒101-8002 東京都千代田区一ツ橋2-5-5 TEL 03-5210-4000

URL <http://www.iwanami.co.jp/>

(株)旺文社

〒162-8680 東京都新宿区横寺町55 TEL 03-3266-6400

URL <http://www.obunsha.co.jp/>

(株)偕成社

〒162-8450 東京都新宿区市谷砂土原町3丁目5番地 TEL 03-3260-3221

URL <http://www.kaiseisha.co.jp/>

(株)学習研究社

〒141-8510 東京都品川区西五反田2-11-8 TEL 03-6431-1001

URL <http://www.gakken.co.jp/>

(株)角川グループパブリッシング

〒102-8177 東京都千代田区富士見2-13-3 TEL 03-3238-8521

URL <http://www.kadokawa.co.jp/>

(株)金の星社

〒111-0056 東京都台東区小島1-4-3 TEL 03-3861-1861

URL <http://www.kinnohoshi.co.jp/>

(株)勁草書房

〒112-0005 東京都文京区水道2-1-1 大和勁草ビル TEL (編集部) 03-3815-5277

URL <http://www.keisoshobo.co.jp/>

(株)講談社

〒112-8001 東京都文京区音羽 2-12-21 TEL 03-3945-1111

URL <http://www.kodansha.co.jp/>

講談社インターナショナル株式会社

〒112-8652 東京都文京区音羽1丁目17番14号 音羽YKビル TEL 編集局：03-3944-6493

URL <http://www.kodansha-intl.com/index.php?lang=jp>

(株)光文社

〒112-8011 東京都文京区音羽1-16-6 TEL 03-3942-2241 (番号案内テープ)

URL <http://www.kobunsha.com/>

株三省堂書店

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-1 TEL 03-3295-1881

URL <http://www.books-sanseido.co.jp/>

株小学館

〒101-8001 東京都千代田区一ツ橋2-3-1 TEL 03-3230-5211

URL <http://www.shogakukan.co.jp/>

株晶文社

〒101-0021 東京都千代田区外神田2-1-12 TEL 03-3255-4501

URL <http://www.shobunsha.co.jp/>

株新潮社

〒162-8711 東京都新宿区矢来町71 TEL 03-3266-5111

URL <http://www.shinchosha.co.jp/>

株新評論

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田3-16-28 TEL 03-3202-7391

URL <http://www.shinhyoron.co.jp/>

株草思社

〒112-0014 東京都文京区関口1-13-19 3F TEL 03-3235-0070(営業) 03-3235-0210(編集)

URL <http://www.soshisha.com/>

株創文社

〒102-0083 東京都千代田区麴町2-6-7 TEL (代表) 03-3263-7101

URL <http://www.sobunsha.co.jp/>

株ソニー・マガジズ

〒102-8679 東京都千代田区五番町5-1 JS市ヶ谷ビル内 TEL 03-3234-5801

URL <http://www.sonymagazines.jp/>

株集英社

〒101-8050 東京都千代田区一ツ橋二丁目5番10号 TEL 03-3230-6111

URL <http://www.shueisha.co.jp/>

株主婦の友社

〒101-8911 東京都千代田区神田駿河台2-9 TEL 03-5280-7500

URL <http://www.shufunotomo.co.jp/>

株大修館書店

〒101-8466 東京都千代田区神田錦町3-24 TEL 03-3294-2221

URL <http://www.taishukan.co.jp/>

株ダイヤモンド社

〒150-8409 東京都渋谷区神宮前6-12-17 ダイヤモンドビル TEL 03-5778-7200

URL <http://www.diamond.co.jp/index.shtml>

(株)筑摩書房

〒111-8755 東京都台東区蔵前2-5-3 TEL 03-5687-2671

URL <http://www.chikumashobo.co.jp/>

(株)中央公論新社

〒104-8320 東京都中央区京橋2-8-7 TEL 03-3563-1261

URL <http://www.chuko.co.jp/>

(株)東洋経済新報社

〒103-8345 東京都中央区日本橋本石町1-2-1 TEL 03-3246-5551

URL <http://www.toyokeizai.co.jp/>

(株)徳間書店

〒105-8055 東京都港区芝大門2丁目2番1号 TEL 03-5403-4300

URL <http://www.tokuma.jp/>

(株)日本経済新聞出版社

所在地 〒100-0004 東京都千代田区大手町2-3-6 三菱総研ビル

登記上本社 〒100-8066 東京都千代田区大手町1-9-5 日本経済新聞社内 TEL 03-3270-0251

URL <http://www.nikkeibook.com/>

(株)日本放送出版協会

〒150-8081 東京都渋谷区宇田川町41-1 TEL 03-3464-7311

URL <http://www.nhk-book.co.jp/>

(株)PHP研究所

(東京本部) 〒102-8331 東京都千代田区三番町3番地10 TEL 03-3239-6225

URL <http://www.php.co.jp/>

(株)扶桑社

〒105-8070 東京都港区海岸1-15-1 スズエベイディウム 4F~7F TEL 【書籍編集】 03-5403-8870

URL <http://www.fusosha.co.jp/>

(株)二見書房

〒101-8405 東京都千代田区三崎町2-18-11 堀内三崎町ビル TEL 03-3515-2311

URL <http://www.futami.co.jp/index.php>

(株)文藝春秋

〒102-8008 東京都千代田区紀尾井町3番23号 TEL 03-3265-1211

URL <http://www.bunshun.co.jp/>

(株)三笠書房

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋3-3-1 飯田橋三笠ビル TEL 03-5226-5730

URL <http://www.mikasashobo.co.jp/>

(株)みすず書房

〒113-0033 東京都文京区本郷5-32-21 TEL 03-3815-9181

URL <http://www.msuz.co.jp/>

World Financial News

金融翻訳ジャーナリスト 米国バベル翻訳大学院
アソシエイトプロフェッサー 国際金融翻訳講座担当
前田高昭

大手投資銀行の崩壊に見るウォール街の犯罪

ウォール街で投資銀行の経営破綻や救済合併が相次いだ。先頭を切ったのは、80年の歴史を持つ老舗、ベアー・スターンズ（BSC）だ。08年3月に経営危機に陥り、JPモルガン・チェースに救済合併された。これに先立ち、前年6月にBSCの二つのヘッジファンドが破綻していた。ニューヨーク州地方検事局は08年6月、投資家に対する虚偽の情報開示と証拠隠滅などで、ヘッジファンドのマネジャー二人を起訴した。金融危機を引き起こした米サブプライム・ローン問題関連で初めての告発となる。

ウォールストリート・ジャーナル（WSJ）によれば、二人の他にも次のような関係者がいる。まず、BSCの元会長兼最高経営責任者（CEO）のジェームス・ケイン。ブリッジの名手で、マリファナ常習者の噂がある。BSC保有株を売り抜けて巨額の現金を手に入れた。その後継者で、BSCの幕引きをしたデューク大学の元主戦投手、アラン・シュワルツ。後継者争いに敗れた投資部門担当のウォーレン・スペクター前共同社長。シェイクスピア劇の後援者で、妻は舞台兼映画女優である。

こうした中で、ファンド・マネジャーのラルフ・シオフィ（52）とマシュー・タニン（46）の二人が告発された。ともにBSCの生え抜きで、シオフィは主に債券分野で働き、03年から資産管理部門の責任者となった。軍事関係の歴史研究が趣味の4人の子持ちで、フロリダで暮らす両親を定期的に見舞う孝行息子である。タニンは証券部門が長く、最近では資産担保証券の調査を担当していた。大の野球好きで、息子をよく試合見物に連れて行く子煩悩な父親である。シオフィは攻撃的な営業マン、タニンは守りに強い調査マンだった。

一般に、ヘッジファンドが不振に陥ると、投資家はファンドの運用成績や資金引き上げの是非、他の投資家の動向などの情報を求め、ファンド・マネジャーとの間に駆け引きが始まる。本ファンドでも08年の春頃から、不安に駆られた投資家に対し、両人は次のような説明をしていた。「ファンドは設計どおりの実績を挙げている。失敗など考える理由はない（タニン）。ファンドへの追加投資を勧める。今は、素晴らしい機会だ（シオフィ）。自分も追加投資をする。（タニン。だが、追加投資はしない）。他の投資家による大口の解約要求はない（シオフィ。だが、3月頃から大口の解約が発生、シオフィ自身もファンドにある自己資金600万ドルの一部を解約する）。この間、検察によれば、両人は次のような会話を交わっていた。「市場が心配。最大の買い時か、崩壊の危機かのどちらかだ（タニン）。損失は想定よりはるかに深刻。3月の実績には吐き気を催す（シオフィ）。サブプライム市場はトースト（屑）になりそうだ（タニン）。失敗すれば、30年のキャリアを溝に捨てることになる。だが、我々には健康と家族がある。イラクで戦う19歳の兵士とは違うのだ（シオフィ）」

二人は、ファンドに日本円で数千万円から数億円を投資していた。そして、ファンドの破綻ですべてを失った。マリファナを吸い、ブリッジを楽しむケイン元会長が、紙屑となるのを免れたBSC株売却から得た現金は60億円を越すという。WSJは、ファンド・マネジャーの告発は第一幕と報じている。同じく破綻したリーマン・ブラザーズにも最近、捜査が入ったと伝えられた。どのような第二幕が開幕するだろうか。

November-December

《CPS・米国秘書資格セミナー》

<Part1>

CPS・米国秘書検定対策コース
体験レッスン <参加無料>

Office Administrationを担当する丸山講師の体験レッスン。

ご本人の受験経験（CPS・CAPダブルホルダー）と豊富な実務経験に基づく講義は受験者にも絶賛の内容。あなたのチャレンジ意欲が高まる体験レッスンです。

日時：12月8日（月）

19：00～20：30

場所：バベル六本木キャンパス

講師：丸山一子

（Office Administration 講師）

定員：20名

<Par2>

CPS 合格者体験談・受験説明会
<参加無料>

CPS 認定者に聞く“合格への秘訣”
一番知りたい合格のための勉強法？
受験テクニック？！

次のCPS合格を目指す方への必見のセミナー

日時：12月5日（金）

19：00～20：00

場所：バベル六本木キャンパス

定員：10名

《パラリーガルスクール説明会》

～インターナショナルパラリーガルになるには～

1. 日米パラリーガル事情—最も伸びている職業
2. パラリーガルに求められるスキル
3. パラリーガルになるには

専門カウンセラーがパラリーガルを目指す方を対象に説明します。

バベルのパラリーガルスクールのカリキュラムを基に個別の学習プランも作成します。

日時：11月28日（金）

19：00～20：00

場所：Babel University

六本木キャンパス

定員：7名

参加費：無料

《通学講座体験レッスン》

■英文契約書の読み方 / 書き方

「英文契約書の読み方」と「英文契約書の書き方」の体験レッスン。元国際企業の法務部長が国際ビジネスの商慣習と自らの経験を踏まえ丁寧に教えます。

日時：12月9日（火）

19：00～20：30

講師：野口幸雄

場所：Babel University

六本木キャンパス

講師コメント：

「英文契約書の読み方」と「英文契約書の書き方」の体験レッスン。両講座とも毎回配付される詳細な講義メモは初級者にも無理なく英文契約書に馴染めるよう工夫されています。

個別の添削指導も行います。

■英日契約書翻訳・初級

「英日契約書翻訳・初級」の体験レッスン。

米国大法学修士の清水講師が法律知識を詳しく解説し、翻訳技術の基本を教えます。

日時：12月11日（木）

19：00～20：30

講師：清水和子

場所：Babel University

六本木キャンパス

講師コメント：

法律翻訳の初心者を対象とした講座です。毎回A4判2枚程度の契約書をテキストに法律翻訳の技法を法律知識の解説と共に指導していきます。

毎回の宿題には講師が自ら添削して受講者にフィードバックします。

■翻訳英文法体験レッスン

翻訳を始めて体系的に学ぶ方のための体験レッスン。本講座は毎週開講。

日時：11月29日（土）

11：00～12：30

講師：中島 順

場所：バベル六本木キャンパス

講師コメント：

闇雲に勉強しても“翻訳の力”はつきません。プロの技術を体系化した“翻訳技法”を学ぶのがKey For Success。もちろん英文の正確な読解技術の訓練ともなります。

毎回参加者の訳文をもとにディスカッションを通して、翻訳の技法を身に付けていきます。

《米国秘書資格を取る—バベルのCPS受験対策コース》

【CPS本コース入学・受験説明会】

日時：11月27日（木）

19：00～20：30

12月4日（木）

19：00～20：30

場所：Babel University

六本木キャンパス

定員：7名

参加費：無料

EVENTS

November-December

※ TOEIC 700 点以上の方はこちらの説明会にご参加下さい。

CPS 受験対策通学コース (東京校) 1月10日 (土) 開講!
CPS に関して全て説明します。

【CPS 受験対策入門コース 説明会】

本コースは CPS 本コースの前の予備コース。

事前に試験内容を日本語を通して学びます。

※だから英語力に自信がない方も安心。

※入門でやさしく学び、本コースで実力を磨く。

定員: 7 名

参加費: 無料

対象者: TOEIC 500 点から 600 点台の方

日時: 12月1日 (月)

19:00 ~ 20:30

日時: 12月15日 (月)

19:00 ~ 20:30

場所: Babel University

六本木キャンパス

【CPS 受験対策オンライン・プライベートレッスンコース説明会】

日時: 11月25日 (火)

19:00 ~ 20:00

12月2日 (火)

19:00 ~ 20:00

12月9日 (火)

19:00 ~ 20:00

12月16日 (火)

19:00 ~ 20:00

場所: Babel University

六本木キャンパス

定員: 4 名

参加費: 無料

通学制のコースを受講したいけど、曜日が合わない。

六本木教室まで遠くて通えないという方への個別指導コース。

オンラインで学習しながら、Webカメラを通して定期的に個別指導を受ける

新しいタイプの「CPS 受験対策コース」です。

【中日契約書翻訳講座 オンライン学習説明会】

日時: 12月2日 (火)

19:00 ~ 20:00

中国ビジネス契約交渉に係わる方、また中文契約書翻訳に関心のある方を対象とする説明会です。

場所: Babel University

六本木キャンパス

定員: 10 名

参加費: 無料

【e-Trans Technology コース説明会】 参加無料

翻訳ソフトの文型翻訳メモリを活用した「他段階翻訳処理」による翻訳生産性向上のテクニックを公開します。本コースは個人ワークショップ型オンライン講座なので個人の能力に合わせてカリキュラムを調整し、初心者でも安心して受講できます。

日時: 12月3日 (水)

19:00 ~ 20:00

12月10日 (水)

19:00 ~ 20:00

場所: バベルユニバーシティ六本木キャンパス

【翻訳者を目指すなら 起業しよう!! 説明会】

今は資本金なしで会社を興せる時代。翻訳者として会社を興すことにはこんなメリットが・・・。

1. 税務上のメリット

2. クライアントへの信頼アップ
そしてスキルアップのための学習費用が税務控除となります。

新講座

『翻訳ビジネス起業実務講座 (オンライン講座)』のご紹介と共に起業することのメリットを、詳しくご紹介します。

日時: 12月5日 (金)

19:00 ~ 20:30

12月12日 (金)

19:00 ~ 20:30

場所: Babel University 六本木キャンパス

定員: 各 10 名

参加費: 無料



Bilingual Career Private Consulting

—あなたのキャリア設計書を

一緒に創りましょう

*予約制(月~金/11:00~19:00)

STEP ① 自己発見診断

STEP ② サクセスキャリア・チャート

STEP ③ セルフアセスメント

STEP ④ 未来履歴書づくり

STEP ⑤ アクションプランニング

申し込み Babel University

http://www.babel.co.jp/b-univ/tsemi_1.html

掲載希望のイベント情報がありましたら、編集部へご連絡下さい

TEL 03-6229-2471

EVENTS

契約書、社内規程、デュー・ディリジェンスのための調査資料、判例、訴訟文書から、目論見書、有価証券報告書、事業報告書、決算短信、財務諸表などの財務文書、IR文書まで、企業の経営の根幹にかかわるニーズに高品質の翻訳で応えます。



法務文書・財務文書・IR文書の翻訳サポート

大量の文書を、短期間に、安定したクオリティで翻訳する——。
個人ベースの翻訳ではなく、プロジェクトチームによる翻訳が私たちの得意技です。
企業買収・合併等の大規模プロジェクトに翻訳を通して多数かかわってきました。
契約書、定款、社内規程、訴訟文書など、企業法務に関する文書は得意中の得意です。

法務文書

規制緩和と外国資本の流入により活発化する買収、合併、資本提携。グローバル化により企業活動のさまざまなフェーズで法務文書の翻訳が必要となります。
英語に堪能な社員はたくさんいるといっても、法務文書の翻訳はそう簡単に社内処理はできません。
信頼できる翻訳会社に外注したいが、ほんとに安心してまかせることができるのか不安が残ります。
「何でもできます」的な翻訳会社に重要な契約書や訴訟資料をまかせてはいませんか。

財務文書・IR文書

外国人株主に対する企業情報の公開、特に英語による情報開示（英文IR）がますます重要度を増しています。上場企業のホームページを見ても、英文によるIRページが増えてきました。
また、金融の多様化により、目論見書や社債要項などを翻訳する機会も以前にくらべ格段に多くなりました。
しかし、翻訳会社の側にはそれに対応する翻訳者とチェック体制を整えたところはまだ少ないようです。財務・IR文書の翻訳は、経験の差がものをいう世界です。しっかりとしたパートナーをお選びください。

法務文書・財務文書・IR文書の翻訳に関するご依頼・ご相談は

株式会社バベル トランスメディアセンター

東京 〒106-6004 東京都港区六本木1-6-1 泉ガーデンタワー 4F
TEL: 03-6229-2450 FAX: 03-6229-2448 e-mail: tokyo@honyaku-babel.com

大阪 〒531-0072 大阪市北区豊崎3-19-3 ピアスタワー6F
TEL: 06-6377-2703 FAX: 06-6377-2705 e-mail: osaka@honyaku-babel.com

ハワイ 1720 Ala Moana Blvd., Tradewinds Suite A5, Honolulu, Hawaii 96815 U.S.A
TEL: 1-808-946-3773 FAX: 1-808-946-3993 e-mail: hawaii@honyaku-babel.com

世界初、インターネット翻訳大学院 (USA)™

Babel University Professional School of Translation

バベル翻訳大学院 (USA) は世界初のインターネット翻訳大学院。院生は翻訳修士号を目指し世界22カ国で学んでいます。



バベル翻訳大学院 (USA)™ はこんな学校です

- インターネット学習だからあなた自身の計画でマイペース学習
- 専任のカウンセラーがあなたの相談にのり、学習ペースをしっかりサポート
- 修了作品は講師との一対一のアドバイスを受ける完全個別指導
- 専攻は文芸・映像、金融・IR、テクニカル、法律と翻訳業界を網羅
- 卒業作品を翻訳家デビュー作とする出版サポート
- 独立の翻訳者としての会社設立をコンサル

バベル翻訳大学院 (USA)™ Professional School of Translation (PST) とは～世界初のインターネット翻訳大学院、PST は翻訳者の地位を実力の面のみならず、修士号授与 (MST) によりアカデミックな面からも向上させ世界の翻訳の水準アップを目的としています。



Master of Science in Translation (MST) について

バベル翻訳大学院 (USA)™ には現在、4つの専攻があります。

- **Literary Arts & Film 翻訳専攻**
- **金融・IR 翻訳専攻**
- **Technical & Scientific 翻訳専攻**
- **International Paralegal 専攻**

それぞれのジャンルでの翻訳プロフェッショナルの養成と時代の要請にこたえる翻訳技術の研究が目的です。

履修案内

<出願資格・入学試験>

出願資格

- ① 4年制大学卒業ないしこれに相当する実力を有する者。
- ② 外国において学校教育における16年の課程を修了した者、およびこれに相当する者。
- ③ 本校が資格を有すると認めた者。

入学試験

受験料 20,000 円 (バベル修了生は受験料無料)

入学に関しては所定の入学試験を受験する必要がある。

①一次試験：筆記試験 (試験時間は3時間 会場受験とインターネット受験のいずれか)

②二次試験：口頭試験 (遠方・海外の方は電話試問)



<履修システム>

履修単位

1 科目は 4 単位または 2 単位とし各年次には以下の単位を取得しなければならない。

1 年次は 28 単位 2 年次は 32 単位

★60 単位取得で卒業。ただし 72 単位まで同学費で単位取得可能。

在籍期間

標準受講期間は 2 年。在籍期間は 4 年となります。

申請により 4 年以降の在籍も認められます。その場合別途定める規定により有料となります。

<入学納付金> (表示はいずれも米国ドル)

	1 年次	2 年次
入学金	\$ 1,000	
授業料	\$ 9,000	\$ 9,000

納付金は 1 年次、2 年次の 2 回分割のほか、ご希望によりそれ以上の回数分割が可能です。

<単位互換制度>

BABEL UNIVERSITY の通学講座は 8 単位まで履修可能。

<単位認定制度>

バベル翻訳大学院 (USA) は、受験者のこれまでの「翻訳学習実績」「翻訳検定取得級」を当大学院の単位として認定し、授業料を免除する「単位認定制度」を実施しています。

●翻訳学習歴の単位認定

バベル翻訳大学院 (USA) の提携校での学習実績が審査を経て単位認定されます。

また認定された単位は 1 単位あたり 250 米ドルとして授業料より免額されます。

認定・免除される単位の合計は 12 単位を上限とします。

●翻訳検定取得級の単位認定

詳細はお問合わせ下さい。

バベル翻訳大学院 (USA) に入学の際、認定証を提示してください。

認定される単位の合計は 12 単位を上限とします。

※但し『翻訳検定取得級の単位認定』は授業料の免額とはなりません。

※上記以外の翻訳検定に関しては申請により審査を経て認定の可否を決定します。



●詳しくはお問合せください。

フリーダイヤル 0120-894-344

修了生卒業作品



アレストラ敦子さん

中央法規出版より『「あんしん介護アドバイス」お年寄りにやさしい1000の知恵』を出版。

アレストラさんは聖路加短期大学を卒業後、ニューヨーク州、ハワイ州のプロフェッショナル・ナースとして活躍。ペットサイドの看護や看護管理職を経て、テクニカル&サイエンティフィック翻訳専攻の修士課程を卒業。

卒業作品として完成させたものを、恩師である日野原重明さん監修のもと、はれて出版を実現された。



渋谷弘子さん

金の星社より「秘密のチャットルーム」を出版。

渋谷さんは、文芸・映像専攻の修士課程を卒業。卒業後に数社の出版社の編集者に毎月、シノプシスを送って翻訳出版に結び付けました。ジーン・ユアという作家を見つけ、「ぜひこの作家の作品を日本の子どもたちに読ませたい」という熱意が、編集者の方に伝わったからでしょう。

バベルプレスから共訳で「リーヴィング・エデン」「ホルモンバランス」も出版、現在はアメリカで話題の「Thank You Power」の共訳ワークショップのリーダーとして活躍中です。



早川良子さん

レクシスネクシス・ジャパンより「イギリス知的財産法」を出版。

在学中から特許翻訳のお仕事をされていた早川さんが修了作品に選んだのが「イギリス知的財産法」です。アメリカ知的財産法はすでに日本でも翻訳出版されていますが、イギリスものは今回が初となり、非常に価値が高いですね。この修了作品を出版社に売り込み、翻訳を実現しました。

続いて共訳本「アメリカ著作権法」も出版予定との事。

ファイナンシャルエイド

1 「翻訳修士奨学金制度」

(社)日本翻訳協会が実施する奨学金制度で、修士号を持つ翻訳者を世界に輩出することを目的として2007年秋より発足。その他企業奨学制度随時発表。
詳細はこちらをご覧ください。⇒ www.jta-net.or.jp



2 厚生労働省教育訓練給付制度について

当大学院の1年次が厚生労働省「教育訓練給付制度」の対象です。
1年次修了時、10万円が還付されます。日本国内在住の方はぜひご活用ください。

【給付対象者】

雇用保険を通算で3年以上納められている方
(但し、初回に限り、被保険者期間1年以上で受給可能)

3 国民生活金融公庫の教育ローンの利用について

当大学院は、国民生活金融公庫の教育ローンの対象校となっています。
200万円が年利2.5%程度で借り入れできます。
返済期間は最大10年。学習期間中、元金返済据置き(利息のみの支払)も可能です。
<返済例>

- ① 元金据置きを行わない場合(融資額200万円の場合)
10年返済で毎月の返済額は約19,000円(119回払い)
- ② 在学期間内は、元金の据置きを行うこともできます。

ザ・プロフェッショナル トランスレーター

The Professional Translator

『JTA公認 翻訳専門職資格試験』対策

定期購読のご案内

(季刊< 11、2、5、8月>21日発売)

新創刊記念キャンペーン

12月25日クリスマスの日までに年間購読をお申込戴くと
1年間(4冊)を1年半(6冊)のご購読ができます。

★メールにてお申し込みください まず、press@babel.co.jp まで



新創刊「The Professional Translator」は、

翻訳に携わる全てのひとに欠かすことのできない情報を提供します。

本誌では、インターネットの急な発展を背景に、業界地図が再編されつつあることを受け特許、IR、金融・証券、リーガル、メディカル・バイオ、IT、出版、映像翻訳の生産性の視点から、今後も充実した特集、新連載を続々と掲載していく予定です。特集では、起業、翻訳マーケット、資格と翻訳出版、翻訳の生産性を解説します。

「The Professional Translator」は季刊誌。11、2、5、8月の21日発売です。

ご自宅、オフィスに発売日までにお届け致します。

1年間購読料: 4,000円(税込: 季刊月)

送料無料

お申込について : 郵便局備えつけの払込票をご利用になり、年間購読料金4,000円を(税込)をご送金ください。

・口座番号: 00110-5-84057
・加入者名: 株式会社 バベル
・通信欄 : 「The Professional Translator」
定期購読希望とご記入ください。

The professional Translator WEB

<http://www.e-trans.co.jp/>

お問い合わせ

(株)バベル バベルプレス press@babel.co.jp

TEL 03-6229-2471
FAX 03-6229-2439

The Professional Translator

From Editor

世界の範となった 20 世紀後半の日本製造業の T Q C 活動。日本の繊細、正確、緻密さをもってすれば、‘TRANSLATION’の世界においても世界をリードできると確信します。

民と官が協力した翻訳者の能力の標準化、またこれに基づく資格化、これらと連携する翻訳の高等教育。こうした視点で観ると、カナダ、イギリス、ドイツ、フランス、米国、オーストラリアといった‘翻訳技術’先進国ですら、未だ評価に値するレベルに達していないといっても過言ではないでしょう。その点、(社)日本翻訳協会 (Japan Translation Association) が 12 月 7 日に実施を予定している『JTA 公認翻訳専門職資格試験』、米国の Babel University Professional School of Translation (accredited by DETC) の日本発の実験的プログラム等を観ると、日本が‘TRANSLATION’の技術と成果においても、世界の先端をいくのは決して夢物語ではないことを実感している昨今です。

『The Professional Translator』

季刊発行(11、2、5、8月)

定価 1000円(税込)

2009年1月Spring号

通巻424号(第34巻1号)

2009年1月1日発行

発行人 湯浅美代子

編集人 堀田都茂樹

印刷/製本 株式会社 技秀堂

発行所 バベルプレス(株式会社バベル)

〒106-6004

東京都港区六本木1-6-1

泉ガーデンタワー4F

電話 03-6229-2441(編集)

03-6229-2441(営業)

定期購読の申し込みは

www.e-trans.co.jp



BABEL PRESS



バイリンガル・スタッフの
お問い合わせは
バベルスタッフへ

派遣・紹介の バベルスタッフ

バイリンガル・スタッフをお探しでしたら、バベルスタッフにお任せ下さい。高度な語学力と専門性を持つ、パラリーガル、翻訳・通訳者、秘書などの人材紹介、派遣サービスをご提供致します。



BABEL STAFF

バベルスタッフ 株式会社

〒106-6004 東京都港区六本木1-6-1
泉ガーデンタワー

東京 TEL 03-3589-2288

<http://www.babelstf.co.jp>

● <JTA メンバー>になろう ●

<JTA メンバー>は、「JTA 公認 翻訳専門職資格試験」に向けての対策セミナーの開催など、翻訳専門職を目指す方々をサポートするとともに交流の場として次のような活動をしてまいります。

- ①「JTA 公認 翻訳専門職資格」を取得するには2年の<実務経験>が必要となっています。JTA メンバーには、ボランティア翻訳などの実務を提供し、その実績を証明します。
- ②受験対策セミナー、模擬試験と解答解説会など受験対策の各種イベントにご参加いただけます。
- ③各種の関連仕事情報を提供します。
- ④季刊誌『The Professional Translator』をお届けします。
- ⑤毎月“WEB JTA Journal”をお送りします。

その他、順次内容を充実させてまいります。

<JTA メンバー>であることが「JTA 公認 翻訳専門職資格試験」の受験資格ではありませんが、翻訳専門職を目指す方には大変有用なメンバーシップです。

JTA のホームページ (<http://www.jta-net.or.jp>) より入会申請をしてください。

第1回「JTA 公認翻訳専門職資格試験」

■ 2008年12月7日(日)実施

社団法人日本翻訳協会 (JTA : Japan Translation Association) では、永年にかけて翻訳者の能力を認定する<翻訳技能認定試験 (翻訳検定)>を実施し、延べ3万人以上の方が受験されました。今回、名称を「JTA 公認翻訳専門職資格試験」と改め、従来の会場試験からインターネットによる在宅型の試験に変更、試験内容も一新して12月7日に第1回試験を実施します。

詳細ならびに受験申込は下記ホームページから。

<http://www.jta-net.or.jp>



Japan Translation Association <JTA>
社団法人 日本 翻 訳 協 会

<http://www.jta-net.or.jp>

〒 107-0052 東京都港区赤坂 4-3-1 共同ビル赤坂
TEL 03-3568-6257 FAX 03-3568-6258

雑誌 04089-01
定価1000円

本体952円+税5%



4910040890195
00952

